



Made for ideas.

## D2, 2BIG, AND 5BIG NETWORK 2 USER MANUAL



ここをクリックすると、最新のコンテンツ、および拡張可能なイラスト、より簡単になったナビゲーション、および検索機能を備えた本書の最新のオンラインバージョン

にアクセスできます。



# 1. はじめに

このマニュアルの対象範囲

製品	オペレーティングシステムのバージョン番号
<a href="#">d2 Network 2</a> <a href="#">2big Network 2</a> <a href="#">5big Network 2</a>	2.2 ( <a href="#">ここ</a> からアップグレード)



LaCie d2、2big、または 5big Network 2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。小規模オフィスでのデータ共有およびバックアップのニーズを満たすよう設計された LaCie NAS (ネットワーク接続ストレージ デバイス) は、セキュリティ機能が備わった共有ストレージの新世代製品です。

本書では、お買い求めいただいた NAS をネットワークに接続する方法と、発生する可能性のある問題についてのトラブルシューティング方法を説明します。問題が生じた場合は、[14. ヘルプが必要な場合](#)を確認してください。大部分の問題は、製品を工場出荷時の状態にリセットすることで解決できます ([12. 製品のオペレーティングシステムのアップデート](#)を参照してください)。

## 1-1 パッケージ内容

	d2 Network 2	2big Network 2	5big Network 2
製品	✓	✓	✓
LAN ケーブル	✓	✓	✓
AC アダプタ	✓	✓	✓
ユーティリティ CD (ユーザー マニュアルとソフトウェア収録)	✓	✓	✓
縦置き用のドライブ スタンド	✓	✓	✗
USB 2.0 ケーブル	✓	✓	✗
ロック解除キー	✗	✓	✓

- クイックガイド(保証書が含まれています。)
- リモートアクセスガイド
- 知りたいことガイド

**重要な情報：** 購入時の梱包材は保管しておいてください。製品の修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包して返送してください。

## 1-2 動作環境

- Ethernet ネットワーク アダプタ搭載のコンピュータ
- Windows® XP SP3、Windows Vista®、Windows Vista 64-bit、Windows 7 / Mac® OS X 10.5 以降
- 最小ディスク空き容量:600 MB 推奨
- スイッチングハブまたはルータ
- Web ブラウザ:Internet Explorer™ 8.0 以降、Safari™ 5.0 以降

### 重要な情報：

LaCie 製品のパフォーマンスは、ネットワーク アクティビティ、ハードウェア、距離、および設定などの外部要因による影響を受ける場合があります。

パフォーマンスを最適化するため、ホスト コンピュータで Gigabit Ethernet ルータおよび Gigabit Ethernet ボードをご使用ください。

## 1-3 フロントボタンの機能

多機能のフロントボタンを使用すると、スリープ モードを有効/無効にしたり、デフォルトにリセットしたりできます。

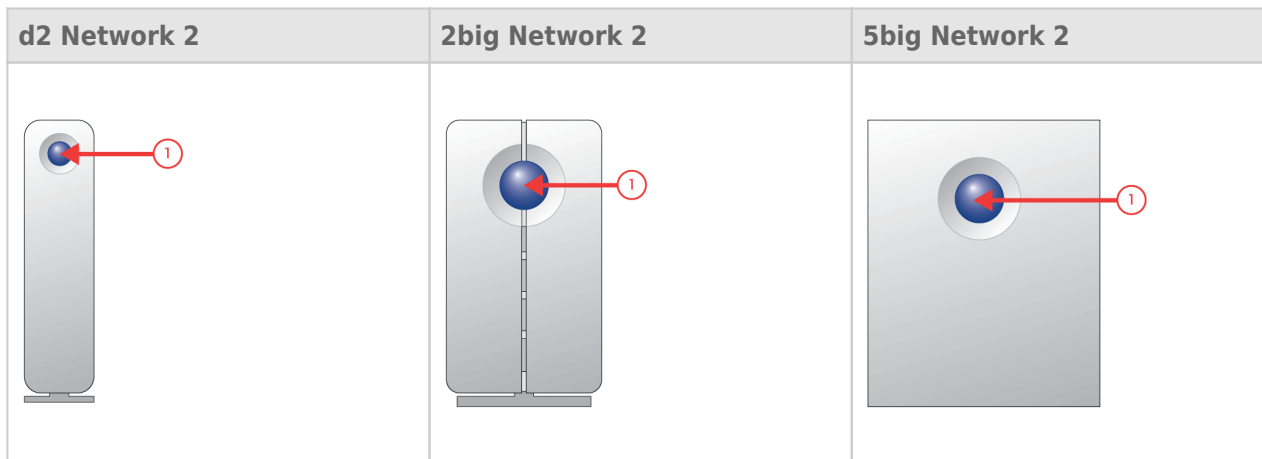
- **ディープスリープモードを有効にするには:** Deep Sleep Mode (ディープスリープモード) を **[Dashboard (ダッシュボード)] - [Eco Management (エコ管理)]** で有効にしている場合、フロントボタンを押さえたままにします。
- **スリープモードから復帰するには:** フロントボタンを押します。

Deep Sleep Mode (ディープスリープモード) からドライブを立ち上げるには、フロントボタンを押すか、LaCie Network Assistant の Wake on LAN 機能を使用します ([Wake on LAN \(ウェイク オン LAN、WOL\)](#) を参照)。( [\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[エコ管理\]](#) を参照)。

- **工場出荷時にリセット:** この手順については、「[12. 製品のオペレーティングシステムのアップデート](#)」セクションで説明します。

## 1-4 各部の名称

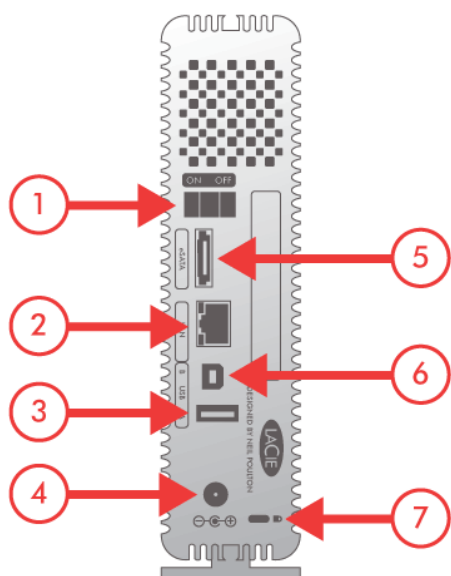
### 1-4-1 正面図



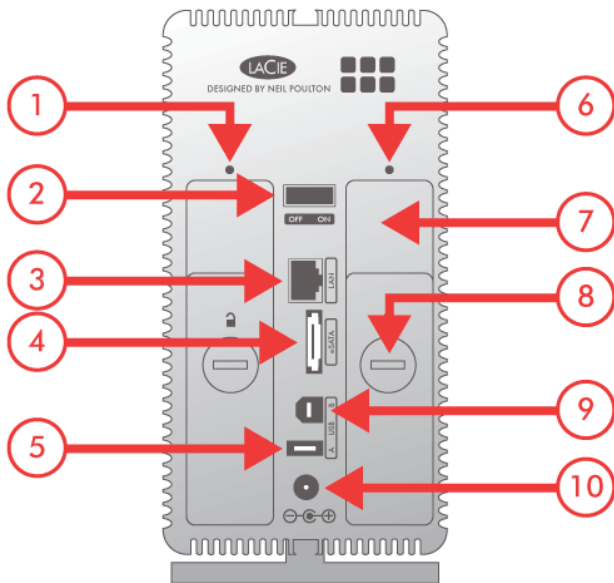
1. **ボタンおよびアクティビティ LED:**青色のボタンが点灯しているときは、ディスクが稼働していることを示します (管理ツールの Dashboard を使用してオフにしている場合を除きます)。スリープモードに切り替えたり、スリープモードから復帰したりするように構成することもできます。詳しくは、[「フロントボタンの機能」](#)および [\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[エコ管理\]](#)を参照してください。

## 1-4-2 背面図

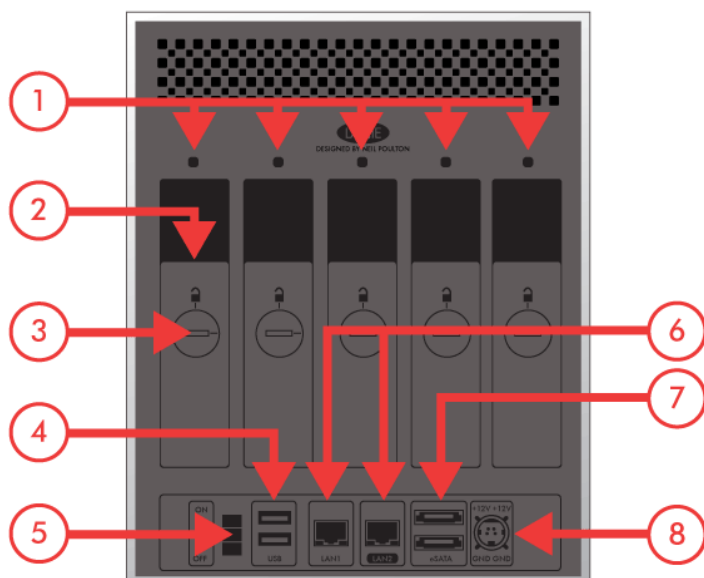
d2 Network 2



1. 電源スイッチ
2. LANポート
3. USB 2.0 ポート(機能拡張用)
4. 電源コネクタ
5. eSATA ポート(機能拡張用)
6. USB 2.0 ポート(直接接続)
7. Kensington ロック スロット



1. ドライブステータス LED (左ドライブ)
2. 電源スイッチ
3. LANポート
4. eSATA ポート(機能拡張用)
5. USB 2.0 ポート(機能拡張用)
6. ドライブステータス LED (右ドライブ)
7. ドライブトレイ ハンドル
8. ドライブロック
9. USB 2.0 ポート(直接接続)
10. 電源コネクタ







1. ドライブ ステータス LED
2. ドライブトレイ ハンドル
3. ドライブロック
4. USB 2.0 ポート(機能拡張用) x2
5. 電源スイッチ
6. LANポート x2
7. eSATA ポート(機能拡張用) x2
8. 電源コネクタ

## 2. ドライブステータスLED について

ドライブステータス LED ランプ(フロントボタンおよび背面の LED ランプ) はドライブの状態と動作を示します (ドライブ背面の LED は、2big および 5big のみにあります)。このセクションでは、LED インジケータの動作について説明します。

**技術面での注意:** Dashboard を使用してフロントボタンの LED をオフにした場合でも、LED ランプが赤色の点灯/点滅する状態になると、フロント LED ランプはオンになります。

d2

正面 LED の色	状態
青色に点滅 	デバイスが起動中です。ドライブが完全に初期化されると停止します。
	バックアップが進行中
青色に点灯 	ドライブが動作中 (読み取り/書き込み) です。
赤色に点滅 	温度警告 (第 1 レベル)
	電力供給が切断されましたが、UPS から電力の供給を受けています。
赤色に点灯 	温度警告 (重大レベル) - 本製品の電源はオフになります。
	電力供給が切断され、UPS の予備電力を使い果たしました - 本製品の電源はオフになります。



正面 LED の色	背面 LED の色	状態
	動作中のディスクの状態 LED (完全に初期化されるまで) 	デバイスが起動中です。ドライブが完全に初期化されると、停止します。
青色に点滅 	動作中のディスクの状態 LED 	バックアップが進行中です。
	赤色/青色に点滅 	RAID を同期中です。操作が完了すると停止します。
青色に点灯 	動作中のディスクの状態 LED 	ドライブが動作中 (読み取り/書き込み) です。
赤色に点滅 	動作中のディスクの状態 LED 	RAID が劣化しています。データは影響を受けませんが、さらに多くのディスクに障害が発生したときは保護されません。
	故障したディスクで赤色に連続点灯 	
	状態 LED 	温度警告 (第 1 レベル) ファンが回転していません 電力供給が切断されましたが、UPS から電力の供給を受けています。
赤色に点灯 	動作中のディスクの状態 LED 	温度警告 (重大レベル) - 本製品の電源はオフになります。
	動作中のディスクの状態 LED 	電力供給が切断され、UPS の予備電力を使い果たしました - 本製品の電源はオフになります。
	故障したディスクで赤色に連続点灯 	RAID が故障し、データが損失しました。
	取り外されたディスクで消灯	ディスクが取り外されています。

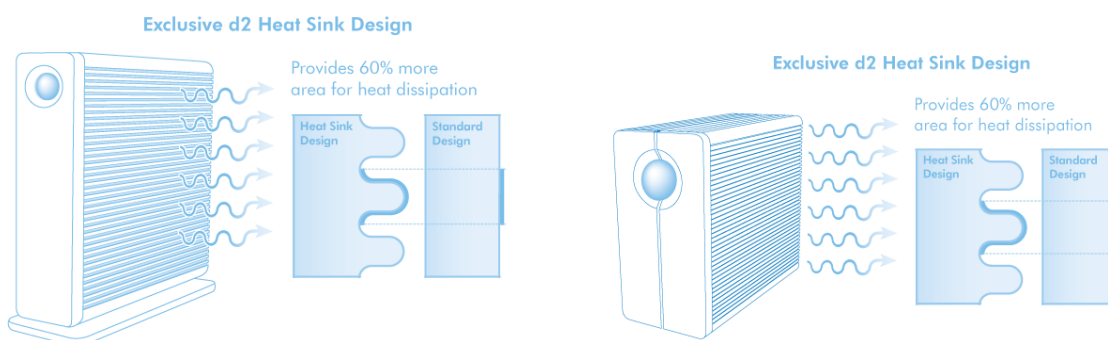
## 3. ハードディスクの熱管理について

注記: この章は、d2 および 2big Network 2 のみに適用されます。

### 3-1 放熱機能

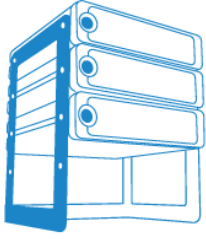
本製品の外装ケースは、内部の熱を自然に分散できる構造になっています。この独特な設計は、内部の熱を外装ケースへ引き出します。そして表面積の大きいヒートシンクケースが内部の熱を吸収して分散し、ハードディスクの安全性を保ちながら寿命を伸ばし信頼性を高めます。

**そのため、外装ケースに触れたときに熱を感じても正常です。** ケース全体で自然な空気の流れを保つために、背面の通気口を塞がないようご注意ください。

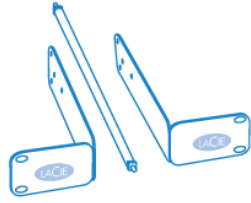


### 3-2 縦置き、重ね置き、ラックマウント時の放熱

本製品は、縦置きにしたときでも十分な放熱機能を持っています。本製品を積み重ねる場合は、(同梱されている場合は)必ずラバーフィートをドライブの底に取り付けてください。これによってハードディスク間の空気が流れるようになり、効果的に放熱できます。しかし、3台を超えてドライブを積み重ねることはお勧めできません。特に、積み重ねたドライブの電源を同時にオンにする場合は、ドライブの温度にご注意ください。



LaCie d2 Desk Rack



LaCie d2 Rackmount Kit

## 4. 空のディスクトレイにハードディスクを追加する

注記：ここでの説明は、ハードディスクを搭載していない新しい LaCie NAS を対象としています。以降の操作を行う場合は、未フォーマットでシステム情報を含んでいないハードディスクを 1 台以上取り付けてください。ハードドライブが 1 つ以上のディスク スロットにあらかじめインストールされた 2big Network 2 または 5big Network 2 を所有している場合は、[5. ネットワークへの接続](#)を参照してください。この処理中は、製品をネットワークに接続する必要はありません。LaCie NAS を出荷時の状態にリセットするには、[13. 工場出荷時の状態にリセット](#)を参照してください。

ハードドライブをディスクレス LaCie NAS エンクロージャに追加するときには、次の操作順序に従ってください。

1. [互換性のあるハードドライブを選択します](#)
2. [適切なディスクトレイを選択します](#)
3. [空のディスクトレイを取り外します](#)
4. [ディスクを固定します](#)
5. [LaCie NAS の電源を入れ、初期化します](#)
6. [ディスクをフォーマットします](#)

各ステップについては、次の詳細手順を参照してください。

### 4-1 使用できるハードディスクについて

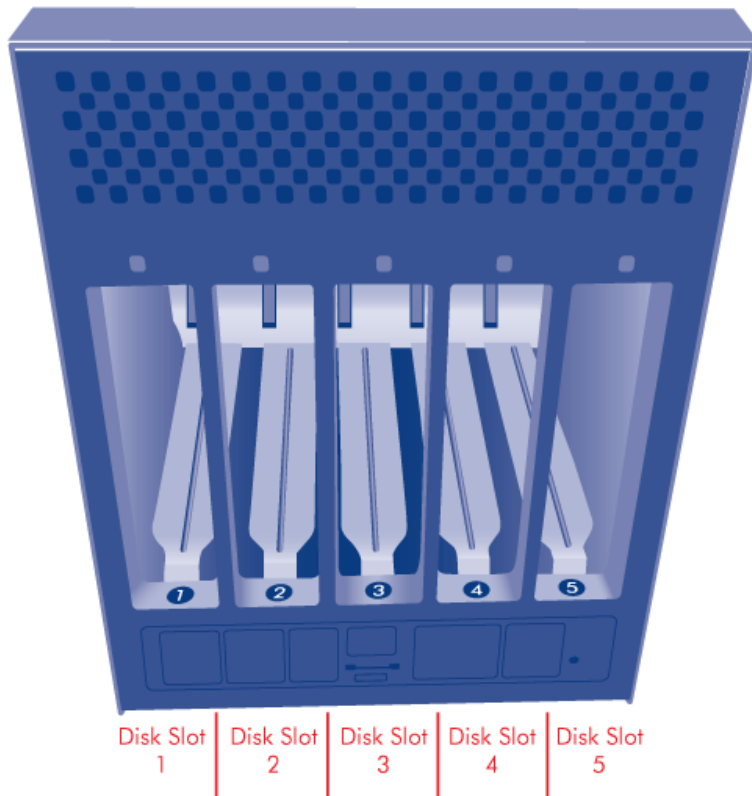
- 新しいハードディスクをディスクトレイに追加するときには、[LaCie 5big Drive](#) をお勧めします。LaCie のハードディスクは本製品で使用するために、最適化されています。
- LaCie 以外のハードディスクを取り付けている場合は、サポートされている[ネットワークハードドライブ](#)の一覧を確認してください。サポートしていないハードディスクを使用した場合は、LaCie は性能や機能を保証できません。
- 本製品で使用できるのは、3.5" SATA II ハードディスクのみです。
- 複数のハードディスクを使用する場合は、容量が同じハードディスクを取り付けることを推奨します。たとえば、最初のハードディスクの容量が 1 TB の場合は、すべてのディスクトレイに 1 TB のハードディスクを挿入してください。

### 4-2 適切なディスクトレイを選択します

必ず、番号の付いたスロットの順に新しいドライブを挿入してください。

5big Network 2

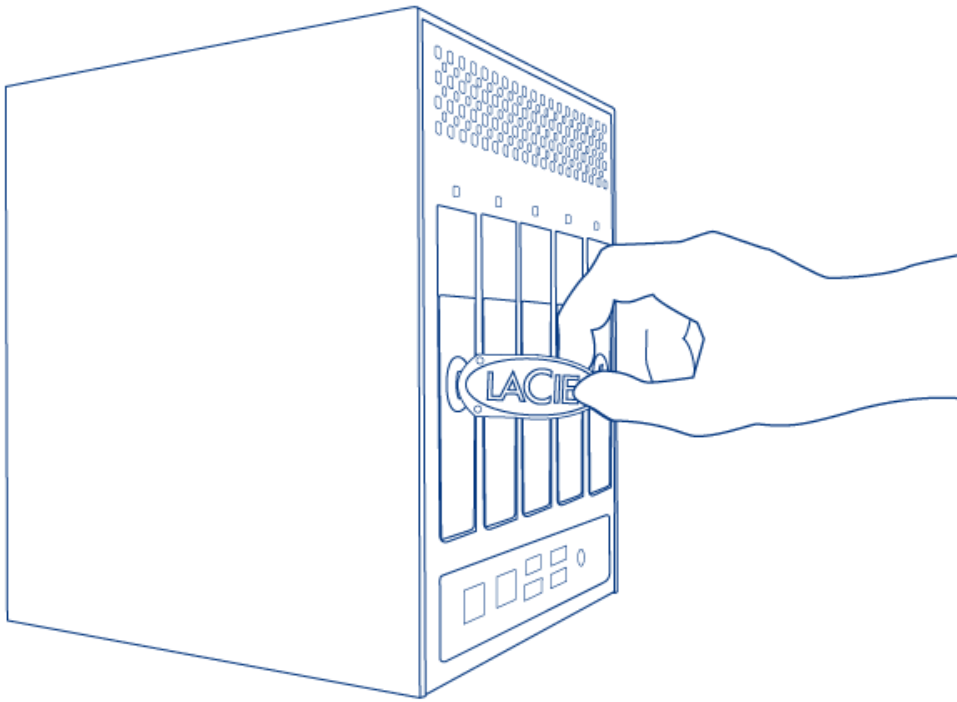
最初のディスクは左端のディスク スロット 1 に挿入する必要があります。その他のドライブがある場合は、2 番目のディスクをディスク スロット 2 に、3 番目のディスクをディスク スロット 3 にというような順序で挿入していきます。



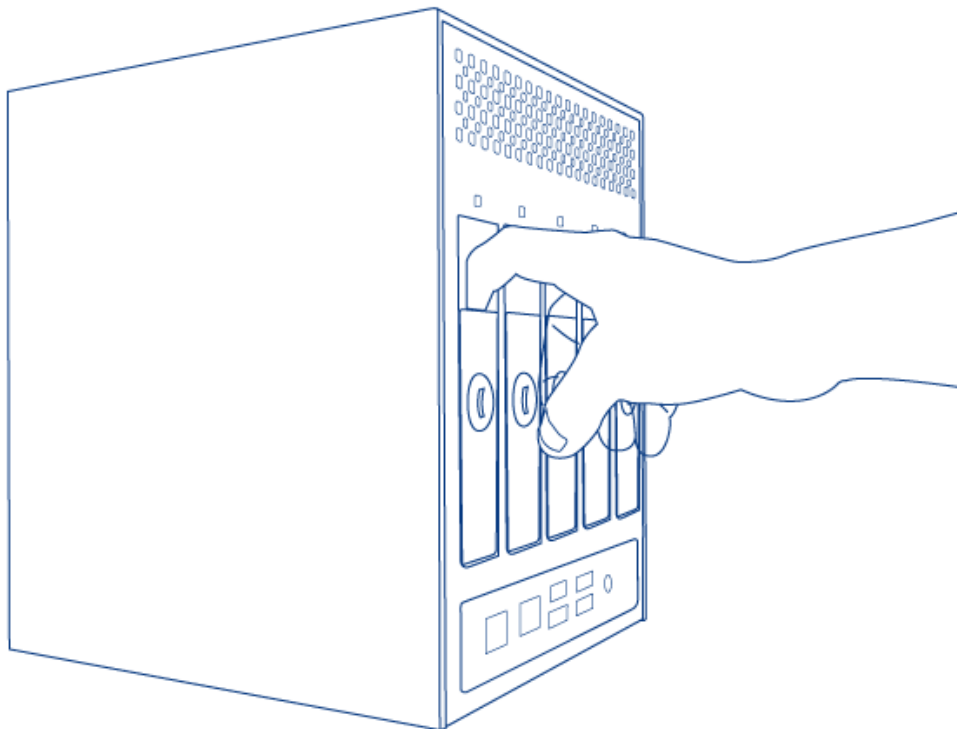
## 4-3 空のディスクトレイを取り外します

5big Network 2

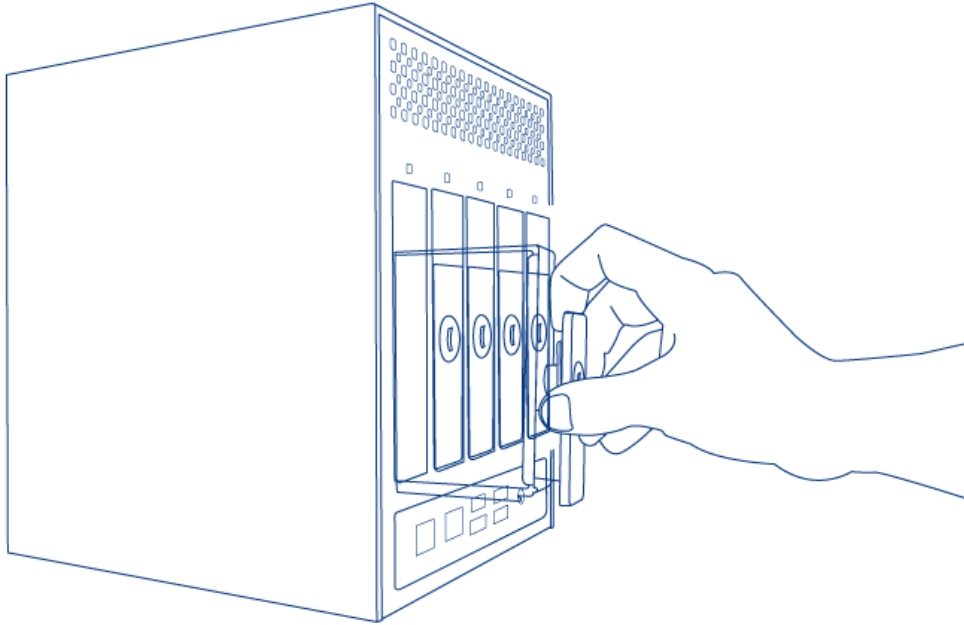
1. ドライブロックツールを使ってドライブトレイのロックを解除します。ロックが縦になるまで回します。



2. ハンドルの裏のスペースに人差し指を入れます。

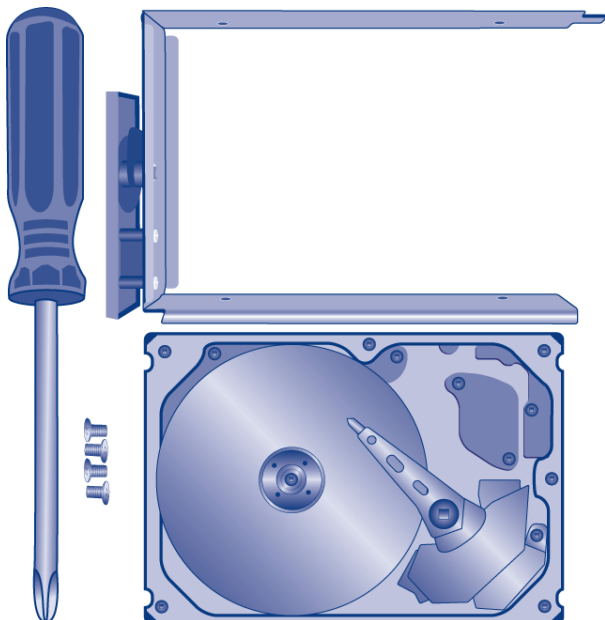


3. ドライブトレイハンドルを引き抜くときは、十分ご注意ください。



4. 複数台のディスクを挿入している場合は、この手順を繰り返します。必ず、適切なスロット順序でディスクトレイを取り外してください。

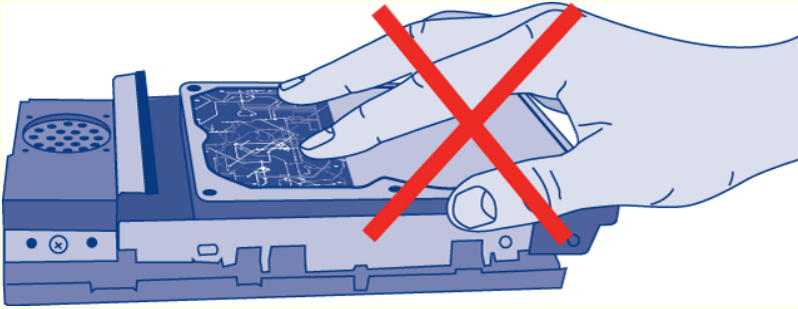
#### 4-4 ディスクを固定します



この作業は、十分な広さがある水平で平坦な場所で行ってください。また、次の部品と工具を準備してください。

- 本製品の ディスクトレイ
- ハードディスク
- ディスクトレイネジ。本製品に付属しているネジを使用してください。
- プラスドライバー。ディスクトレイのネジのサイズに合うドライバーを使用してください。

注意:注意:静電気の放電 (ESD) による潜在的な問題を回避するために、ハードディスクのプリント基板には触れないでください。さらに ESD対策として、静電気防止リストバンドや静電気防止マットを利用してご自身の静電気を逃がしてから、ハードディスクを取り扱ってください。



ドライブトレイにディスクを固定するには:

1. ディスクトレイのハンドルを左下にして、水平な場所に空のディスクトレイを置きます。



2. 通常、ハードディスクの片側にはラベルがあり、反対側にはプリント基板があります。ラベル側が手前に見えるように、SATAコネクタが向かって右側になるように、ディスクトレイにハードディスクを慎重にセットします。その際トレイにある4つのネジ穴の位置が、ハードディスクの4つのネジ穴の位置と一致するようにしてください。





3. プラスのドライバーを使って4本のネジを慎重に4つのねじ穴に取り付けます。ネジを強く締めないように注意してください。ネジを強く締めると、ネジ穴やネジ山が破損することがあります。



4. 複数台のディスクを挿入している場合は、この手順を繰り返します。
5. ディスクトレイを完全かつ丁寧に空のディスクスロット1に挿入します。ディスクトレイをベイの奥まで入れると抵抗がありますが、カチッとハマるまでディスクトレイのハンドルをしっかりと慎重に押ししてください。ディスクトレイのハンドル面と、ディスクトレイの背面は水平になります。
6. 複数のディスクを挿入している場合は、ドライブトレイを完全にエンクロージャの空のスロットに挿入してください。必ずスロット番号に従ってください。たとえば、2番目のディスクをディスクスロット2に、3番目のディスクをディスクスロット3にというような順序で挿入する必要があります。
7. ドライブロックツールを使ってドライブを正しい位置に固定します。

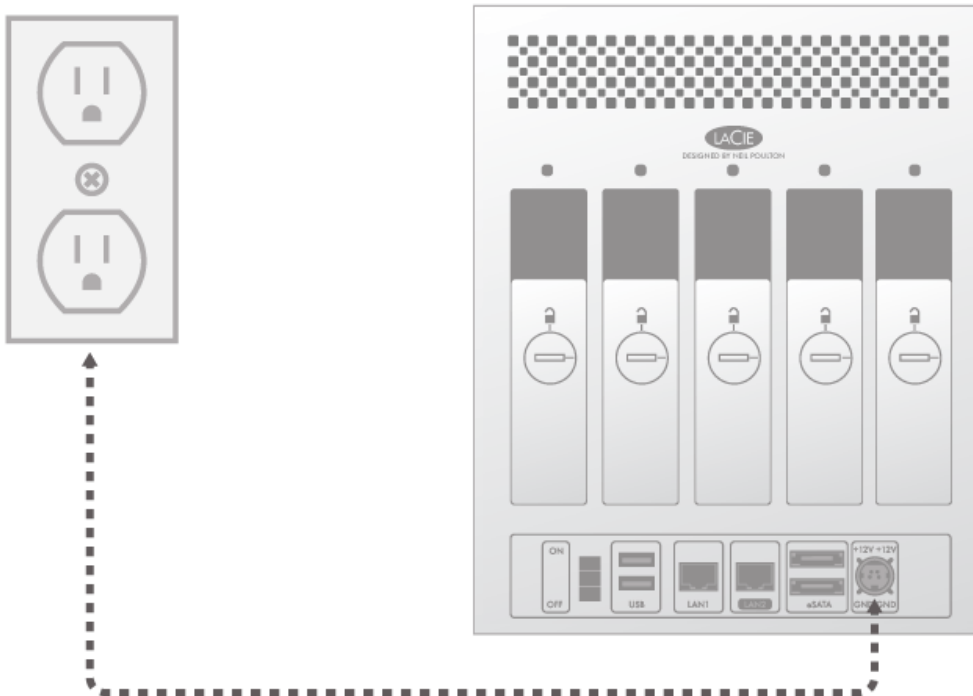
## 4-5 LACIE NAS の電源を入れ、初期化します

注意:この LaCie 製品に付属する AC アダプタ以外は使用しないでください。他の LaCie 製品の電源装置または他のメーカーの電源装置は使用しないでください。他の電源ケーブルまたは電源装置を使用すると、装置の損傷をきたし、保証が無効になる場合があります。LaCie デバイスを移動するときは、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さないで移動すると、デバイスが損傷する場合があります、保証が無効になります。

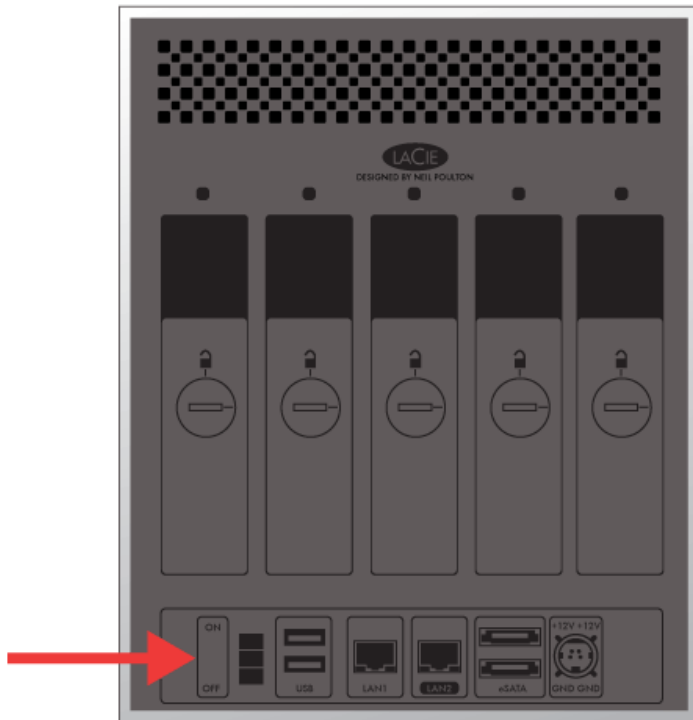
5big Network 2

ステップ 2 および 3 には約 3 分かかります。

1. 壁のコンセントと NAS に電源装置を接続します。



2. エンクロージャの背面にある電源ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。



### 3. 正面の LED:

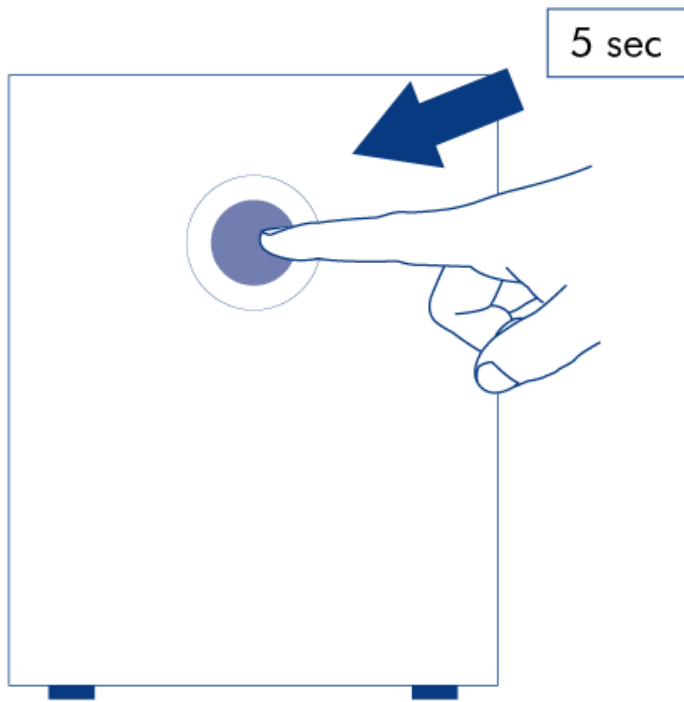
1. 青色に点滅
2. 初期化が完了すると、青色で点灯します
3. 青色/赤色に点滅。赤と青の点滅はシステムがロード中であることを示しています。
4. 正面の LED が青色の連続点灯に戻ると、LaCie NAS はディスクをフォーマットできます。

## 4-6 ディスクをフォーマットします

ステップ 1 および 3 には約 7 分かかるはずです。

5big Network 2

1. **正面の LED ボタンを 5 秒間押します。** ドライブが回転し、正面の LED が赤色と青色に点滅します。



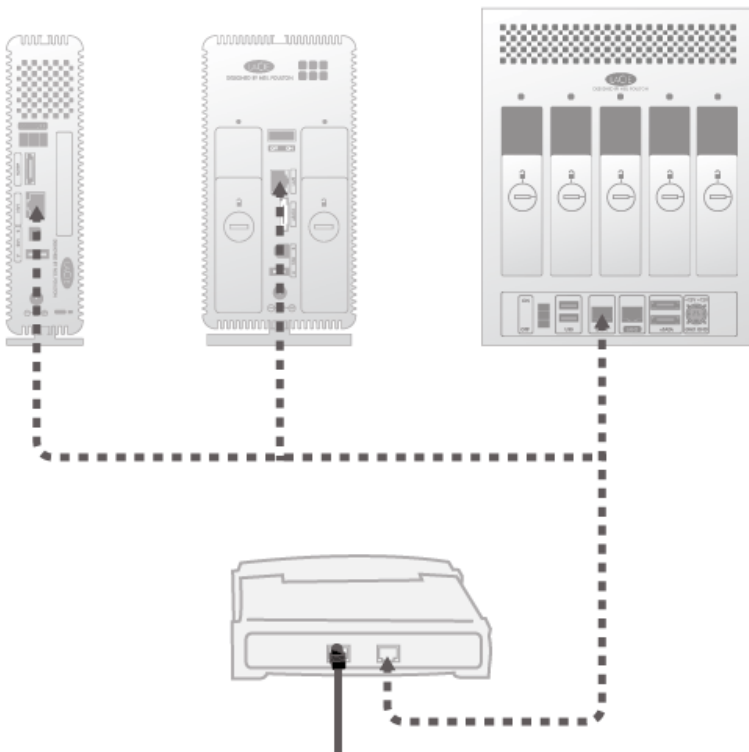
2. 初期化を完了するために、NAS が再起動します。正面の LED が青色と赤色に点滅します。
3. 正面の LED が青色で連続点灯すると、システムは準備完了です。
4. [5. ネットワークへの接続](#)を参照してください。

## 5. ネットワークへの接続

この章では、LaCie NAS をネットワークに接続する方法を説明しています。USB を介して NAS をコンピュータに接続する方法 (2big/d2 のみ) については、[9. USB 経由でコンピュータに接続](#) を参照してください。

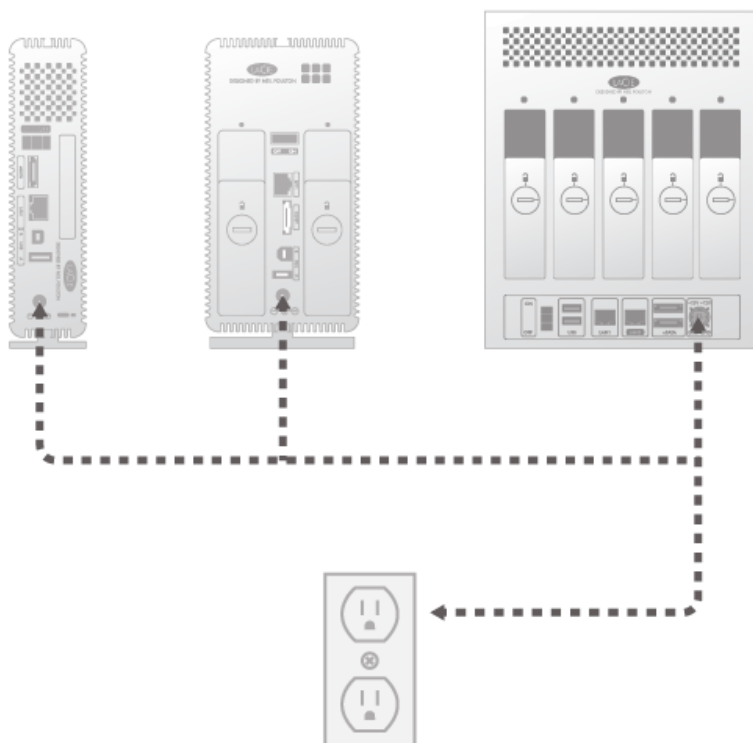
### 5-1 LAN ケーブルを接続する

1. LANケーブルの一方のプラグを背面のLAN ポートに接続します。
2. LANケーブルのもう一方のプラグをルータまたはハブのEthernetの空き“out”ポートに接続します(必要な場合は、ルータまたはハブのマニュアルを参照してください)。



### 5-2 電源を接続する

1. 電源コンセントと本製品の電源コネクタにACアダプタ(付属) を接続します。
2. 本製品の電源スイッチをONにして、電源を入れます。電源を入れるとフロントボタンのLEDランプが点灯した後、青LEDの点滅に変わります。



**注意:** 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。他の製品や他のメーカーのACアダプタは使用しないでください。他の電源ケーブルまたはACアダプタを使用すると、故障の原因になるばかりではなく、保証が無効になる場合があります。本製品を移動するときは、必ずACアダプタを取り外してください。ACアダプタを取り外さずに移動して、本体やACアダプタを破損した場合は、保証対象外とさせていただきます。

フロントボタンのLEDランプの青色点滅が止まったら準備は完了です。起動するまで約3分ほどかかります。

**技術面での注意:** コンピュータの Ethernet 設定によっては、Ethernet ケーブルを使用して、製品をコンピュータに直接接続できることがあります。

## 5-3 LACIE NETWORK ASSISTANT をインストールする

LaCie Network Assistantは、同じネットワークに接続されたすべてのLaCie ネットワーク接続ストレージデバイスを検出します。LaCie Network Assistantを使用すると簡単にネットワークストレージデバイスへの接続や設定を簡単に行うことができます。

注記: 本LaCie製品を購入する前に既にLaCie Network Assistantをインストールしている場合は、LaCie Network Assistantバージョンが最新であることを確認してください。最新でない場合は、LaCie Webサイトから最新バージョンをダウンロードし、インストールしてください。

1. ユーティリティ CD をコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
2. Windows の場合、**[マイ コンピュータ]**または**[コンピュータ]**に CD が表示されます。Mac の場合、CD が**[デスクトップ]**に表示されます。CD アイコンをダブルクリックしてから、**[LaCie Network Assistant Setup (LaCie Network Assistant のセットアップ)]**をダブルクリックします。
3. ウィザードの手順に従ってインストールしてください。

注記:ステップ **C6. ファイルのアクセスと転送** を完了した後、**7. 管理画面 (Dashboard)** に進みます。

## 6. ファイルのアクセスと転送

### 6-1 共有の種類について

d2/2big のデフォルトの共有について

d2 または 2big Network 2 には、デフォルトで **Share(共有)** / **Public(パブリック)** / **USBShare(USB 共有)** という名前の3種類の共有領域(フォルダに似ています)があります。(USBShare は USB アクセス用にストレージ容量を割り当てると自動的に作成されます。詳しくは[\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) を参照してください)。

以下にこれらの違いを略記しています。

名前	アクセス	ログイン	アベイラビリティ
Share (共有)	プライベート。デフォルトでは管理者のみがアクセス可能。	パスワード保護	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続されたとき。
Public (パブリック)	パブリック。ネットワーク上のどのユーザーでもアクセス可能。	なし	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続したとき、または UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (マルチメディア サービスが有効な場合)
USBShare (USB 共有)	パブリック。(接続された外部 USB ハードドライブへのアクセス)。	なし	ネットワーク (Ethernet) またはコンピュータ (USB) に接続したとき、および UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (マルチメディア サービスが有効な場合)

このため、d2 または 2big Network 2 をネットワークに接続すると、管理者は3つのすべての共有にアクセスでき、ゲストは Public (パブリック) と USBShare にアクセスできます (USBShare は、USB アクセス用にストレージ容量を割り当てた場合にのみ利用可能となります)。一方、USB 経由でコンピュータに接続した場合、USBShare のみにアクセスできます。

5big のデフォルトの共有について

LaCie 5big Network 2 には、デフォルトで **Share(共有)** / **Public(パブリック)** / **iSCSIShare(iSCSI 共有)** という名前の3種類の共有領域(フォルダに似ています)があります。(iSCSIShare は iSCSI 共有用に容量を割り当てると自動的に作成されます。詳しくは [\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) を参照してください)。

以下の表は、これらの違いを略記しています。



名前	アクセス	ログイン	アベイラビリティ
Share (共有)	プライベート。デフォルトでは管理者のみがアクセス可能。	パスワード保護	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続されたとき。
Public (パブリック)	パブリック。ネットワーク上のどのユーザーでもアクセス可能。	なし	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続したとき、または UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (マルチメディア サービスが有効な場合)
iSCSIShare (iSCSI 共有)	パブリック。ネットワーク上のどのユーザーでもアクセス可能。	なし	ネットワーク (Ethernet) およびネットワーク上のコンピュータに接続したとき、または UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ経由で接続したとき (マルチメディア サービスが有効な場合)

このため、5big Network 2 をネットワークに接続すると、管理者は 3 つのすべての共有にアクセスでき、ゲストは Public (パブリック) と iSCSIShare にアクセスできます (iSCSIShare は、iSCSI アクセス用に容量を割り当てた場合にのみ利用可能となります)。

新たに共有を作成したり、(USBShare または iSCSIShare 以外の) デフォルトの共有を削除したりすることもできます。詳しくは、[\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#)を参照してください。

## 6-2 共有フォルダへのアクセスについて

いくつかの方法で共有フォルダへアクセスすることができます。

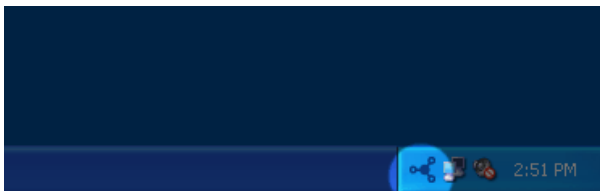
注記: デバイスのリモート アクセス、共有へのショートカットの作成、マルチメディア ストリーミングなどの関連機能については、[8. 管理画面を使う \(高度なアクセス性の機能\)](#)を参照してください。

### 6-2-1 オプション 1

1. LaCie Network Assistant を起動します。

▪ **Windows の場合:**

1. **[スタート/すべてのプログラム]** で [LaCie Network Assistant] を選択します。[Network Assistant] アイコンがシステム トレイに表示されます。LaCie Network Assistant が自動的にネットワーク上の LaCie 製品を検出します。
2. システム トレイでアイコンを右クリックします。

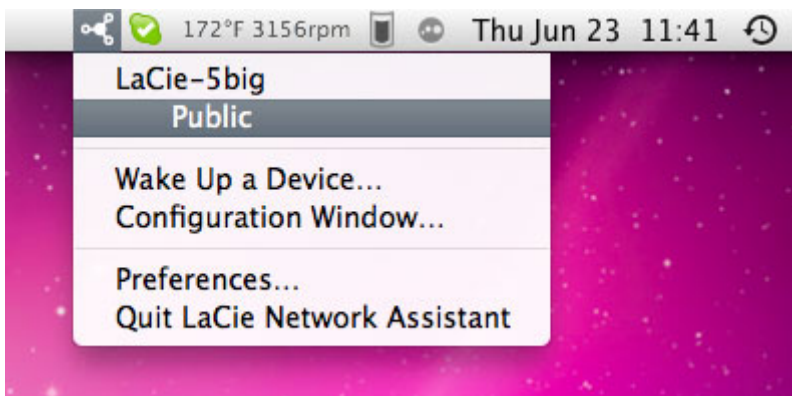


▪ **Mac の場合:**

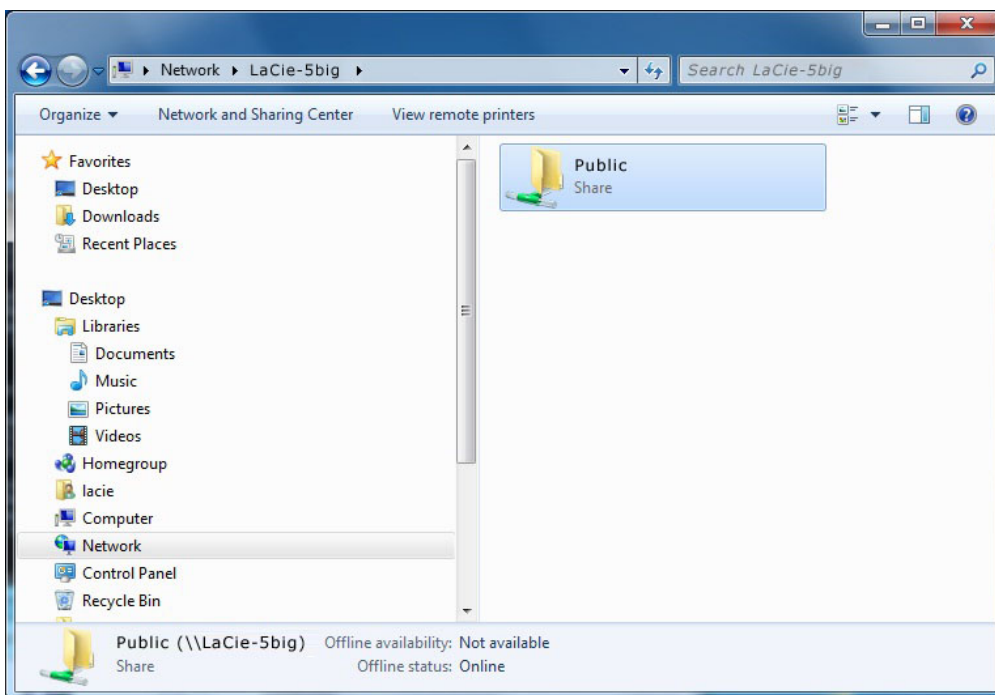
1. **[アプリケーション]** フォルダで [LaCie Network Assistant] を選択します。[Network Assistant] アイコンがメニューバーに表示されます。LaCie Network Assistant が自動的にネットワーク上の LaCie 製品を検出します。
2. メニューバーのアイコンをクリックします。



2. LaCie NAS のマシン名の下から、アクセスしたい共有を選択します。



3. 共有が [Finder] ウィンドウ (Mac) または [Explorer] ウィンドウ (Windows) で開きます。



4. ユーザー名およびパスワードを入力するよう指示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します(デフォルトでは以下です)。

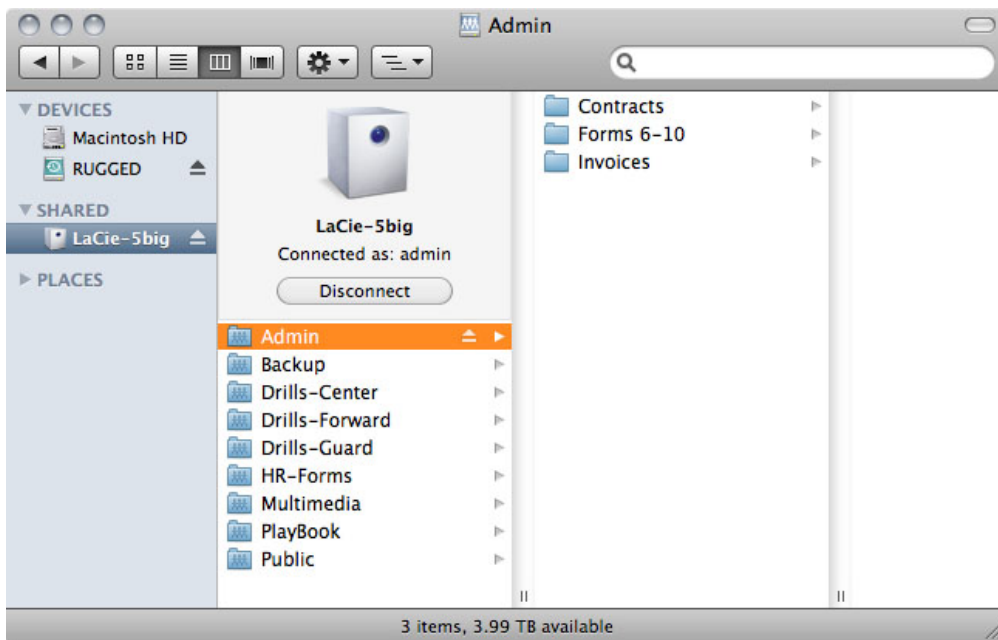
ユーザー名 = **admin**

パスワード = **admin**



ユーザー名/パスワードをデフォルトから変更している場合 (7. 管理画面 (Dashboard) を参照)、新しいユーザー名/パスワードを入力してください。

5. 通常通りにコンピュータと共有間でファイルを転送します。Mac をご使用の方： [Finder] ウィンドウで共有が開かない場合は、 [Finder] で [ネットワーク] > [マシン名] > [共有名] に移動してください。



## 6-2-2 オプション 2

### Mac の場合

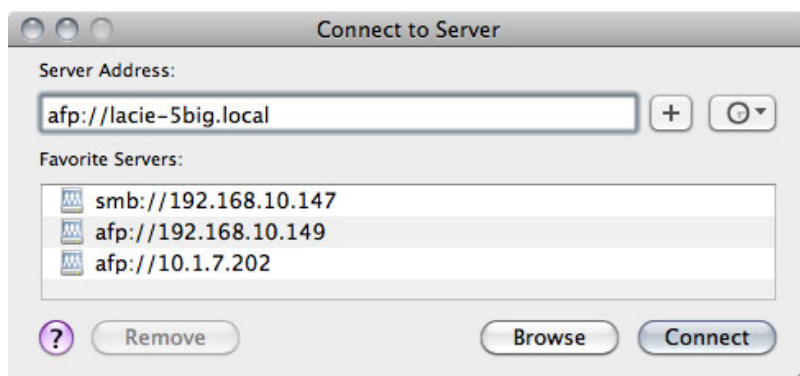
1. [Finder] で [Go (移動)] > [Connect to Server (サーバーに接続)] を選択します。
2. ここで開くウィンドウで、次のいずれかを入力します。

**afp://[マシン名].local**

**smb://[マシン名].local**

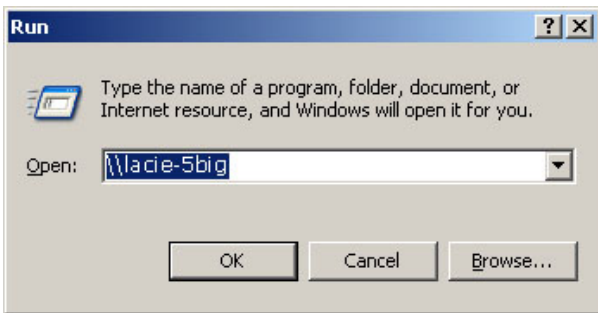
**afp://[IP アドレス]**

**smb://[IP アドレス]**



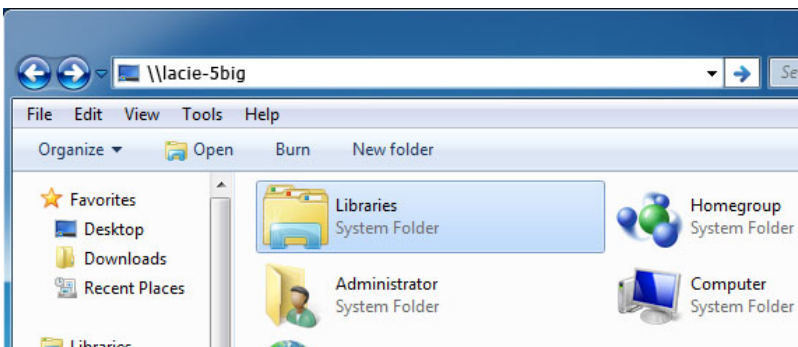
## Windows XP の場合

1. エクスプローラ ウィンドウのアドレス フィールドで \\[マシン名] または \\[IP アドレス] を入力し、**Enter** キーを押下します。または、[スタート] メニューで **[名前を指定して実行]** をクリックし、\\[マシン名] または \\[IP アドレス] を入力し、**[OK]** をクリックします。



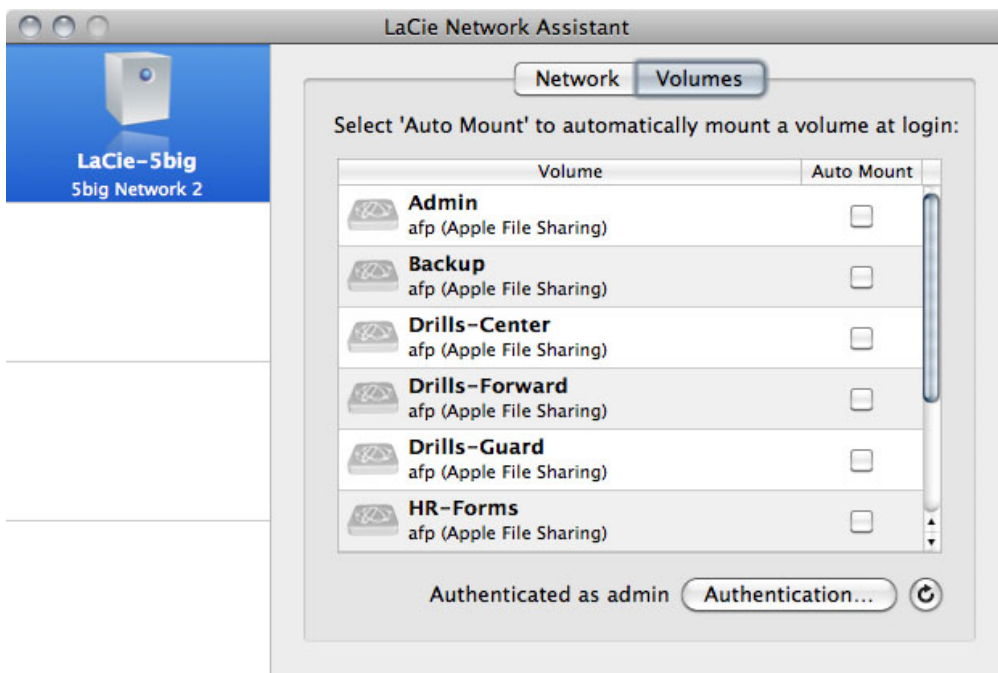
## Windows 7 または Vista の場合

1. エクスプローラ ウィンドウのアドレス フィールドで \\[マシン名] または \\[IP アドレス] をタイプし、**Enter** キーを押下します。



## 6-2-3 オプション 3

1. LaCie Network Assistant を起動します。
  - **Windows の場合:** [スタート/プログラム] で [LaCie Network Assistant] を選択します。 [Network Assistant] アイコンがシステム トレイに表示されます。 LaCie Network Assistant が自動的にネットワーク上の LaCie 製品を検出します。
  - **Mac の場合:** [アプリケーション] フォルダの [LaCie Network Assistant] を選択します。 [Network Assistant] アイコンがメニュー バーに表示されます。 LaCie Network Assistant が自動的にネットワーク上の LaCie 製品を検出します。
2. システム トレイ (Windows の場合)、またはメニュー バー (Mac の場合) でアイコンをクリックし、**[Configuration Window...(構成ウィンドウ)]** を選択します。
3. LaCie NAS のマシン名を左側の欄のデバイス リストから選択し、**[Volumes (ボリューム)]** タブをクリックします。



4. アクセスしたい共有をダブルクリックします。共有が [Finder] ウィンドウ (Mac) または [Explorer] ウィンドウ (Windows) で開きます。通常通りにコンピュータから共有にファイルを転送します。

**技術面での注記:** Mac をご使用の方： [Finder] ウィンドウで共有が開かない場合は、[Finder] で **[ネットワーク]** > **[マシン名]** > **[共有名]** に移動してください。

## 7. 管理画面 (DASHBOARD)

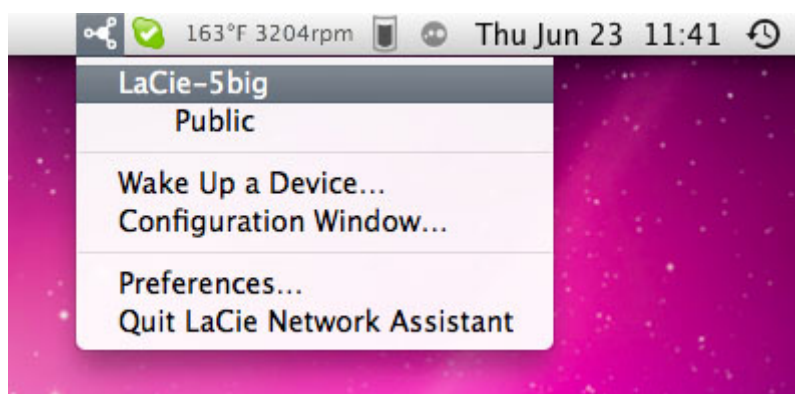
すべての LaCie NAS には、**Dashboard** と呼ばれる使いやすいブラウザ ベースの管理ツールが付属しています。このツールでは、ユーザー、グループ、共有およびその他の製品機能を管理できます。

### 7-1 [管理画面 (DASHBOARD)] - [アクセス]

Dashboard にアクセスするには、LaCie Network Assistant を使用方法とブラウザを使用する方法があります。

#### 7-1-1 LaCie Network Assistant を使用して 管理画面 (Dashboard) にアクセスする

1. システム トレイ (Windows の場合) またはメニュー バー (Mac の場合) で LaCie Network Assistant アイコンをクリックして **[マシン名] > [Web Access (Web アクセス)]** (Windows の場合) または **[マシン名]** (Mac の場合) を選択します。

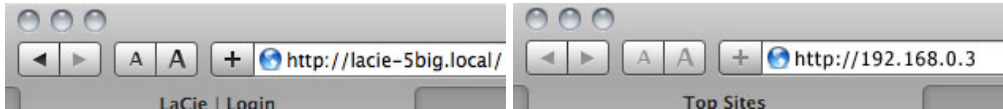


2. ログイン ページが新しいブラウザまたはタブで開きます。ブラウザを開いていない場合は、LaCie Network Assistant がブラウザを開きます。

## 7-1-2 ブラウザを使用しての Dashboard へのアクセスする

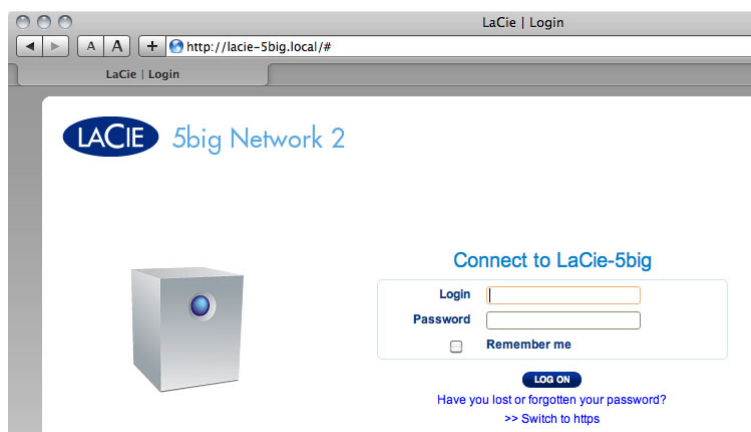
インターネットブラウザ (Firefox、Internet Explorer、Safari など) を開き、ブラウザの URL (Web アドレス) フィールドに NAS の IP アドレスまたはマシン名を入力します。

1. 例 : **http://[IP アドレス]** or **http://[マシン名]** (Windows) または **http://[マシン名].local** (Mac)



## 7-2 [管理画面 (DASHBOARD)] - [ログイン]

1. Dashboard に初めてアクセスするとき、Setup Wizard (セットアップ ウィザード) の情報に記入してください。その後のログインでは、ログイン プロンプトでユーザー名とパスワードを入力してください。
2. **[Log in (ログイン)]** をクリックします。

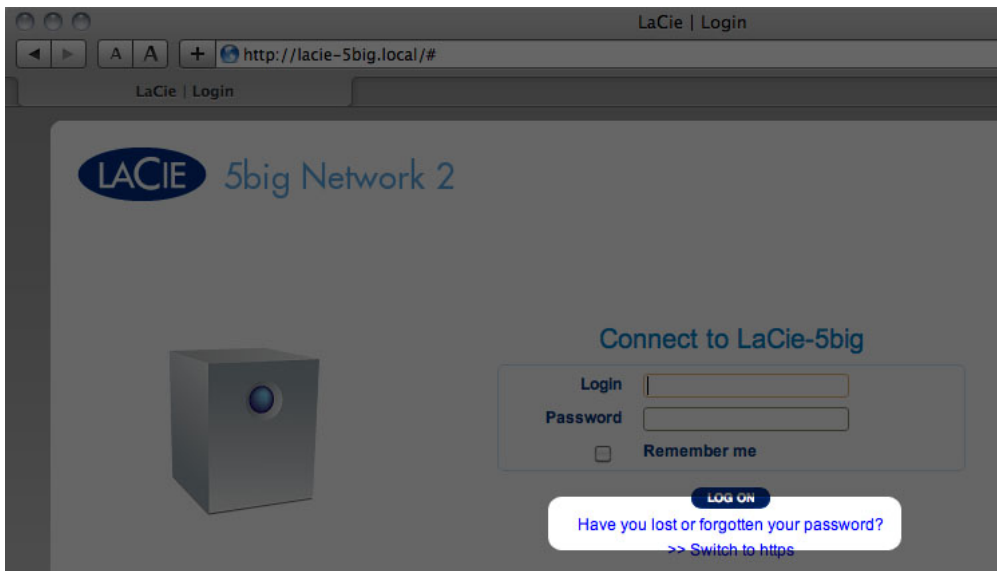


### 7-2-1 紛失したパスワードを回収する

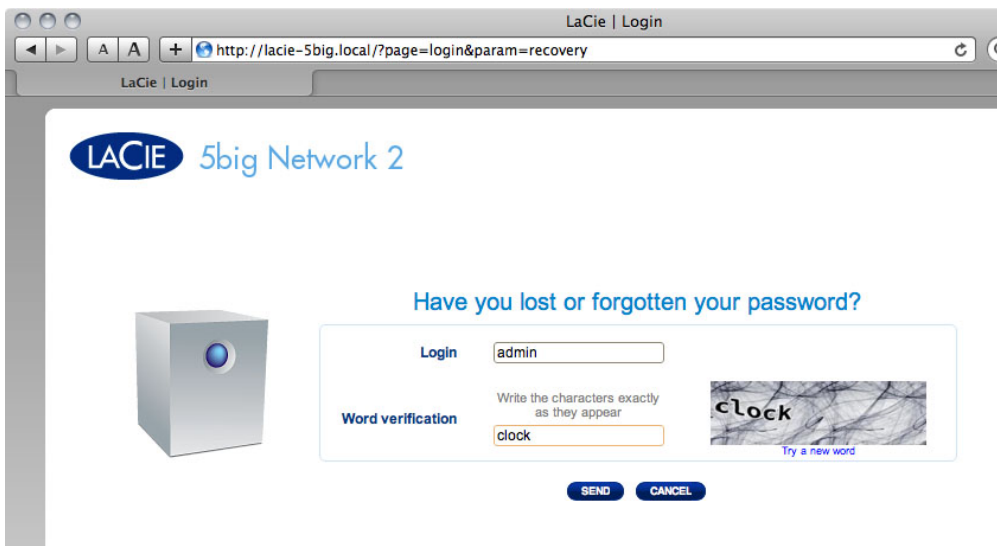
ユーザーがパスワードを忘れてしまっても、SMTP サーバーが割り当てられていて ([\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[ネットワーク\]](#) を参照)、[User (ユーザー)] ページでそのユーザーの電子メール アドレスを入力してある場合は、パスワードを回収できます。

1. ログイン ページで **[Have you lost or forgotten your password? (パスワードを紛失または忘れてしまいましたか?)]** をクリックします。





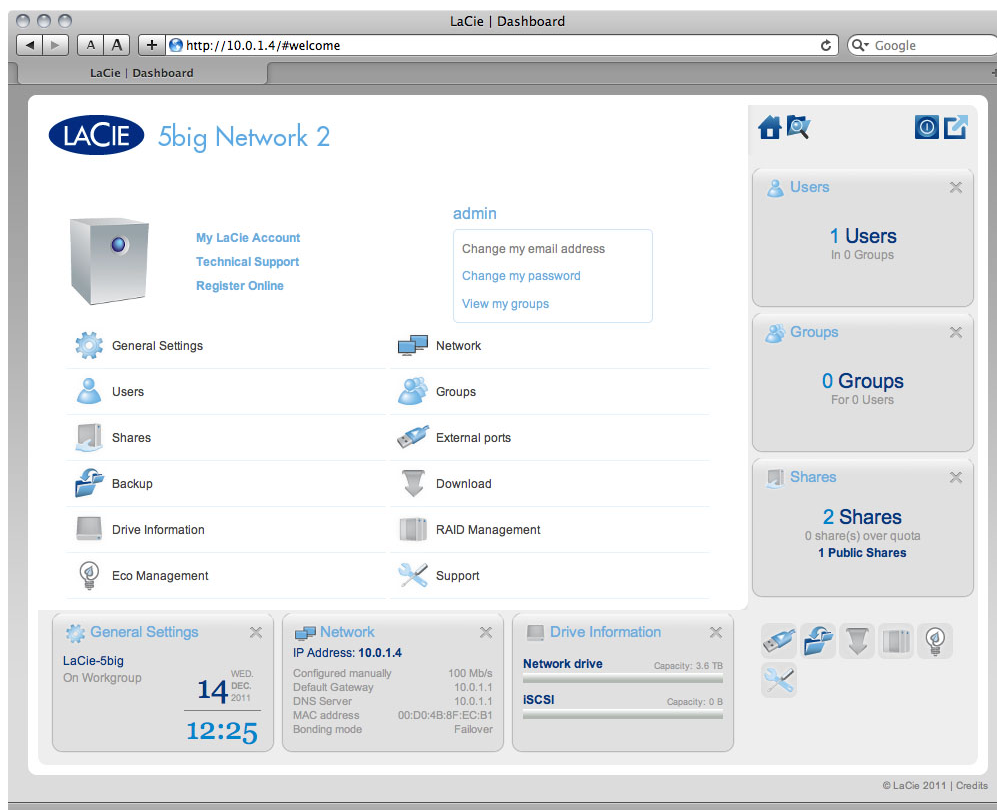
2. 次のページで、ユーザー名を入力します。その後、右の画像に書かれている文字列を入力します (これは、ユーザーがリクエストを出していることを確認します)。その後、**[Send (送信)]** をクリックします。



3. ユーザーの電子メールの受信トレイにメールが届きます。電子メールで、**[Click here (ここをクリックしてください)]** のリンクをクリックします。
4. **[Reinitialize your password (パスワードの再初期化)]** 画面でログインと新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを確認のために再入力し、**[Send (送信)]** をクリックします。

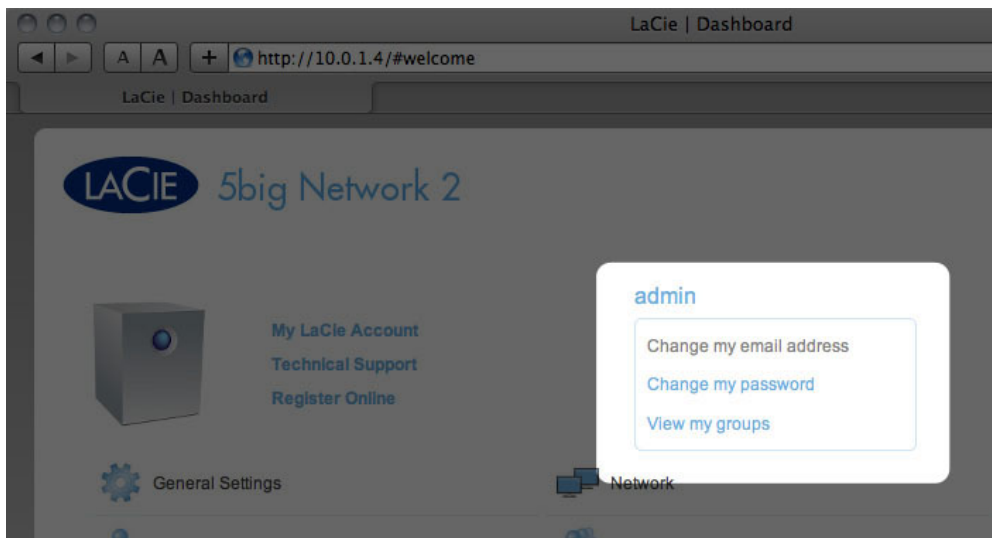
## 7-3 [管理画面 (DASHBOARD)] - [ウェルカム]

[Welcome Page (ウェルカム ページ)] には、LaCie Web サイトからの便利な文書へのリンクが含まれています。また、現在ログインしているユーザーの詳細を変更する機能、Dashboard を構成する様々なページのリストも含まれています。



**重要な情報：**管理者権限を持つユーザーとして Dashboard にログインした場合、Dashboard すべての機能にアクセスできます。管理者権限がない場合、ユーザーがアクセスできるのは File Browser (ファイル ブラウザ)、Welcome page (ウェルカム ページ)、General Settings (一般設定) のみです。

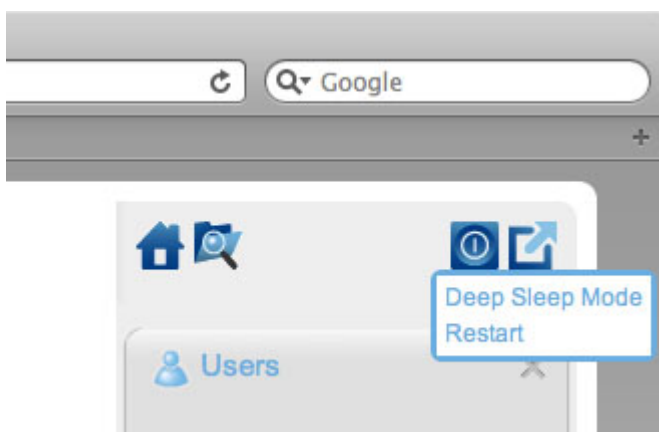
### 7-3-1 ログインしているユーザーの情報



- 現在ログインしているユーザーのユーザー名を変更するには、ユーザー名 (上記の画面では **admin**) をクリックし、新しいユーザー名を入力します。
- **[電子メールアドレスを変更]**: をクリックするか (メール アドレスを入力していない場合) または、実際のメールアドレスをクリックします (既に入力してある場合)。メール アドレスを入力すると、LaCie NAS からの通知を受け取ったり、パスワードを忘れた場合に回収することができます。メール アドレスを変更するには、Dashboard で SMTP サーバーも設定しておく必要があります。
- ログインしているユーザーのパスワードを変更するには、**[Change my password (パスワードを変更する)]** をクリックします。
- **[View my groups (グループを参照)]** をクリックして、現在ログインしているユーザーが所属しているグループを表示できます。

### 7-3-2 再起動またはディープスリープモード

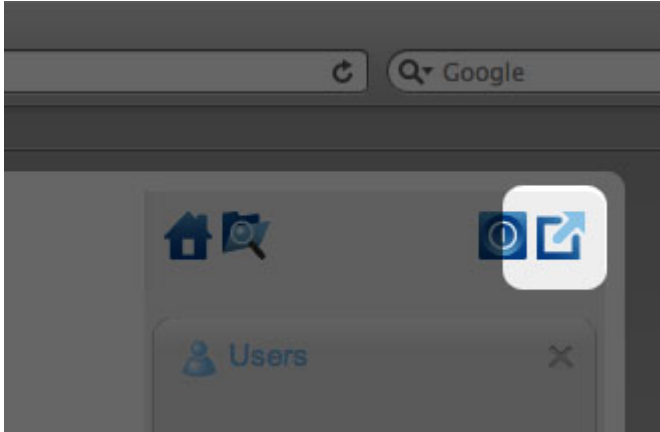
NAS を再起動またはディープスリープモードにするには、このボタンをクリックし、**[Restart (再起動)]** または **[Deep Sleep Mode (ディープスリープモード)]** を選択します。このオプションを使用するには、ディープスリープモードが有効になっている必要があります ([\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[エコ管理\]](#) を参照)。





### 7-3-3 ログアウト

Dashboard からログアウトするには、ログアウト ボタンをクリックします。



### 7-3-4 File Browser (ファイル ブラウザ)

[[管理画面 \(Dashboard\)](#)] - [[ファイル ブラウザ](#)] を参照してください。

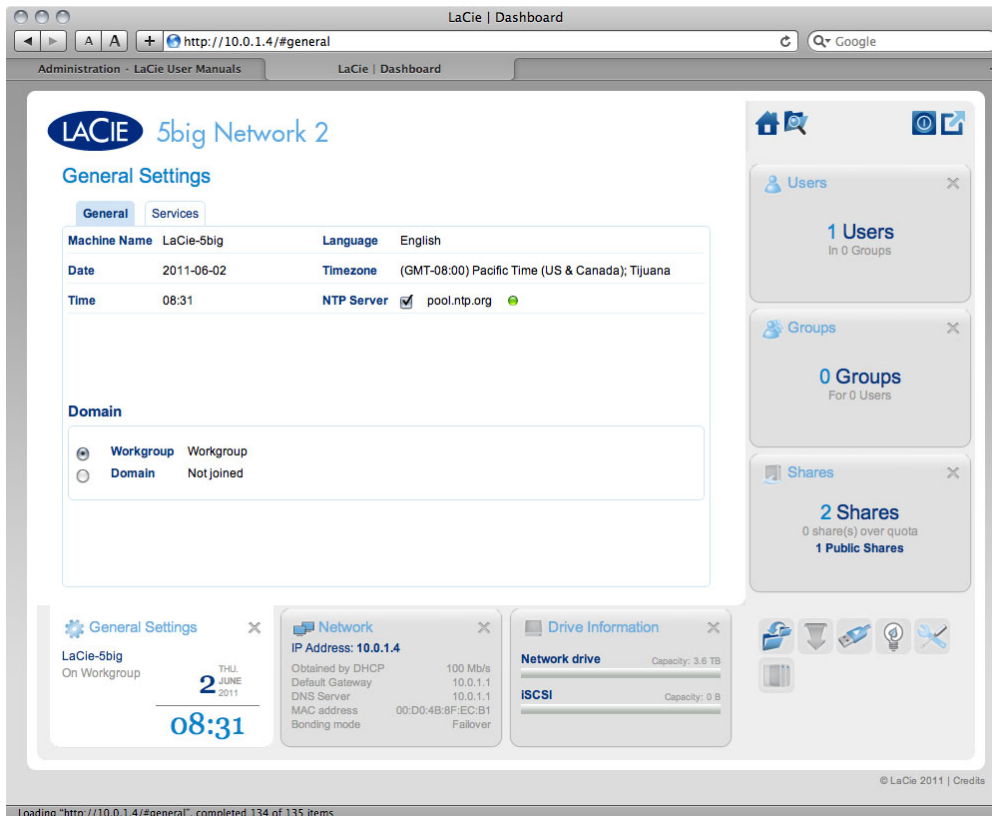
## 7-4 [管理画面 (DASHBOARD)] - [ナビゲーション]

Dashboard は、ウィジェットに囲まれた中央エリアで構成されています (または、Dashboard を構成する様々なページを表す小さいボックスで構成されています)。ウィジェットは、ページに含まれた情報の概要を表示します。詳しくは、ページ自体に移動してください。

- **ページにナビゲートするには**、タイトルの下にあるウィジェットをクリックするか、またはウィジェットをウィンドウの中央にドラッグ アンド ドロップします。
- **ウィジェットを最小表示するには**、タイトルの隣の X をクリックします。
- **最小化したウィジェットを拡張するには**、拡張したウィジェットまたはオープン ウィジェット スペースにそのアイコンをドラッグします。
- **ウィジェットの位置を変更するには**、最小化したウィジェット アイコンをドラッグするか、展開したウィジェットのタイトルバーを別の場所にドラッグします。

## 7-5 [管理画面 (DASHBOARD)] - [一般設定]

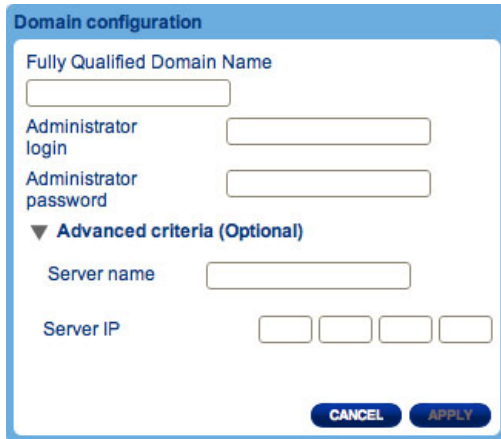
### 7-5-1 [General (一般)] タブ



- **Machine Name (マシン名):** マシン名は、LaCie NAS をネットワーク上で識別します。テキストをクリックして新しい名前を入力すると、デフォルトから変更できます。マシン名は最大 15 文字に制限されています。また、大文字/小文字が区別され、英数字のみで構成されていることが必要であり、スペースや記号は使用できません。
- **Date (日付):** 日付と時刻は、NTP サーバーを割り当てると自動的に設定されます (以下を参照)。その他の場合、テキストをクリックし、カレンダーから日付を選択してください。
- **Time (時間):** NTP サーバーで時刻が設定されない場合は、テキストをクリックして適切な時刻を選択してください。
- **Language (言語):** テキストをクリックして、Dashboard の言語を変更できます。
- **Timezone (タイムゾーン):** リストされたタイムゾーンをクリックし、ドロップダウン ウィンドウから時間帯を選択します。
- **Time Synchronization (時刻の同期化):** このオプションでは、NAS の時刻と日付を NTP (ネットワーク タイム プロトコル) サーバーと同期できます。
- **Workgroup (ワークグループ):** テキストをクリックし、Windows ワークグループ名を入力します (1 ~ 15 文字の英数字を使用してください)。
- **Domain (ドメイン):** この機能では、LaCie NAS を Windows Active Directory に参加させることができます。接続すると、ドメインに既存のユーザー/パスワードが LaCie NAS によって認識され、Dashboard で作成されたも

のと同様に扱われます。LaCie NAS の共有に対するドメイン ユーザーのアクセスは、[Users (ユーザー)] ページを使用して割り当てることができます。

共有に接続するには、[Domain (ドメイン)] ボックスをクリックし、**[Fully Qualified Domain Name (完全修飾ドメイン名)]**、**[Admin login (管理者ログイン)]**、**[Administrator password (管理者パスワード)]** を入力します。より複雑なネットワーク構成の場合は、**[Advanced Criteria (詳細設定)]** の矢印をクリックし、**[Server name (サーバー名)]** と **[Server IP (サーバー IP)]** を入力します。



The image shows a 'Domain configuration' dialog box with the following fields and buttons:

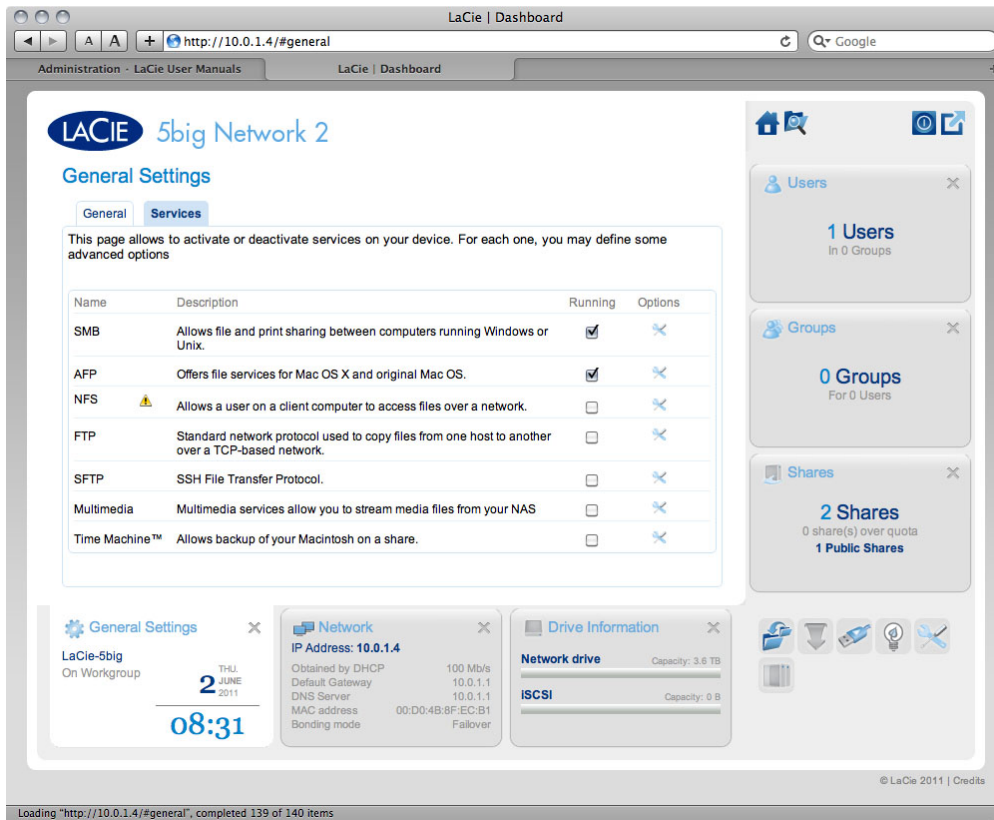
- Fully Qualified Domain Name:
- Administrator login:
- Administrator password:
- Advanced criteria (Optional):
  - Server name:
  - Server IP:
- Buttons: CANCEL, APPLY

接続すると、Dashboard の [Users (ユーザー)] ページに、関連付けられたドメイン ユーザーの一覧が表示されます (これらのユーザーは、パスワードの代わりに Domain (ドメイン) という語が表示されるため、これで識別できます)。

ドメインから脱退するには、**[Leave (脱退)]** ボタンをクリックし、管理者のユーザー名とパスワードを入力して認証を受けます。

NAS をドメインに参加させるヘルプについては、[アクティブディレクトリ接続のトラブルシューティング](#)を参照してください。

## 7-5-2 Services (サービス) タブ



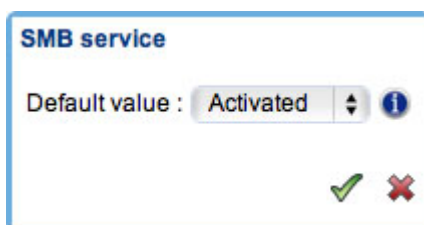
このページでは、使用中のデバイスでサービスを有効化または無効化できます。サービスの有効化には、グローバル、デフォルト、共有の3つのレベルがあります。グローバルレベルは、他のレベルに優先します。

サービスがグローバルレベルで有効になっている場合、**[Running (実行)]** 列には緑色のライトが表示されます。ライトが緑色の時に、新しい共有が作成されると、そのサービスはデフォルトで有効になります。共有レベルはデフォルトレベルよりも優先されますが、グローバルレベルよりも優先されません。共有レベルでサービスを有効化するには、[\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[共有\]](#) を参照してください。

サービスの行のボックスをクリックして、すべての共有でサービスを有効化または無効化できます。

**[Options (オプション)]** アイコンをクリックすると、次の処理を実行できます。

1. サービスをグローバルレベルで有効または無効にします。
2. サービスをデフォルトレベルで有効または無効にします。

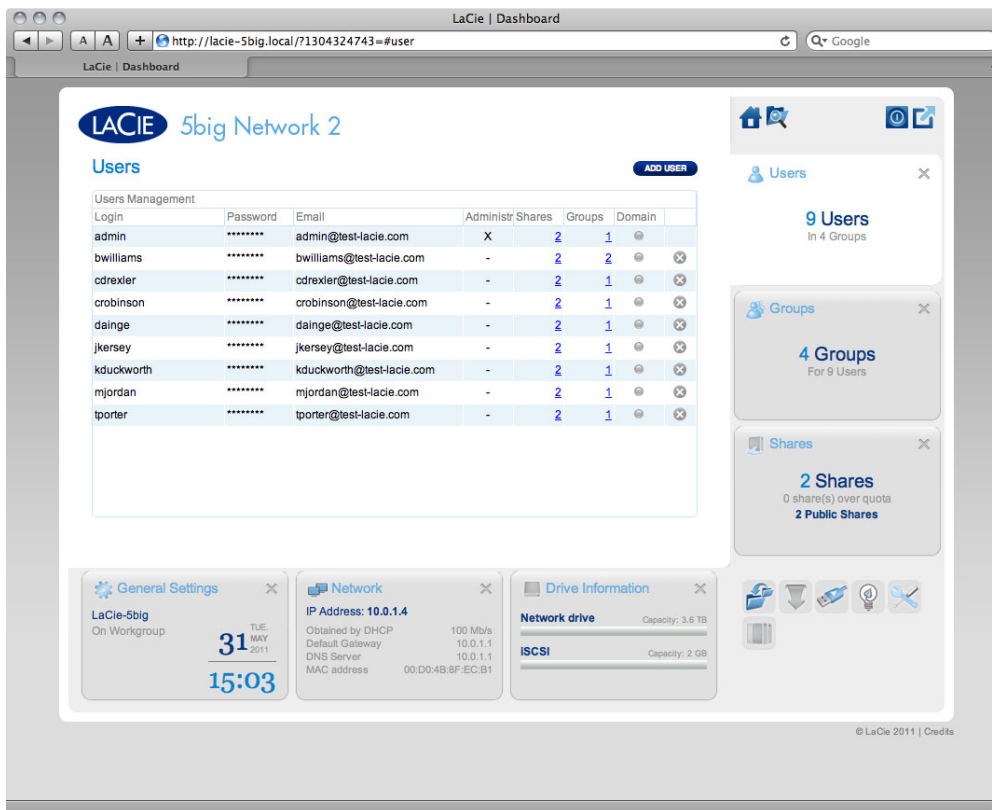


次の表は、利用可能なサービスについて解説しています。



サービス	説明	デフォルトで有効
SMB	Windows または Unix を実行中のコンピュータ間でのファイルおよびプリントの共有が可能になります。	はい
AFP	Mac OS X のファイル サービスを有効にします。	はい
NFS	クライアント コンピュータがネットワーク上でファイルにアクセスできるようになります。	いいえ
FTP	TCP 式のネットワークで一つのホストから別のホストにファイルをコピーするために使用される標準ネットワーク プロトコル。	いいえ
SFTP	SSH ファイル転送プロトコル。	いいえ
Multimedia (マルチメディア)	UPnP 対応のプレーヤー (携帯電話、コンピュータ、ゲーム コンソールなど) に、NAS からメディア ファイルをストリーミングできるようにするマルチメディア サービス。詳細については、 <a href="#">8. 管理画面を使う (高度なアクセス性の機能)</a> を参照してください。	いいえ
Time Machine™	Time Machine が Mac を LaCie NAS の共有にバックアップできるようにします。	いいえ

## 7-6 [管理画面(DASHBOARD)] - [ユーザー]



このページでは、ユーザー アカウントを管理できます。詳細については、以下を参照してください。

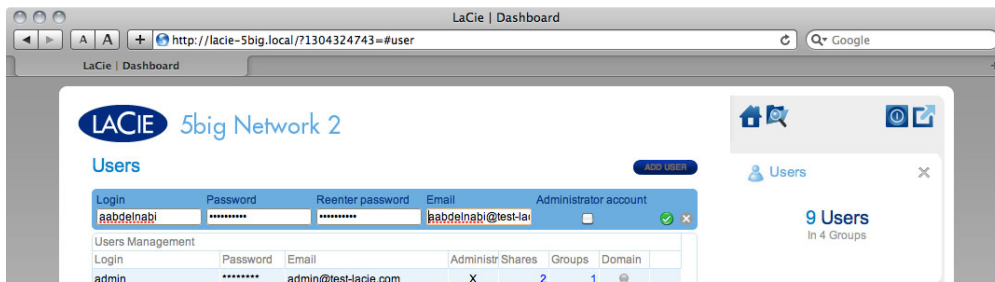
### 7-6-1 ユーザーを追加する

新しいユーザーを作成するには、**[Add User (ユーザーを追加)]** ボタンをクリックし、必要なフィールドに記入します。

#### 重要な情報：

パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

テキスト フィールドでは、アルファベット、数字、記号、ハイフン、アンダースコアを使用して 4~20 文字を入力できます。ハイフンまたはアンダーバーを最初または最後の文字として使用しないでください。



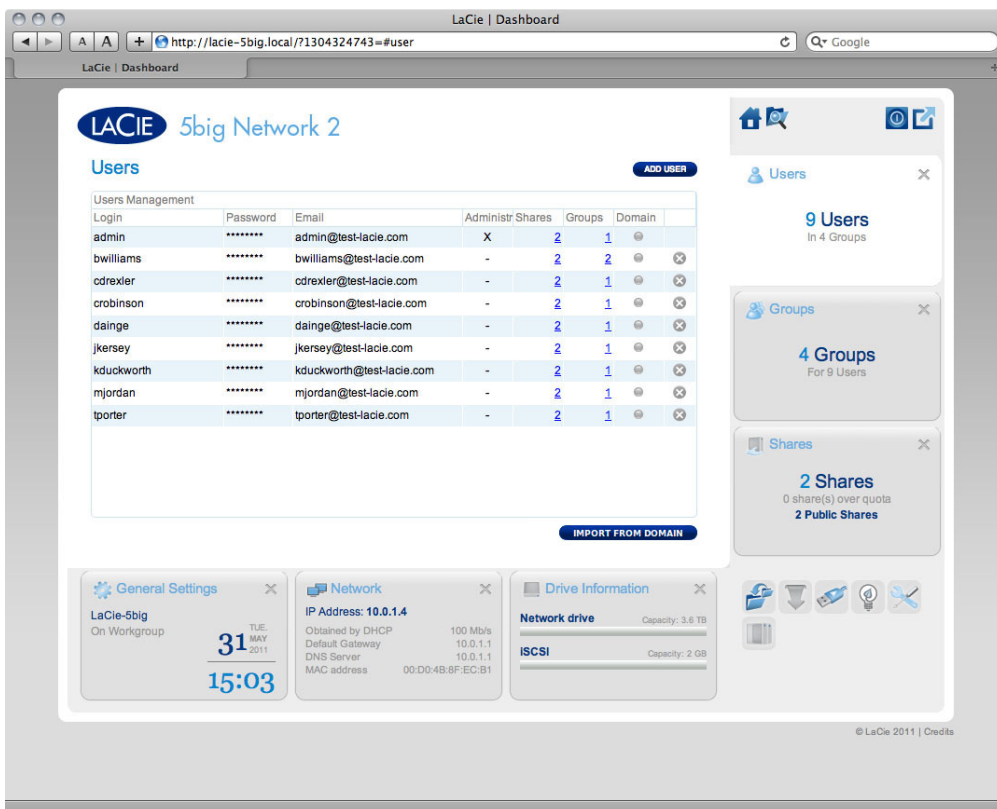
## 7-6-2 ユーザーの情報を見る

ユーザー データは、表形式で表示されます。

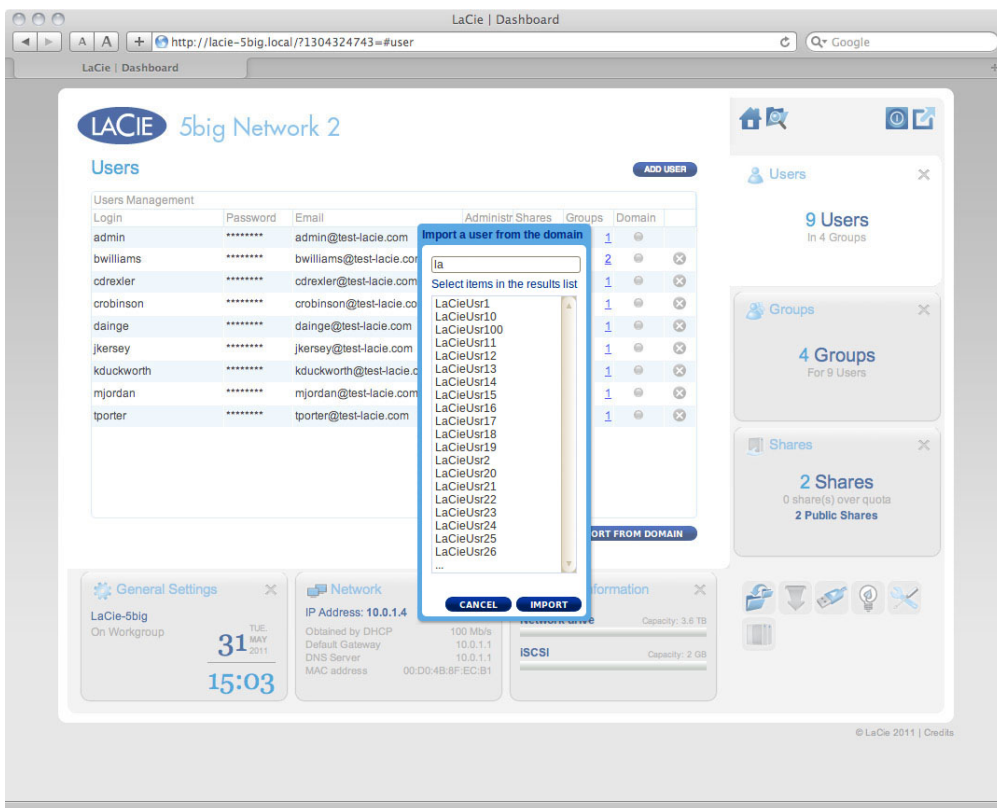
- ユーザー名を変更するには、**[Login (ログイン)]** 列のテキストをクリックします。
- ユーザーのパスワードを変更するには、**[Password (パスワード)]** 列のテキストをクリックします。
- ユーザーのメールアドレスを変更するには、**[Email (電子メール)]** 列のテキストをクリックします。
- **[Administrator (管理者)]** 列に **[X]** が付いている場合は、ユーザーに管理者権限があることを示しています。
- [Shares (共有)] 列の数字は、ユーザーに割り当てられている共有の数を示します。数字をクリックすると、割り当てられた共有を表示できます。
- [Groups(グループ)]列の数字は、ユーザーが属しているグループの数を示します。数字をクリックすると、グループを表示できます。
- [Domain (ドメイン)] 列の丸印は、ドメインに参加したときに継承されたユーザーであるか、または Dashboard で作成されたかどうかを示します。

## 7-6-3 アクティブ ディレクトリからユーザーをインポートする

1. アクティブ ディレクトリ ドメインに正しく接続した場合 ([\[管理画面 \(Dashboard\)\]](#) - [\[一般設定\]](#) を参照)、[\[管理画面 \(Dashboard\)\]](#) - [\[ユーザー\]](#) のページに **[IMPORT FROM DOMAIN (ドメインからインポート)]** というボタンが表示されます。そのボタンをクリックします。

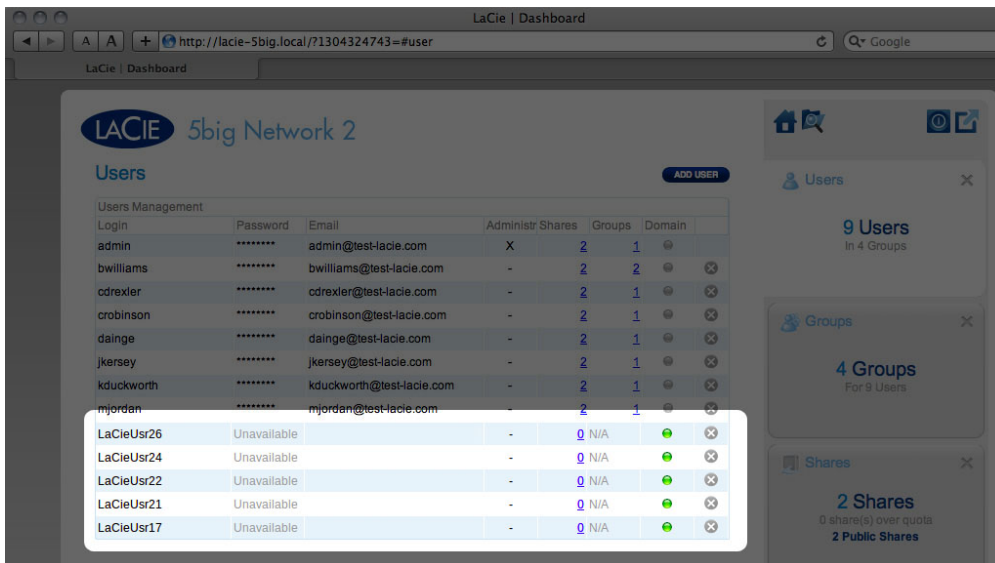


2. ウィンドウが表示され、ドメインのすべてのユーザーが表示されます。テキスト フィールドに数字を入力すると、一致する結果を表示します。



3. 複数のユーザーを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Windows) を押しながら選択します。
4. **[IMPORT (インポート)]** ボタンをクリックします。
5. インポートしたユーザーが表に表示されます。 **[Domain (ドメイン)]** 列の丸が緑色になり、どのユーザーをド

メインからインポートしたかを識別できます。

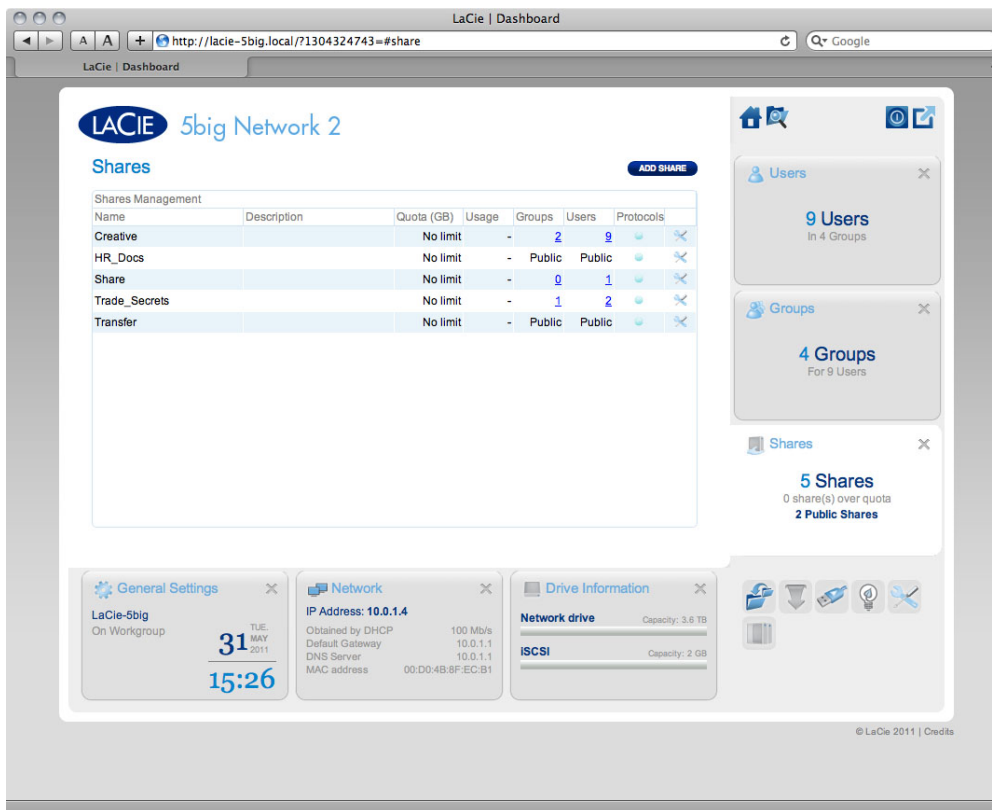


## 7-6-4 ユーザーの削除

ユーザーを削除するには、ユーザーの行の右端にある灰色の X をクリックします。ダイアログ ウィンドウで削除を確認します。



## 7-7 [管理画面 (DASHBOARD)] - [共有]



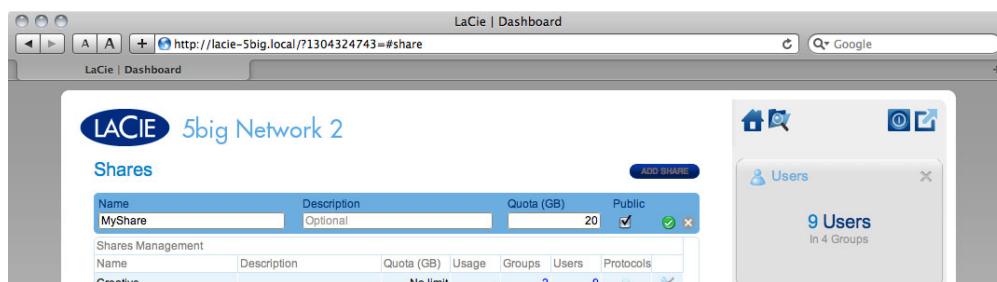
共有 (ネットワーク フォルダ) は、LaCie NAS のストレージ容量を構成しています。出荷時には、Share と Public という 2 つの共有があり、Dashboard でストレージを割り当てたときに USBShare (d2/2big のみ) または iSCSIShare (5big のみ) が自動的に作成されます。管理者は、Dashboard の [Shares (共有)] ページを使用して、ユーザーおよびグループに対し、クォータや共有フォルダへのアクセス権、共有レベルの変更、割り当てをすることができます。

注記:本製品を使用するために共有フォルダを作成する必要はありません。デフォルトの Share または Public を使用できます。

**重要な情報:** テキスト フィールドでは、アルファベット、数字、ハイフン、アンダーバーを使用して 1~20 文字を入力できます。その他の記号、特殊文字、句読点、スペースは使用できません。ハイフンまたはアンダーバーを最初または最後の文字として使用しないでください。

### 7-7-1 共有を作成する

新しい共有を作成するには、**[Add Share (共有を追加)]** ボタンをクリックし、必要なフィールドに記入します。



## 7-7-2 共有の情報を見る

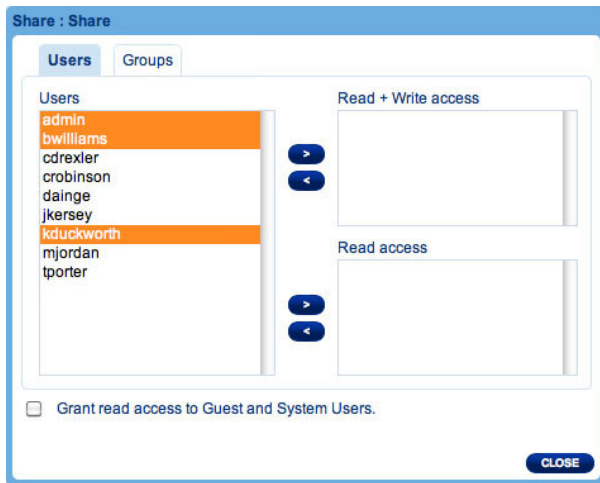
共有のデータは、表に表示されます。

- 共有名を変更するには、**[Name (名前)]** 列のテキストをクリックします。
- 共有の説明を変更するには、**[Description (説明)]** 列のテキストをクリックします (オプション)。
- 共有の最大サイズを変更するには、**[Quota (配分)]** 列のテキストをクリックします。
- **[Usage (使用量)]** 列の数字は、共有が使用しているストレージ容量を示します。
- **[Groups (グループ)]** 列の数字は、その共有にアクセスできるグループ数を示します。数字をクリックすると、グループを表示できます。
- **[Users (ユーザー)]** 列の数字は、その共有にアクセスできるユーザー数を示します。数字をクリックすると、ユーザーを表示できます。
- **[Protocols (プロトコル)]** 列の青色の丸は、この共有のネットワーク プロトコルが [\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[一般設定\]](#) (**[Services (サービス)]** タブ) で設定されるグローバル値によってコントロールされていることを示します。丸をクリックすると、この共有のグローバル値をオーバーライドできます。
- 設定アイコンをクリックすると、共有の設定メニューが表示されます。共有をパブリック/パブリックにする機能または共有を削除する機能以外、このメニューのほとんどのオプションは、上記で説明されています。パブリック共有では、すべてのユーザーおよび非ユーザーが読み取り+書き込みができます。

注意: 割り当て (クォータ) の容量を削減すると、データが削除される場合があります。



### 7-7-3 共有アクセスを管理する

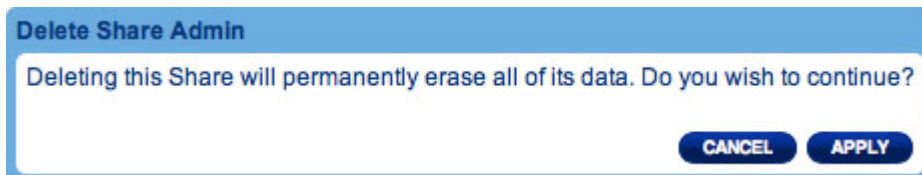


右側の設定アイコンをクリックし、**[Manage User Access (ユーザー アクセスの管理)]** または **[Manage Group Access (グループ アクセスの管理)]** を選択し、**[Edit (編集)]** ボタンをクリックします。結果のウィンドウの左側の欄に、共有へのアクセスのないユーザーまたはグループがリスト表示されます。アクセス権を与えるグループまたはユーザーを選択し、**[Read + write access (読み取り+書き込みアクセス)]** セル、または **[Read only access (読み取り専用アクセス)]** セルの右向きの矢印をクリックします。アクセス権を与えるグループ、またはユーザーを選択し、**[Read + write access (読み取り+書き込みアクセス)]** セル、または **[Read only access (読み取り専用アクセス)]** セルの右向きの矢印をクリックします。

**[Grant read access to Guest and System Users (ゲストおよびシステム ユーザーに読み取りアクセス権を授与)]** を選択すると、非ユーザーに読み取り専用のアクセスを授与できます。

### 7-7-4 共有を削除する

共有を削除するには、共有の行の右端にある灰色の **X** をクリックします。以下のダイアログ ウィンドウで削除を確認します。共有の削除をすると、共有上の全てのファイルが削除されるだけでなく、その共有に関わるバックアップジョブも削除されます。



## 7-8 [管理画面(DASHBOARD)] - [グループ]

The screenshot shows the LaCie Dashboard interface. At the top, the browser address bar displays 'http://10.0.1.4/#group'. The main content area is titled 'LACIE 5big Network 2' and 'Groups'. Below this is a table for 'Users Management' with columns for Group name, Description, Shares, Users, and Domain. The table lists four groups: Coaches, Player-Center, Player-Forward, and Player-Guard. To the right of the table is an 'ADD GROUP' button. On the right side of the dashboard, there are three summary cards: 'Users' showing 14 users in 0 groups, 'Groups' showing 4 groups for 12 users, and 'Shares' showing 9 shares with 0 over quota and 1 public share. At the bottom, there are three panels: 'General Settings' showing system information like date and time, 'Network' showing IP address and other network details, and 'Drive Information' showing network and iSCSI drive capacities.

Group name	Description	Shares	Users	Domain
Coaches		8	2	
Player-Center		6	3	
Player-Forward		6	5	
Player-Guard		5	5	

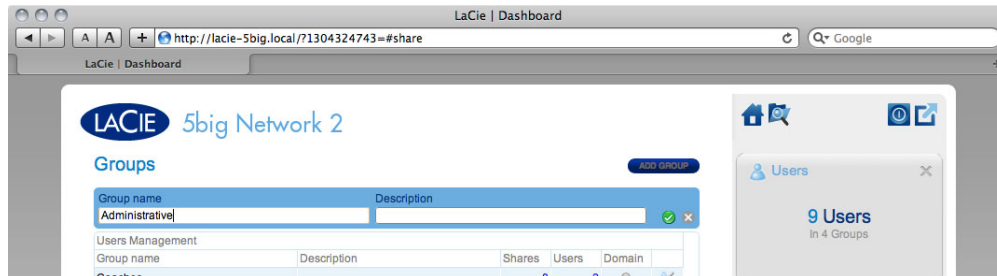
ユーザーをグループに割り当てると、多数のユーザーとその権限を管理するためのツールを活用できるようになります。管理者は、個別にではなく、グループ全体に対するアクセス権を変更できます。

このページでは、管理者はグループの作成、変更、削除を行うことができます。グループにユーザーを追加することも可能です。

**重要な情報：**テキスト フィールドでは、アルファベット、数字、ハイフン、アンダーバーを使用して 1~20 文字を入力できます。その他の記号、特殊文字、句読点、スペースは使用できません。ハイフンまたはアンダーバーを最初または最後の文字として使用しないでください。

## 7-8-1 グループを作成する

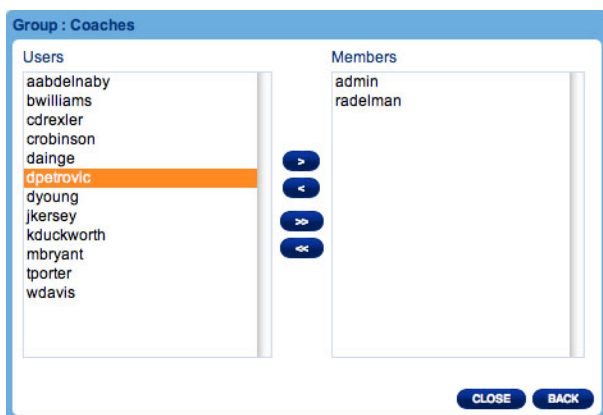
新しいグループを作成するには、**[ADD GROUP (グループを追加)]** ボタンをクリックし、必要なフィールドに記入します。



## 7-8-2 グループの情報を見る

グループのデータは、表に表示されます。

- グループ名を変更するには、**[Group Name (グループ名)]** 列のテキストをクリックします。
- グループの説明を変更するには、**[Description (説明)]** 列のテキストをクリックします (オプション)。
- **[Shares (共有)]** 列の数字は、グループがアクセスできる共有の数を示します。数字をクリックすると、共有を表示できます。
- **[Users (ユーザー)]** 列の数字は、そのグループに属するユーザーの数を示します。数字をクリックすると、ユーザーを表示できます。
- [Domain (ドメイン)] 列の丸印は、ドメインに参加したときに継承されたグループであるか、または Dashboard で作成されたかどうかを示します。
- 設定アイコンをクリックすると、グループの設定メニューが表示されます。このメニューから次の操作を実行できます。
- **Manage users (ユーザーの管理)** により、グループのメンバーを変更できます。その結果として表示されるウィンドウでユーザーをクリックし、矢印をクリックしてグループにユーザーを参加・不参加にできます。



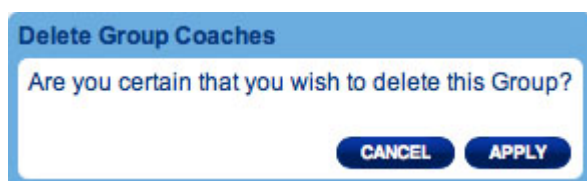
- このグループを削除します。以下を参照してください。

### 7-8-3 アクティブ ディレクトリからグループをインポートする

1. アクティブ ディレクトリ ドメインに正しく接続した場合 ([[管理画面\(Dashboard\)](#)] - [[一般設定](#)] を参照)、 [[管理画面\(Dashboard\)](#)] - [[グループ](#)] のページに [**IMPORT FROM DOMAIN (ドメインからインポート)**] というボタンが表示されます。そのボタンをクリックします。
2. ウィンドウが表示され、ドメインのすべてのグループが表示されます。テキスト フィールドに数文字を入力して結果をフィルタします。
3. 複数のユーザーを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Windows) を押しながら選択します。
4. [**IMPORT (インポート)**] ボタンをクリックします。
5. インポートしたグループが表に表示されます。 [**Domain (ドメイン)**] 列の丸が緑色になるため、どのグループをドメインからインポートしたかを識別できます。

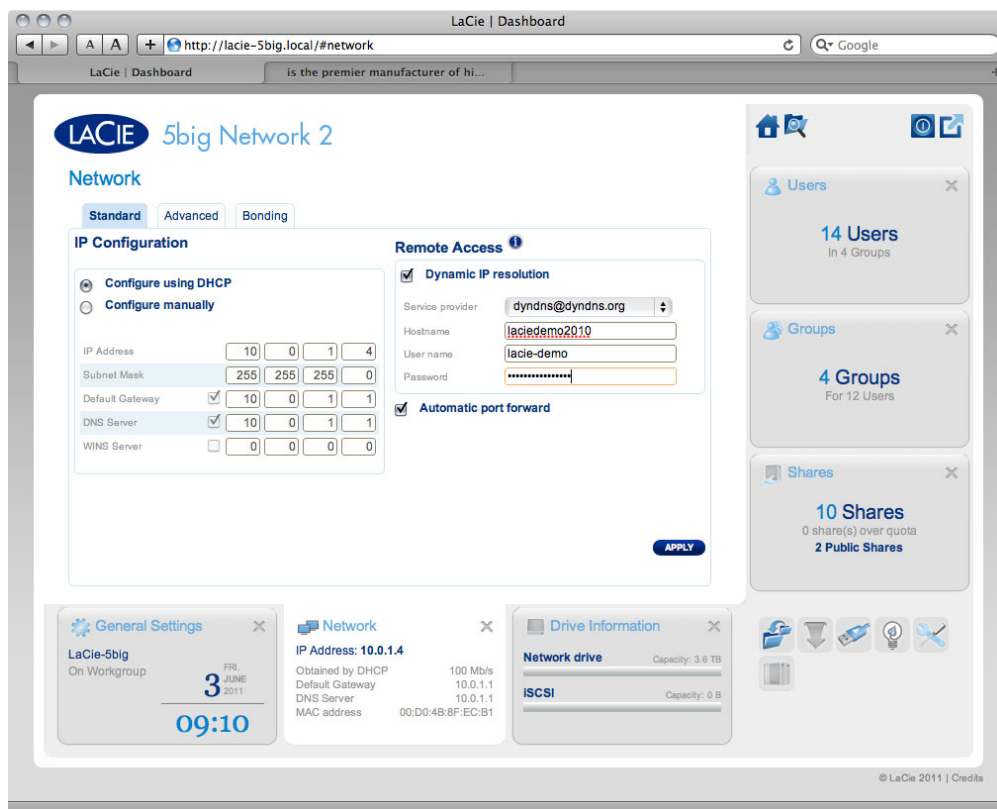
### 7-8-4 グループを削除する

ユーザーを削除するには、ユーザーの行の右端にある灰色の X をクリックします。ダイアログ ウィンドウで削除を確認します。グループを削除しても、ユーザーのデータには影響がありません。



## 7-9 [管理画面(DASHBOARD)] - [ネットワーク]

### 7-9-1 [Standard (標準)] タブ



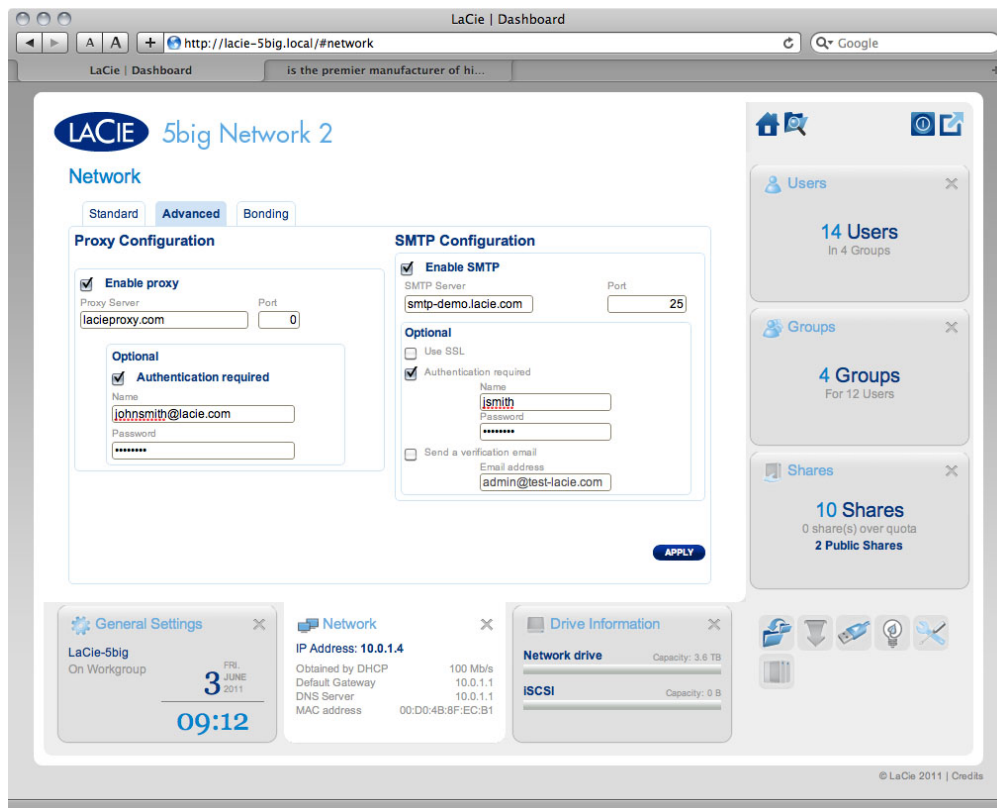
### IP 設定

**[Configure using DHCP (DHCP を使用した構成)]** または **[Configure manually (手動で構成)]** のいずれかを選択します。ネットワークで DHCP が有効になっている場合 (ほとんどの消費者向けネットワークでは有効)、LaCie NAS が自動的に IP アドレスおよびその他の値を割り当てます。その結果、ほとんどの場合では表にすでに値が記入されています。**[Configure Manually (手動で構成)]** を選択すると、非 DHCP 管理のネットワークに適合するように、表の値を変更できます。

### リモート アクセス

8. [管理画面を使う \(高度なアクセス性の機能\)](#)を参照してください。

## 7-9-2 [Advanced (詳細)] タブ



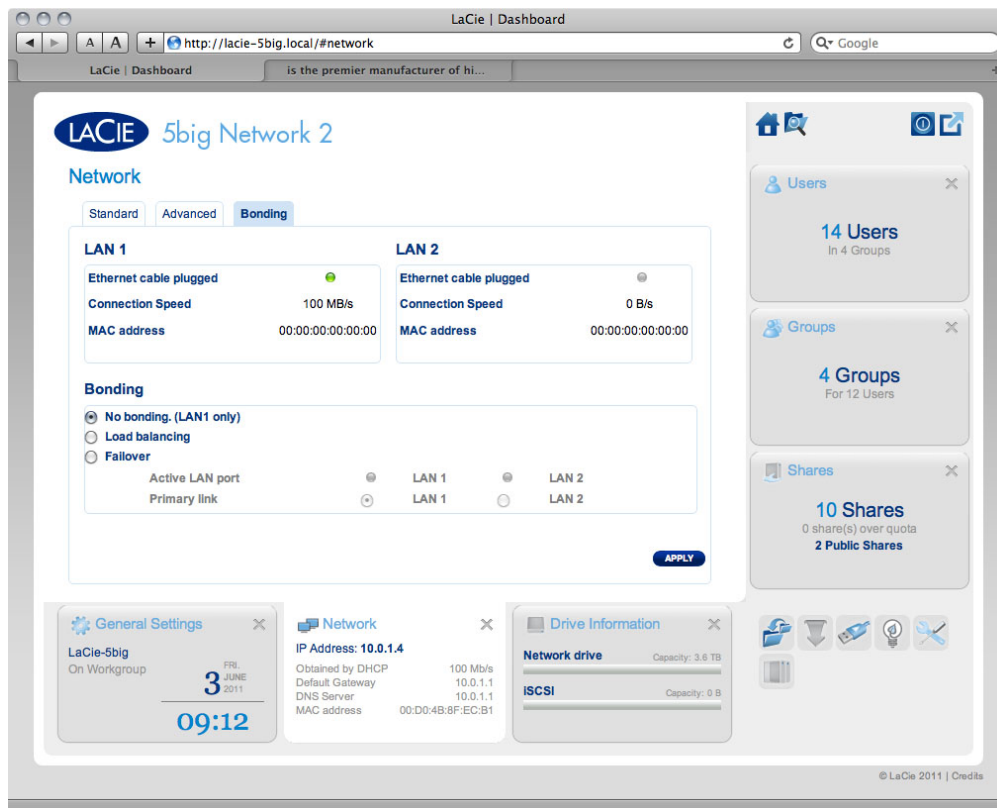
### プロキシ構成

LaCie NAS は、プロキシ サーバーに接続するように構成できます。まず、**[Enable proxy (プロキシを有効化)]** ボックスをクリックして機能を有効化し、その後、プロキシ サーバーのアドレスおよびオプションの認証情報を記入し、**[APPLY (適用)]** をクリックします。

### SMTP 構成

LaCie NAS が警告メールをユーザーに送信できるようにするには、SMTP 設定を構成します。**[Send a verification email (検証用の電子メールを送信)]** ボックスをクリックし、メール アドレスを入力し、**[APPLY (適用)]** ボタンをクリックして、警告システムが機能することを確認します。

## 7-9-3 [Bonding (結合)] タブ (5big のみ)



このセクションでは、2本のEthernetケーブルでネットワークに接続したときに5big Network 2で利用できる機能について記述します。最初の2つのボックスには、LAN1とLAN2の情報が表示されます。

3番目のボックス[Bonding (結合)]では、2つのLAN接続を5bigで使用する方法を選択できます。次から選択します。

- **No bonding (結合なし) (LAN1のみ)**
- **Load balancing (負荷分散)**: 負荷分散では、データ転送を最適化するために2つのLAN接続を使用することによって、転送量を分散させます。この機能は最大限のリソース活用、最適なスループット、レスポンス時間の最小化、過負荷の回避に役立ちます。
- **Failover (フェールオーバー)**: フェールオーバーは、プライマリ (LAN1) 接続が故障した場合に、5bigのネットワーク接続を保護します。この場合、ネットワークトラフィックはLAN2を通じて自動的にルーティングされ、故障時間やファイル転送の中断を防止します。

## 7-10 [管理画面(DASHBOARD)] - [ドライブ情報]

**LACIE 5big Network 2**

### Drive Information

**Drive**

Drive size *	4 TB
Formatted size	3.6 TB

[FORMAT](#)

	Capacity	Used	Available	Used storage
Network drive	3.6 TB	5.5 MB	3.6 TB	<div style="width: 1.5%;"></div>
ISCSI Drive	11 GB	0 B	11 GB	<div style="width: 0%;"></div>

\* 1TB (Terabyte) = 1000GB. 1GB = 1,000,000,000 bytes. Total accessible capacity varies depending upon operating environment (typically 10-15% less).

**General Settings**

LaCie-5big  
On Workgroup

THU, JUNE 2011

**13:46**

**Network**

IP Address: **10.0.1.4**

Obtained by DHCP  
Default Gateway: 10.0.1.1  
DNS Server: 10.0.1.1  
MAC address: 00:D0:4B:8F:EC:B1  
Bonding mode: Fallover

**Drive Information**

Network drive Capacity: 3.6 TB

ISCSI Capacity: 11 GB

**Users**: 2 Users (In 0 Groups)

**Groups**: 0 Groups (For 0 Users)

**Shares**: 2 Shares (0 share(s) over quota, 1 Public Shares)

© LaCie 2011 | Credits

### 5big Network 2

**LACIE 2big Network 2**

### Drive Information

**Drive**

Drive size *	2 TB
Formatted size	1.8 TB

[FORMAT](#)

	Capacity	Used	Available	Used storage
Network drive	1.5 TB	42.6 GB	1.5 TB	<div style="width: 28.4%;"></div>
USB drive	300 GB	64 KB	300 GB	<div style="width: 0.02%;"></div>

\* 1TB (Terabyte) = 1000GB. 1GB = 1,000,000,000 bytes. Total accessible capacity varies depending upon operating environment (typically 10-15% less).

**General Settings**

PRODNOV2011  
On Workgroup

FRI, DEC 2011

**11:22**

**Network**

IP Address: **192.168.5.26**

Obtained by DHCP  
Default Gateway: 192.168.5.1  
DNS Server: 212.27.40.241  
MAC address: 00:D0:4B:28:03:92

**Drive Information**

Network drive Capacity: 1.5 TB

USB drive Capacity: 300 GB

**Users**: 9 Users (In 0 Groups)

**Groups**: 8 Groups (For 0 Users)

**Support**: 0 Logs (Email notification, Version 2.1.3)

© LaCie 2011 | Credits



## 2big Network 2

The screenshot shows the LaCie d2 Network 2 dashboard. The main section is titled "Drive Information" and displays a table of drive usage:

Drive	Capacity	Used	Available	Used storage
Network drive	465.1 GB	10.8 GB	454.3 GB	
USB drive	464 GB	64 KB	464 GB	

Below the table, there is a "FORMAT" button. To the right, there are panels for "Users" (1 Users), "Groups" (0 Groups), and "Support" (6 Logs). At the bottom, there are tabs for "General Settings", "Network", and "Drive Information". The "Network" tab is active, showing IP Address: 192.168.5.40, and other network details. A clock shows the time as 10:35 on Friday, December 23, 2011.

### d2 Network 2

このページでは、ディスクの使用量についての情報を表示し、ディスクの再フォーマットを行うことができます。一番上の **[FORMAT (フォーマット)]** ボタンをクリックすると、ディスク上のすべてのデータ (USBShare または iSCSIShare を含みます) が消去され、ディスクのフォーマットが行われます。拡張ポートに接続された USB または eSATA ハードドライブのデータには影響しません。

再フォーマットするには:

1. **[FORMAT (フォーマット)]** ボタンをクリックします。
2. そこで開く青色のウィンドウで、**[FORMAT (フォーマット)]** ボタンをクリックして確定します。

**Format Drive**

**Formatting the device (XFS) will erase all stored on the hard drive (iSCSI included).**

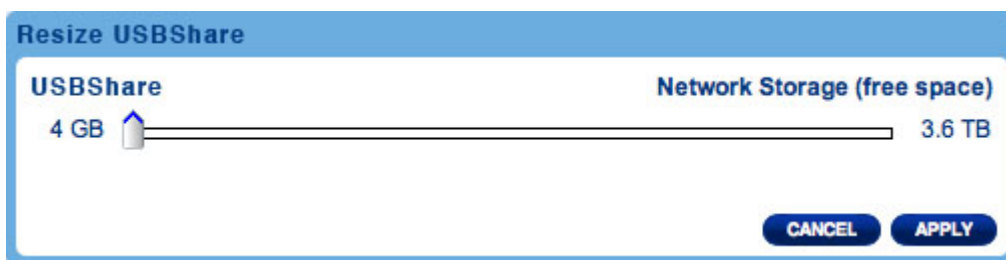
Choose Cancel if you do not wish to format.

**CANCEL** **FORMAT**

注意:フォーマットすると、ドライブ上のすべてのデータが消去されます (ただし、ユーザーや設定は削除されません)。続行する前に、別のボリュームにすべてのデータのバックアップを取るよう to してください。USBShare のフォーマットを行う場合、始めに別の共有にバックアップをしたい場合は、SMB/AFP (Mac の場合は [Finder] ウィンドウ、Windows の場合は [エクスプローラ] ウィンドウ) を使うのではなく、[\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[ファイル ブラウザ\]](#) を使用することをお勧めします。LaCie では、フォーマット中のデータ損失に対する責任は負いかねます。

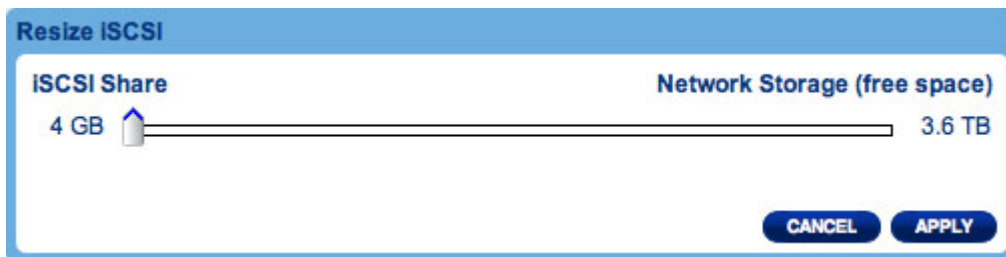
d2/2big 特有の情報:

このページでは、USBShare にストレージを配分することができます。USB を介して LaCie NAS をコンピュータに接続する方法については、[9. USB 経由でコンピュータに接続](#) を参照してください。USBShare に配分されたストレージを変更するには、USBShare の行の容量をクリックし、スライダをドラッグします (最大 500GB)。スライダをクリックした後、キーボードの左または右のキーを使って微調整できます。完了したら、**[Apply (適用)]** をクリックします。



5big 特有の情報:

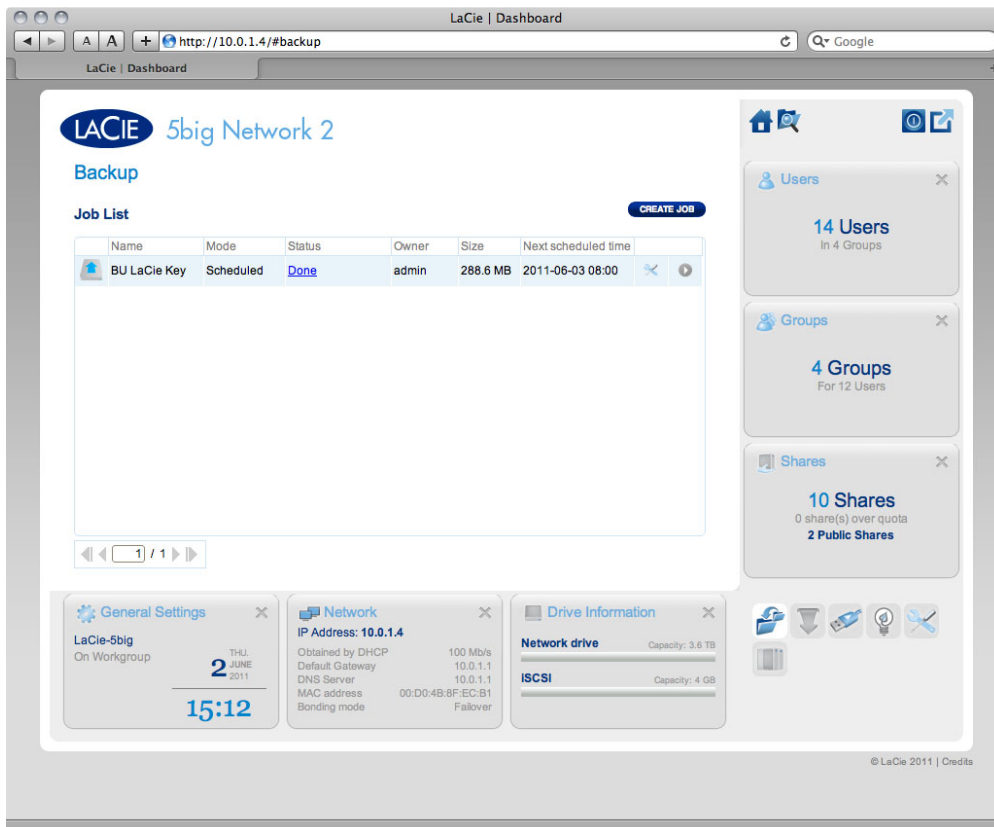
このページでは、iSCSIShare にストレージを配分することができます。詳細については、[10. iSCSI の設定](#) を参照してください。iSCSIShare に配分されたストレージを変更するには、iSCSIShare の行の容量をクリックし、スライダをドラッグします (最大 2TB)。スライダをクリックした後、キーボードの左または右のキーを使って微調整できます。完了したら、**[Apply (適用)]** をクリックします。



## 7-11 [管理画面(DASHBOARD)] - [RAID 管理]

11. RAID の管理を参照してください。

## 7-12 [管理画面(DASHBOARD)] - [バックアップ]



LaCie NAS には、バックアップ機能と復元機能が搭載されています。次のデバイス間でファイルをバックアップすることができます。

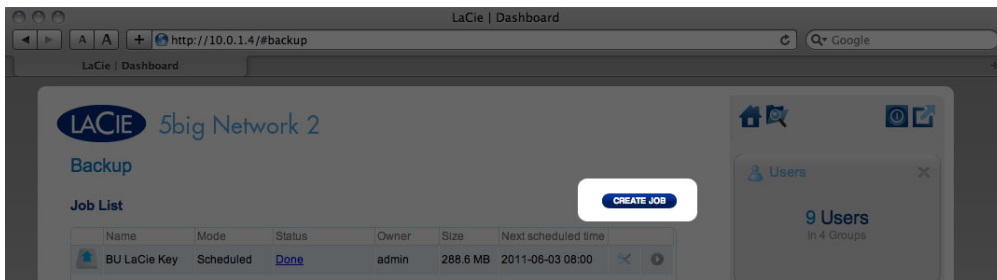
- ローカル ネットワーク上の NAS 間またはインターネット経由
- NAS と外部ハード ドライブ間
- NAS の共有フォルダ

**[Backup & Restore Wizard (バックアップ & リストア ウィザード)]** は、バックアップ 処理のセットアップに役立ちます。DAS (外部ハードディスク) バックアップの場合、バックアップのバージョンも保存できるため、ファイルの旧バージョンのリストアも可能です。

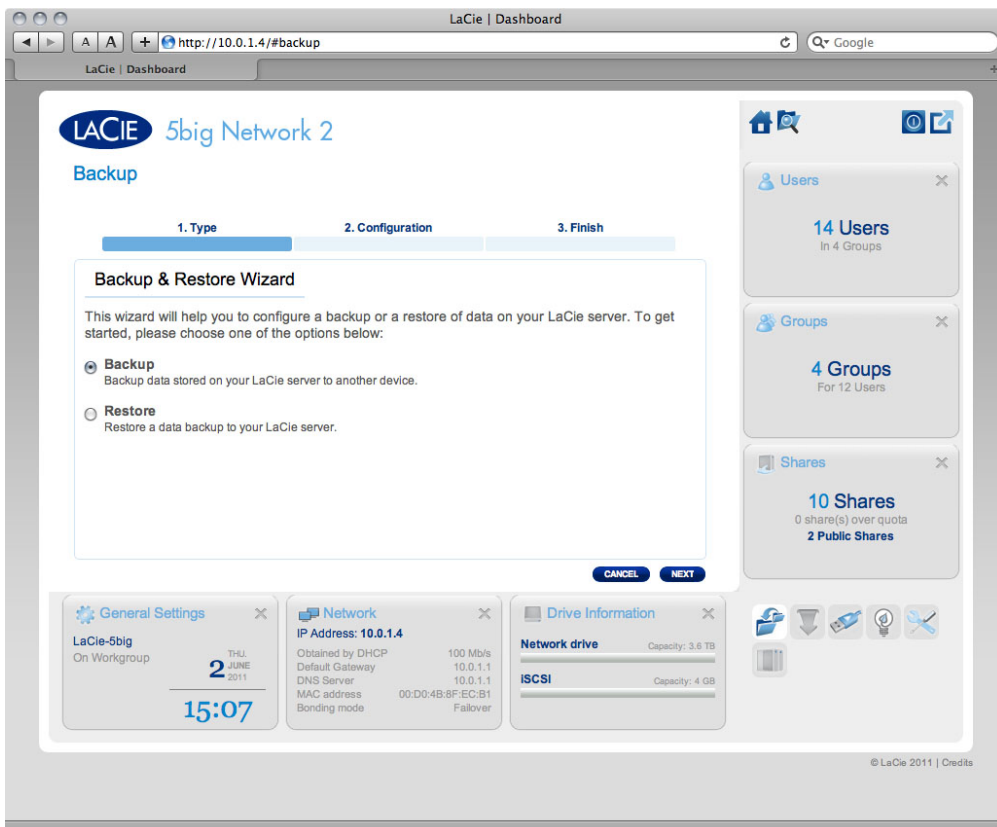
### 7-12-1 ローカル バックアップ

ローカル バックアップでは、NAS に接続されている外部ハード ドライブをバックアップ元、またはバックアップ先として使用することができます。また、NAS の共有を同じ NAS の別の共有にバックアップすることもできます。

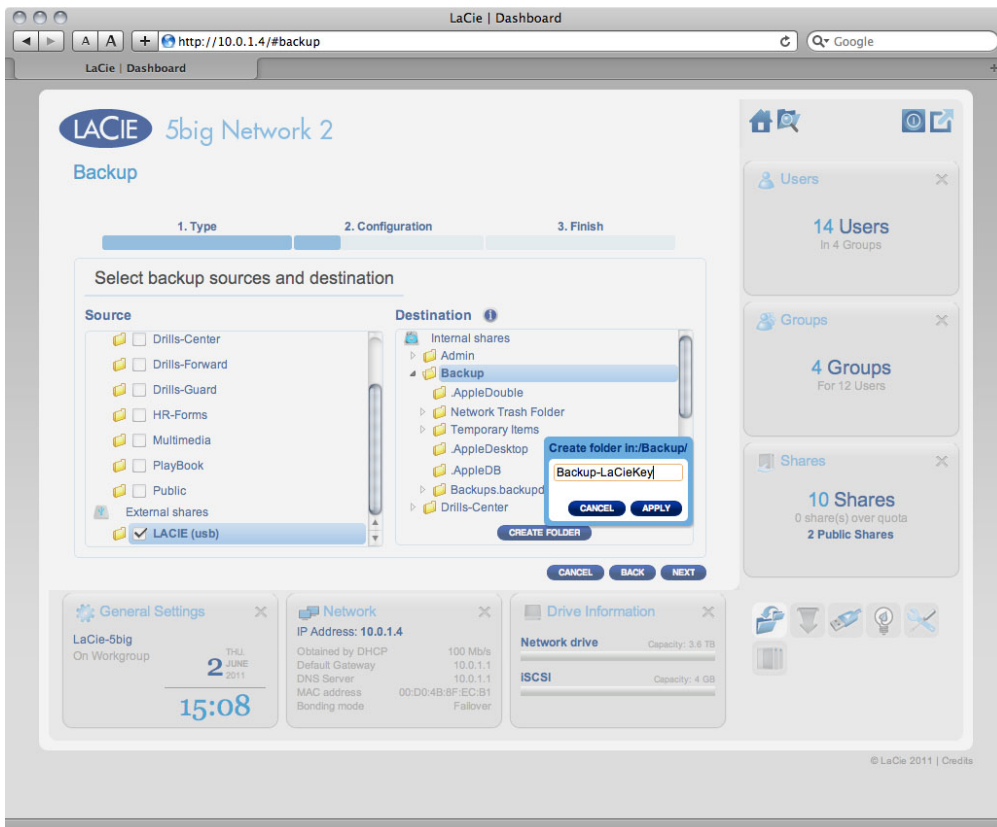
1. **[CREATE JOB (ジョブを作成)]** ボタンをクリックし、**[Backup (バックアップ)]** を選択します。



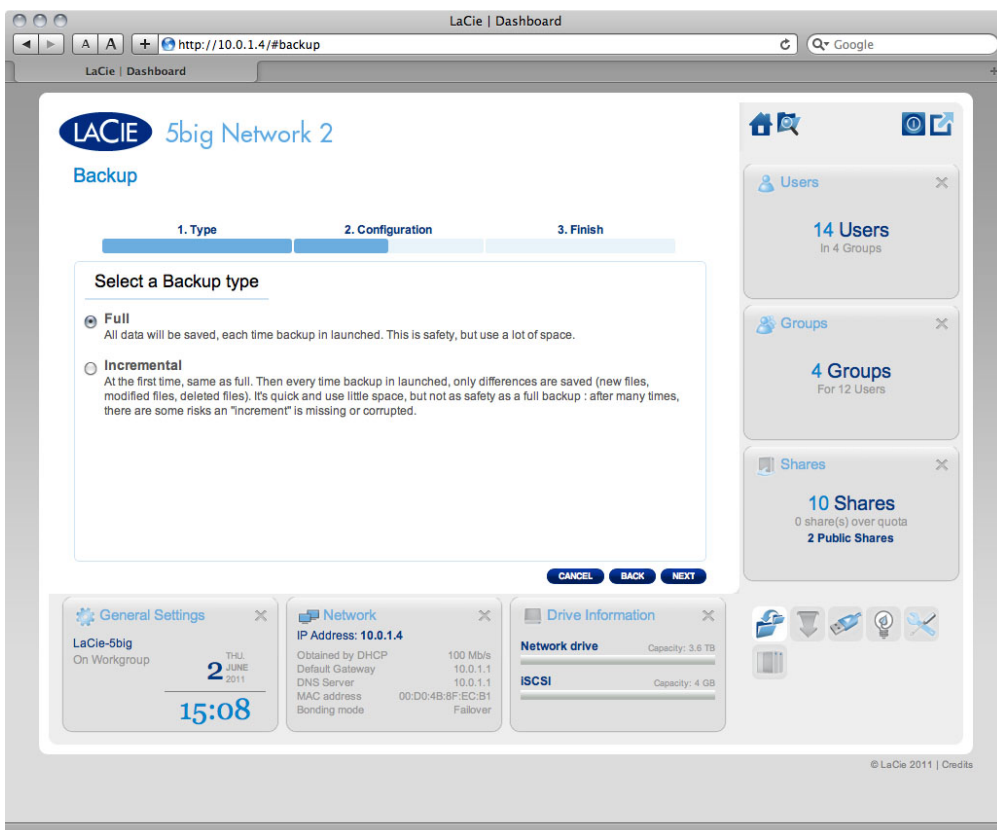
2. 次に、[Local backup (ローカル バックアップ)] を選択し、[NEXT (次へ)] をクリックします。



3. 次の画面で、左の欄からひとつまたは複数のソース (バックアップするもの) を選択します。その後、バックアップ先 (ファイルをバックアップする場所) を右の欄で選びます。新しいフォルダを作成するには、そのフォルダを作成したいところへ移動し、[CREATE FOLDER (フォルダを作成)] ボタンをクリックします。そのユーザーに書き込みアクセス権限のない共有やフォルダは、リストに記載されません。[NEXT (次へ)] をクリックします。

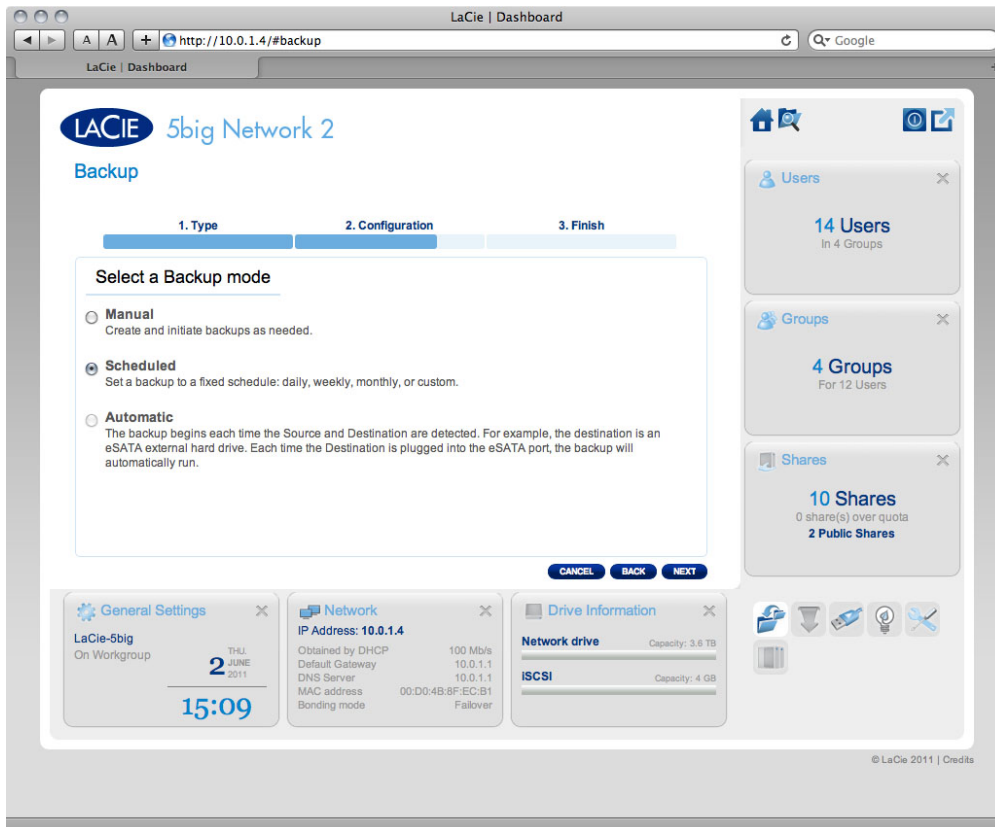


4. バックアップ タイプを選択し、[NEXT (次へ)] をクリックします。

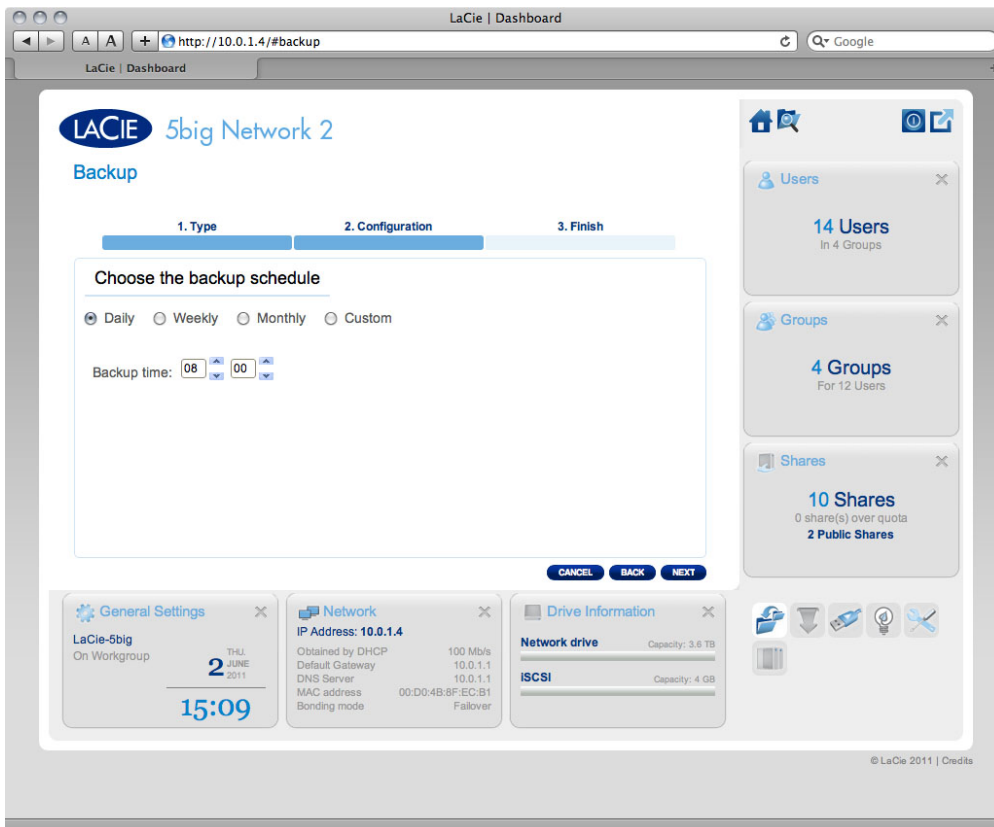


- **Full (完全)** では、ソースのフォルダ内容すべてが、バックアップジョブが実行されるたびに保存されます。この方法では、高度なセキュリティが確保できますが、ストレージ容量を効率よく使用できない場合があります。

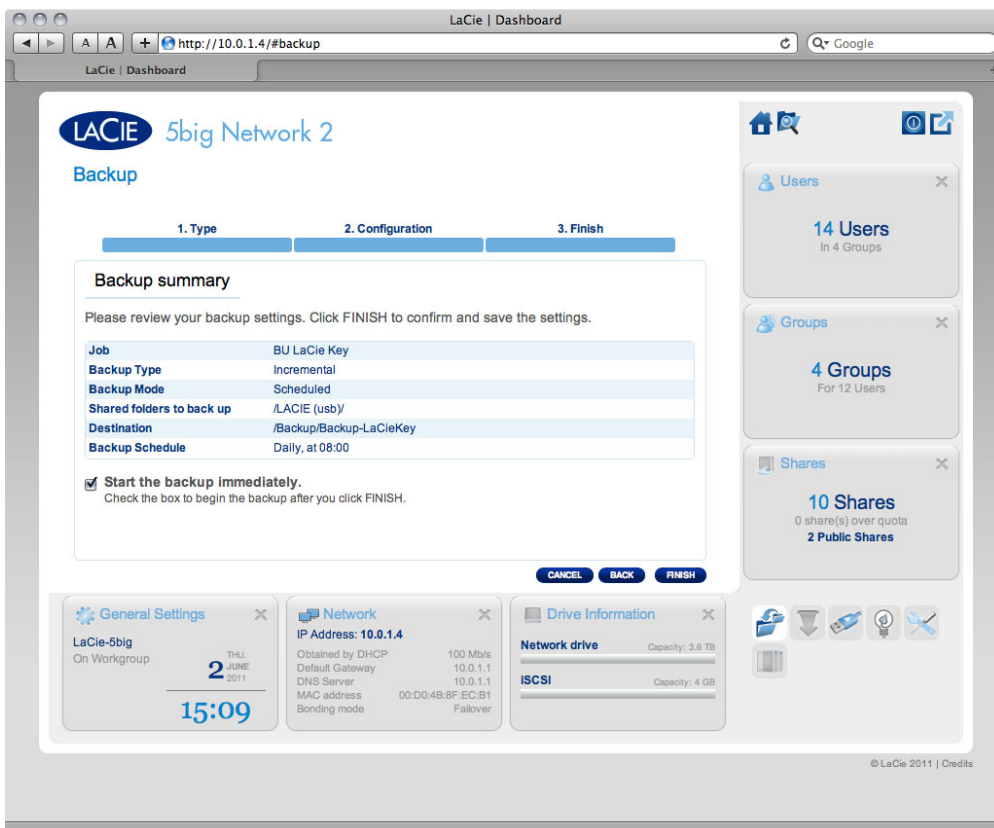
- **Full (Optimized)(フル (最適化))** では、初回にフルバックアップを行った後で、その後のバックアップでは変更したファイル (または不足したファイルまたは新規ファイル) のみが変わります。
5. バックアップモードを選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。



- **Manual (手動)** では、ユーザーが起動する場合のみバックアップジョブが実行されます。
  - **Scheduled (スケジュール)** では、設定したスケジュールに沿ってバックアップジョブが実行されます。
  - **Automatic (自動)** は、バックアップ先が外部ハードドライブの場合にのみ利用可能です。自動を選択することで、ドライブがNASに接続したときに、バックアップ処理が自動的に実行されます。このモードを選択した場合は、バックアップが完了したら外付けハードドライブをアンマウントできる **[Auto eject (自動取り出し)]** を選択することが可能です。
6. 前の画面で **Scheduled (スケジュール)** バックアップを選択した場合は、頻度と時刻を選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。



7. 次の画面で、バックアップジョブの名前をタイプし、[Next (次へ)] をクリックします。
8. 次の画面では、作成したジョブの詳細が表示されます。[FINISH (完了)] をクリックします。



## 7-12-2 リモート バックアップ

リモートバックアップでは、ローカルネットワーク上かインターネット経由かに関係なく、NASを別のNASにバックアップできます。同じバックアップ先に複数のバージョンは保存されません。既存のバックアップは、新しいバックアップで上書きされます。

### 対応条件

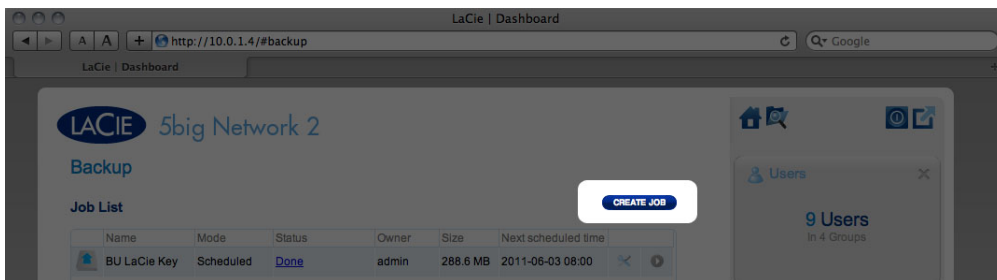
- リモートバックアップの場合、バックアップ元NASもバックアップ先NASもインターネットにアクセスできなければなりません。このためには、両方のネットワークでルーターのポートを開かなければならない場合があります。詳細については、ルーターのマニュアルを参照してください。
- バックアップ先のNASはrsyncに対応していなければなりません。
- LaCie NASは同じローカルネットワーク上になければならず、最新のオペレーティングシステムとnetbackupサーバーが有効になっていなければなりません。「[Netbackupサーバーを有効にする](#)」を参照してください。

### NetBackup 共有について

リモートバックアップを実行するときには、バックアップファイルを含む **netbackup** という共有がバックアップ先のNASに作成されます。デフォルトでは、この共有はパスワード保護されていません。

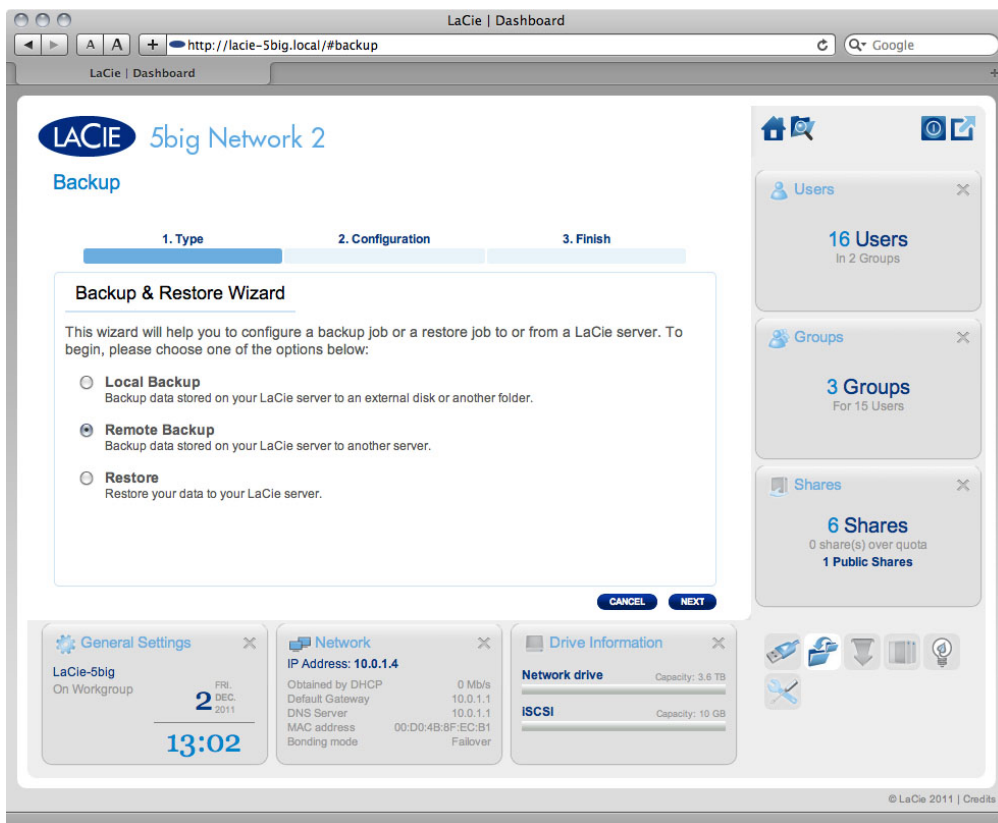
### リモートバックアップの開始

1. **[CREATE JOB (ジョブを作成)]** ボタンをクリックし、**[Backup (バックアップ)]** を選択します。

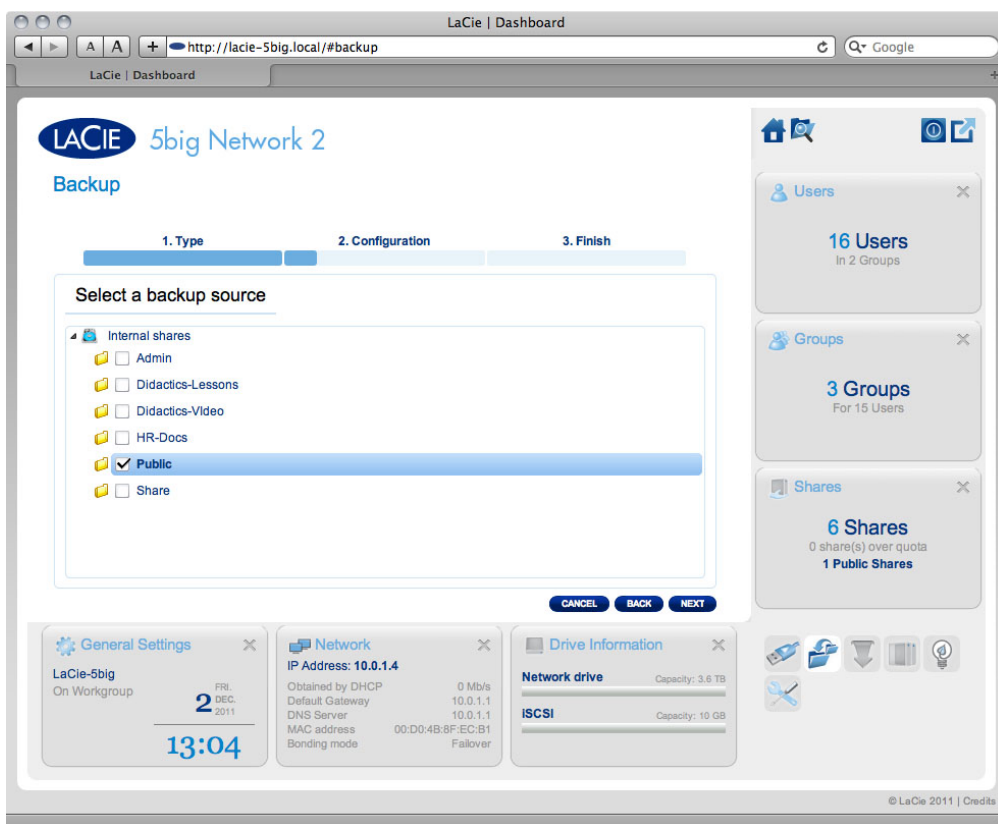


2. 次に、**[Remote backup (リモートバックアップ)]** を選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。

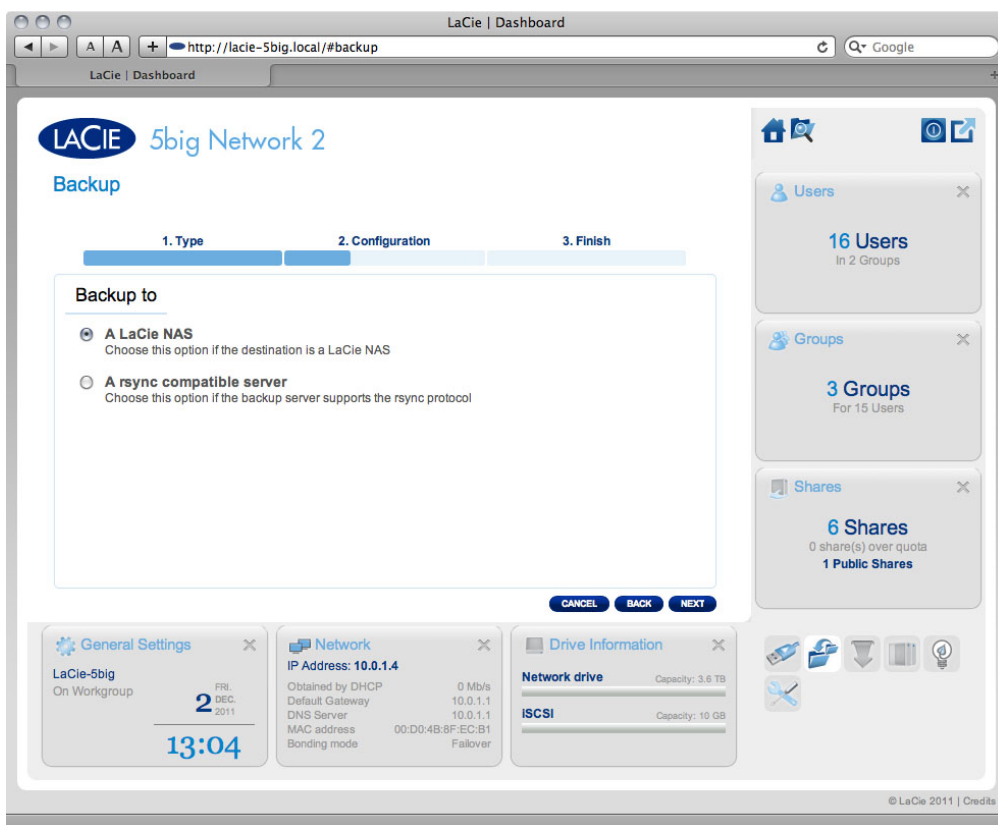




3. 次の画面で、バックアップする NAS の共有またはフォルダ場所を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

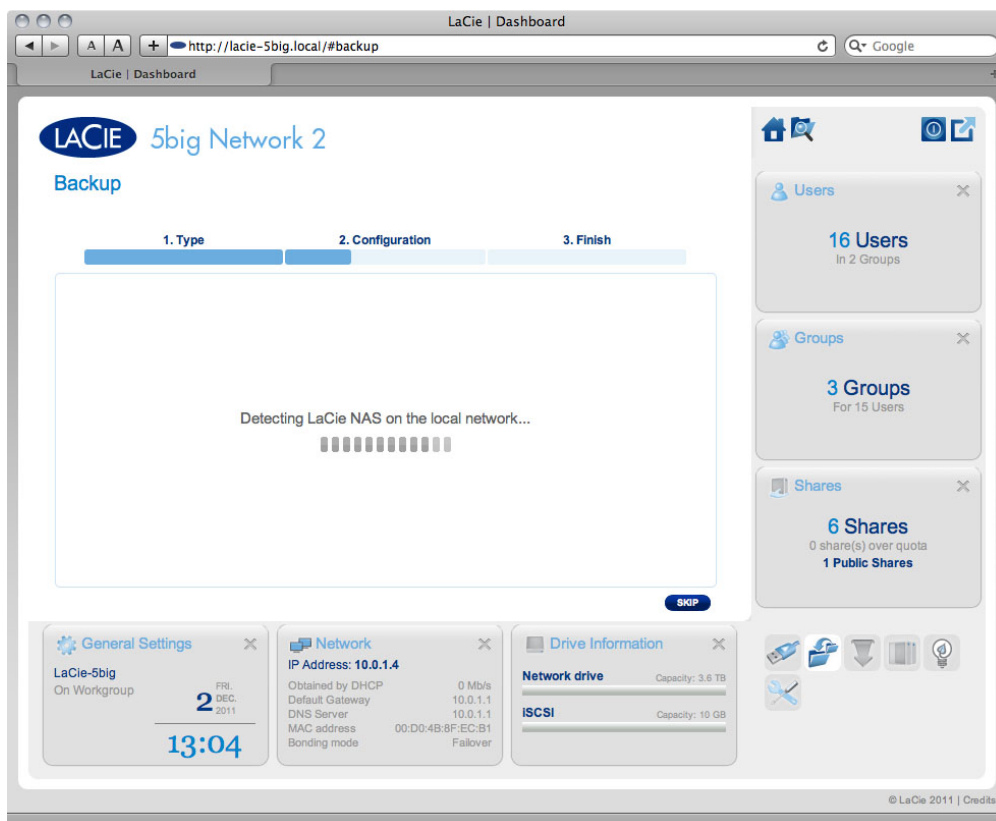


4. 次の画面で、バックアップ先の NAS が LaCie NAS であるか、LaCie rsync に対応していない NAS であるかを選択します。そのあと、[NEXT (次へ)] をクリックします。

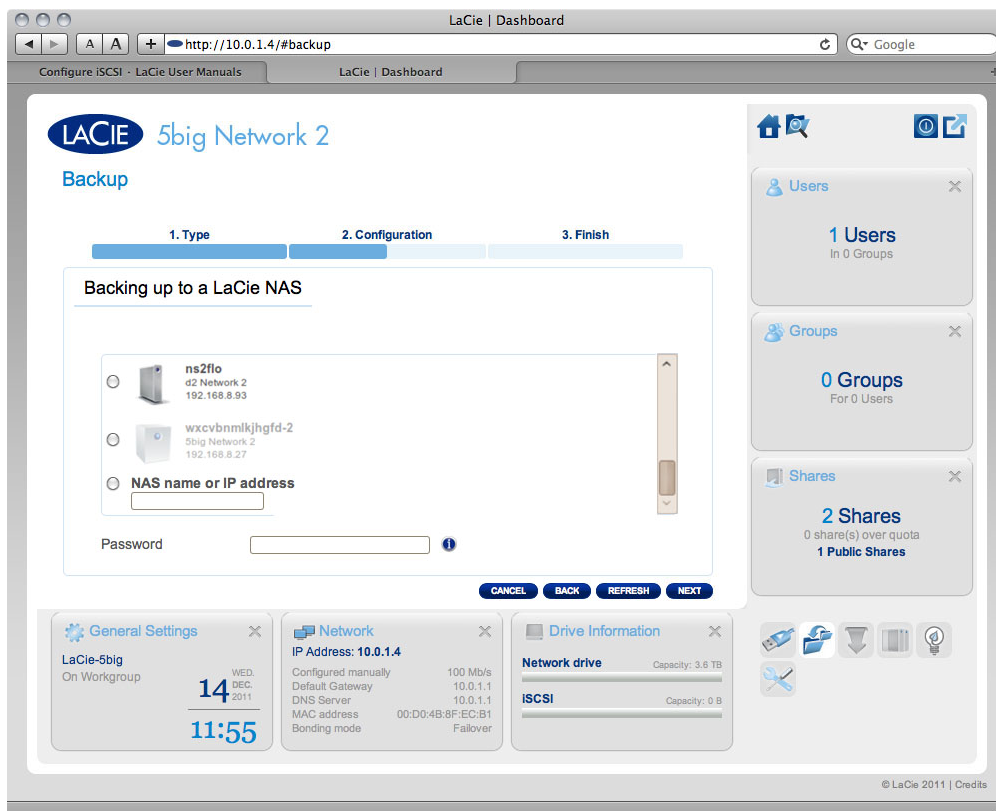


▪ **LaCie NAS** を選択した場合は、次の手順に従います。

1. 次の画面で、ダッシュボードが LaCie NAS のローカル ネットワークをスキャンします。

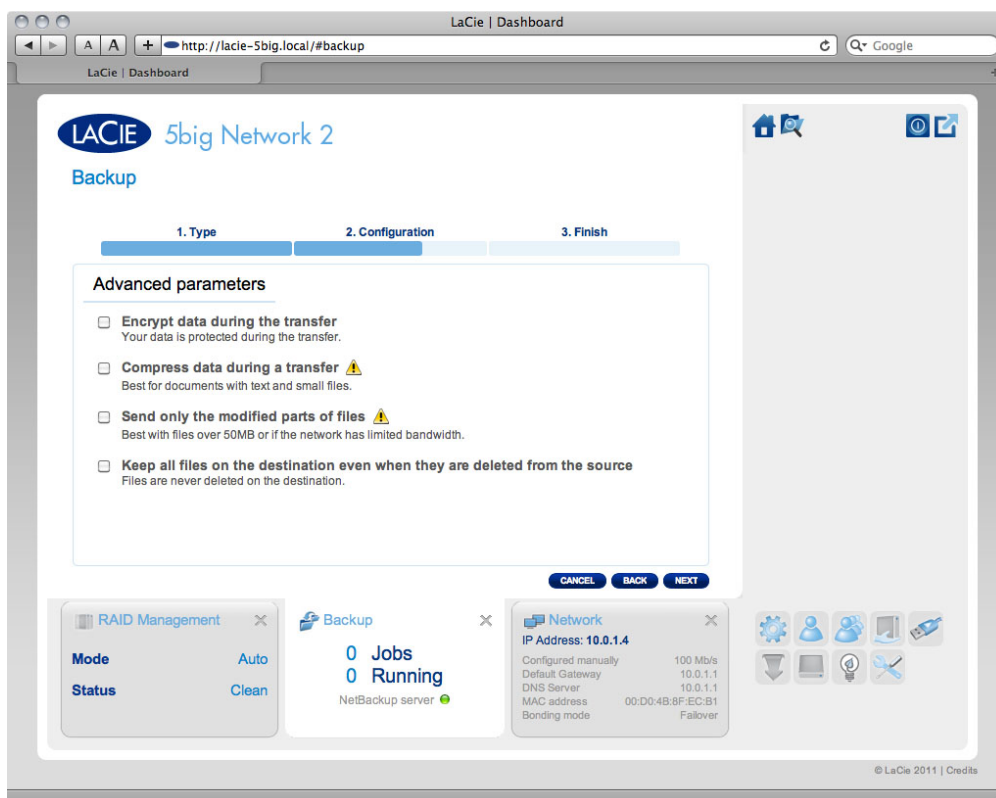


2. 次の画面で、ローカル LaCie NAS が一覧表示されます。NAS の一覧が淡色表示されている場合は、この NAS は古いオペレーティング システムを使用しているか、netbackup サーバーに対応していません。



次のいずれかの方法を実行します。

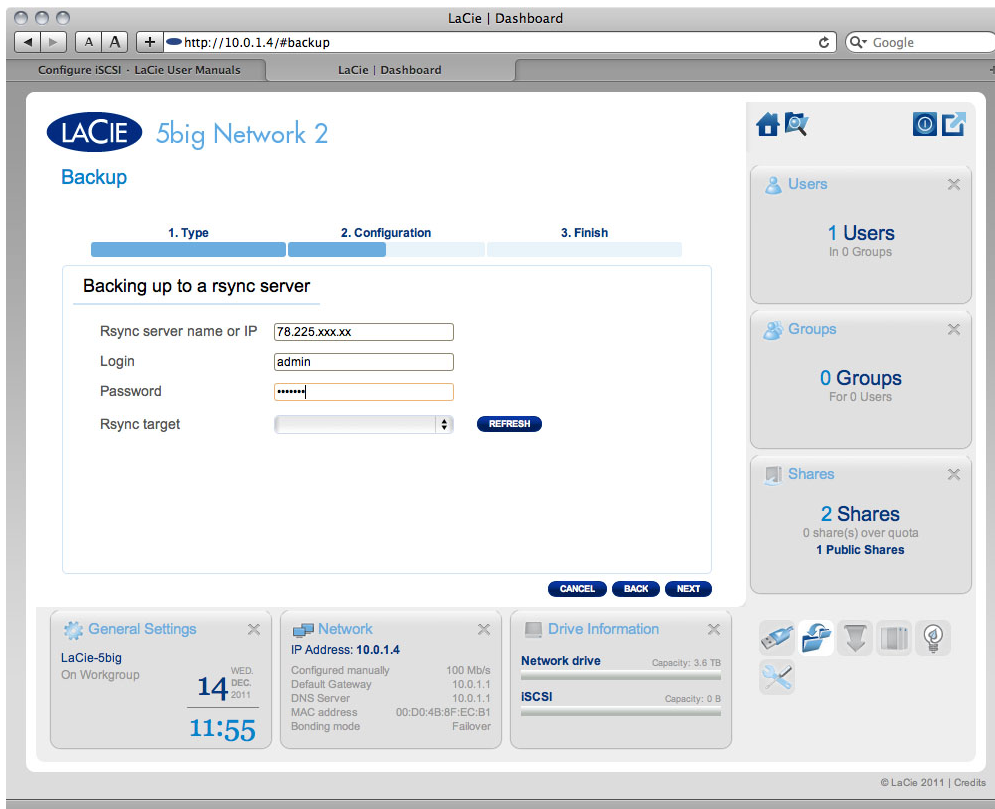
- NAS を選択し、バックアップ先 NAS の netbackup を有効にしたときに作成したパスワードを入力します。
  - あるいは、リモート LaCie NAS の公開 IP アドレスを入力し、バックアップ先 NAS の netbackup を有効にしたときに作成したパスワードを入力します。
  - バックアップ先 NAS の準備の詳細については、次の「[Netbackup サーバーを有効にする](#)」を参照してください。
3. NAS が接続をテストします。成功すると、高度なパラメータ画面が表示されます。失敗した場合、設定を修正して再試行します。
  4. **[Advanced parameters (高度なパラメータ)]** 画面で任意の機能 (暗号化や圧縮など) を選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。



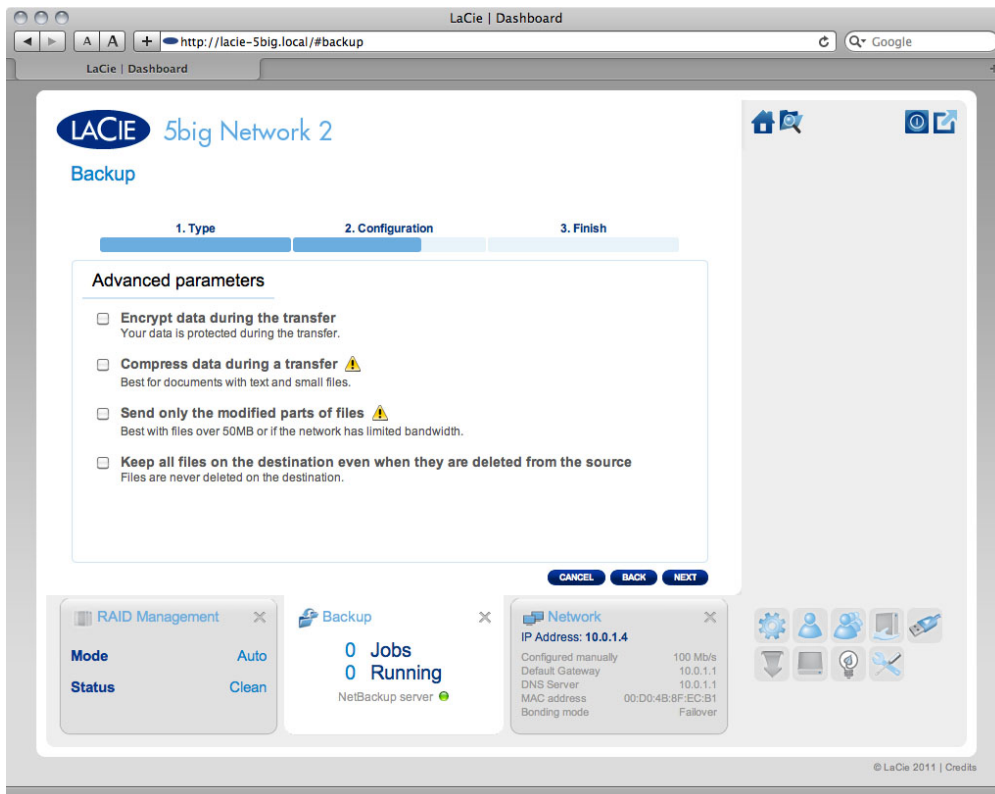
5. 次の画面で、ダッシュボードが接続をテストします。接続が成功した場合、このユーザー マニュアルのローカル バックアップ セクションで説明した、**[Select a Backup mode (バックアップ モードを選択)]** 画面が表示されます。



- **LaCie NAS** 以外を選択した場合は、次の手順に従います。
  1. rsyncサーバー名または IP、ログイン、およびパスワードを入力し、rsync 対象を選択します。 **[NEXT (次へ)]** をクリックします。

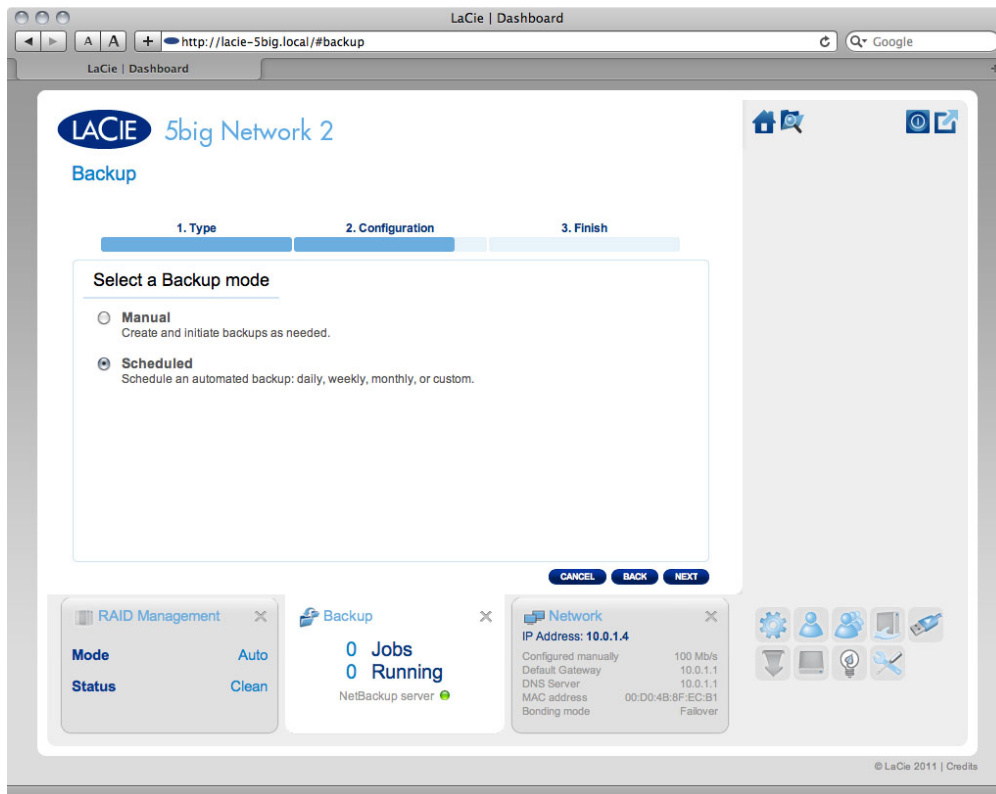


- NAS が接続をテストします。成功すると、高度なパラメータ画面が表示されます。失敗した場合、設定を修正して再試行します。
- [Advanced parameters (高度なパラメータ)]** 画面で任意の機能 (暗号化や圧縮など) を選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。



- 次の画面で、ダッシュボードが接続をテストします。接続が成功した場合、このユーザー マニュアルのローカル バックアップ セクションで説明した、**[Select a Backup mode (バックアップ モードを選択)]**

画面が表示されます。

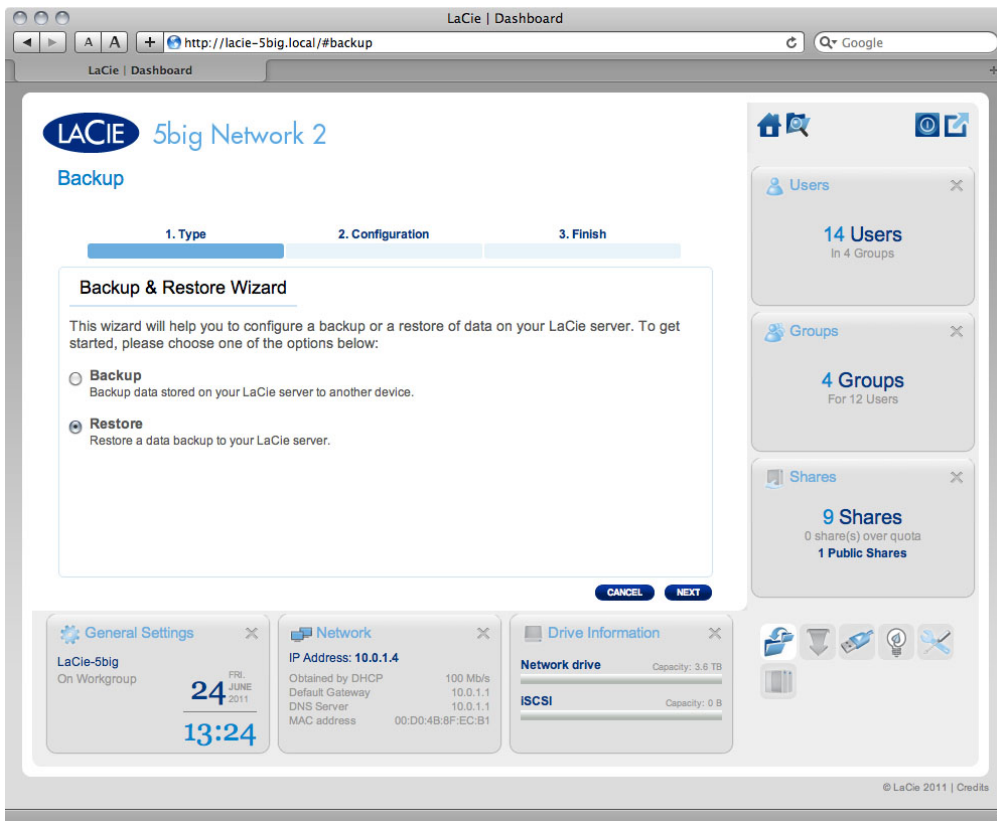


5. 残りのウィザードでは、ローカルバックアップと同じ処理が実行されます。

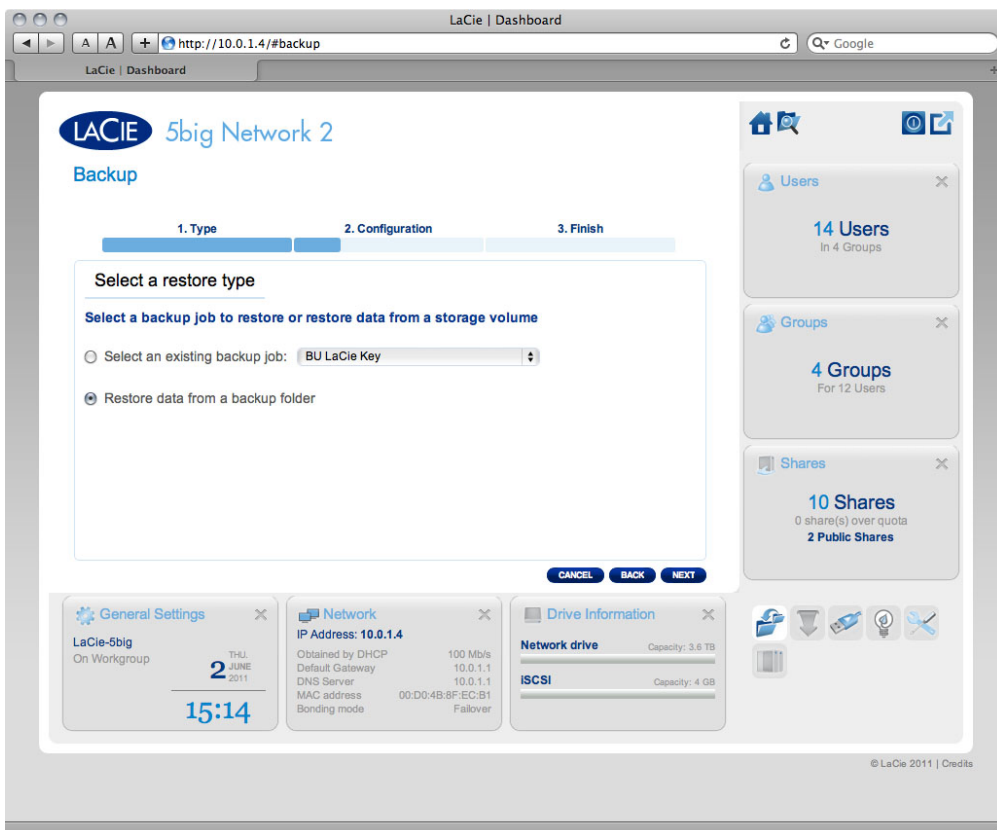
### 7-12-3 リストア

注記: **[Backup & Restore Wizard (バックアップ & リストア ウィザード)]** によって復元するファイルでは、リモート NAS バックアップを利用できません。ファイルを復元するには、ファイル サービス (AFP または SMB) を使用して、目的の NAS 上のファイルにアクセスします。

1. **[CREATE JOB (ジョブを作成)]** ボタンをクリックします。
2. **[Restore (リストア)]** を選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。

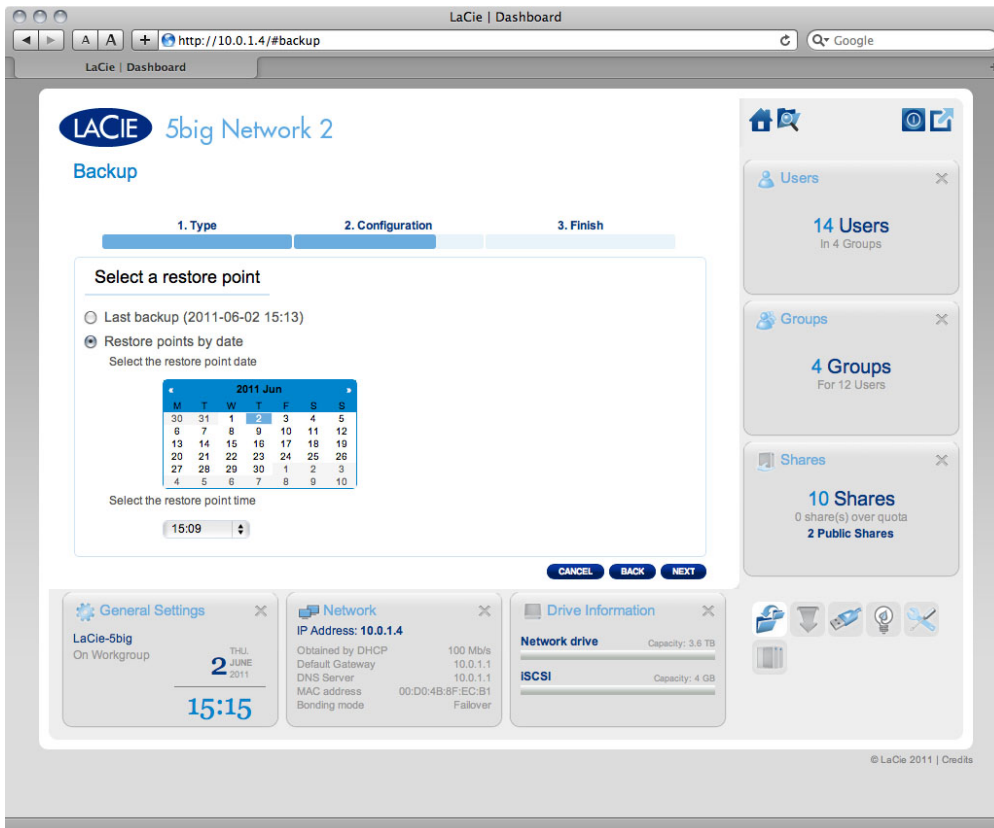


3. 既存のバックアップジョブまたはバックアップフォルダから、リストアのタイプを選択します。[NEXT (次へ)] をクリックします。



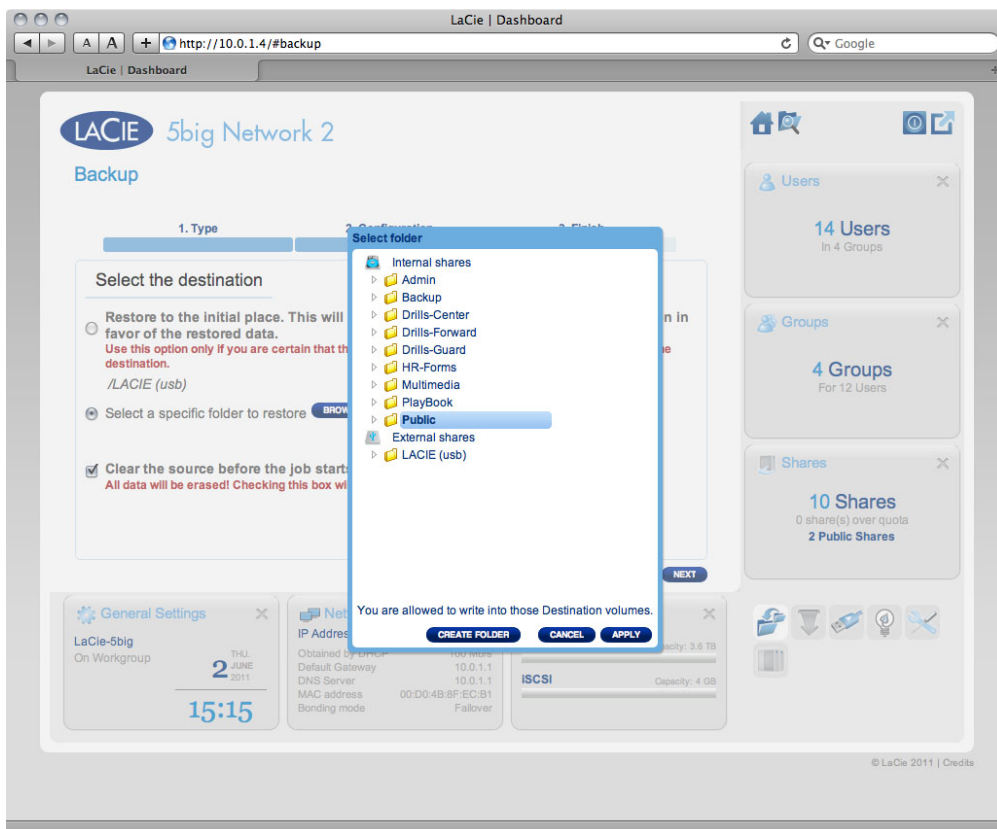
- 既存のバックアップジョブからリストアする場合は、確認のためにジョブについての情報が次の画面に表示されます。[NEXT (次へ)] をクリックします。

- バックアップフォルダからリストアする場合は、次の画面でデータをリストアするソースを選択できます。有効なバックアップは、赤色のフォルダアイコンで表示されます。バックアップディレクトリを選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。バックアップソースについての情報が、確認のために次の画面で表示されます。**[NEXT (次へ)]** をクリックします。
4. 次の画面で、リストアポイントを選択します。リストアポイントは、バックアップした毎のディレクトリのバージョンに相当します。最終のバックアップからのディレクトリをリストアするか、または日付によってリストアします。日付によってリストアする場合は、カレンダーで日付を選択し、ドロップダウンメニューで時刻を選択します。そのあと、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。

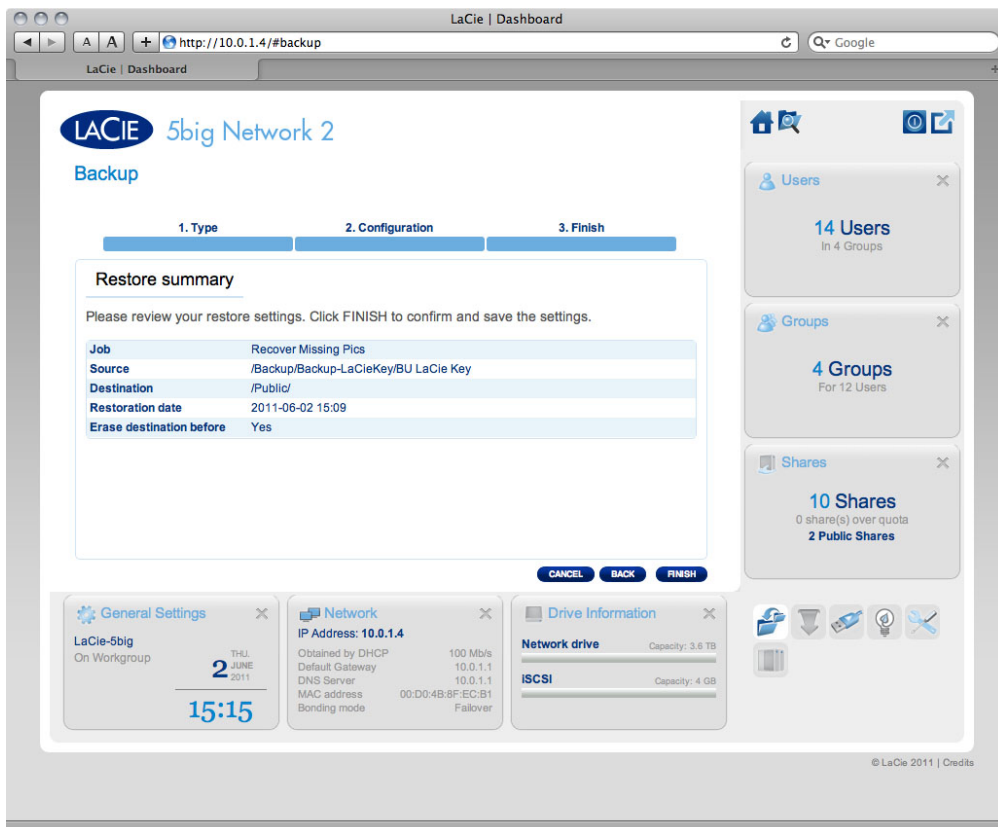


5. 次の画面で、バックアップのリストア先を選択します。
- 当初の場所にリストアすると、ソースフォルダがバックアップされたフォルダを上書きします。この操作により、ソースフォルダの内容が削除されます。
  - 特定のフォルダにバックアップをリストアしたい場合は、このオプションをクリックし、**[BROWSE (参照)]** ボタンをクリックします。リストア先に移動し、**[APPLY (適用)]** をクリックします。





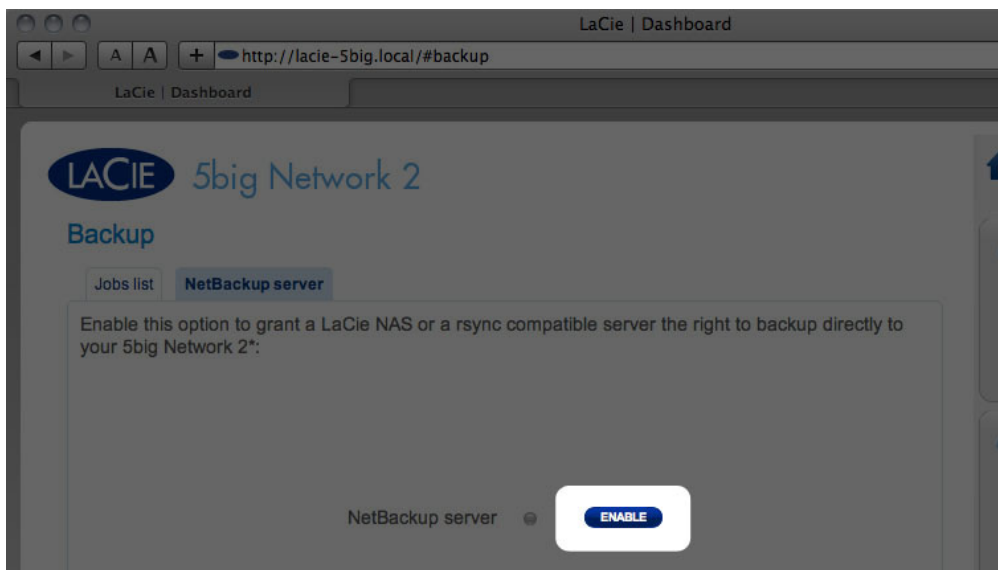
- ジョブの開始前に、リストア先フォルダをクリアすることも可能です。リストア先ディレクトリから、すべてのデータが消去されます。
6. 次の画面で、リストア ジョブに名前を付け、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。
  7. 次の画面で、**[FINISH (完了)]** をクリックします。



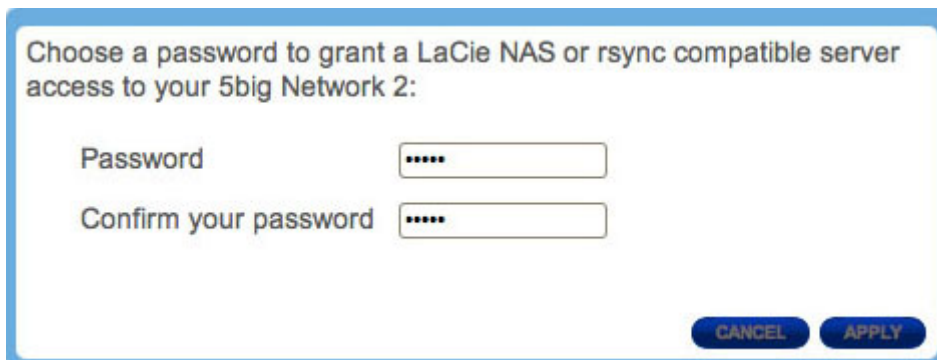
## 7-12-4 Netbackup サーバーを有効にする

NAS が同じネットワーク上にあるか、リモートであるかに関係なく、別のサーバーが NAS をバックアップ先として使用できます。この機能を使用するには、本機能を有効にしなければなりません。また、LaCie NAS 以外は rsync に対応していなければなりません。サービスを有効にするには、次の手順に従います。

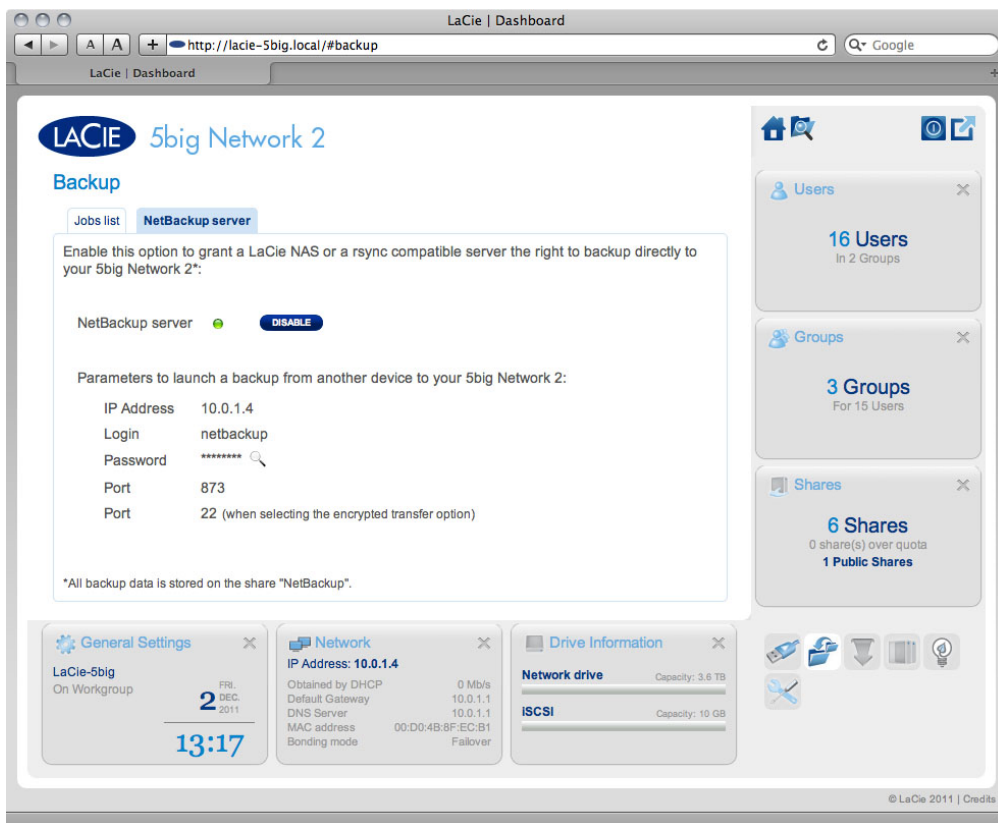
1. **[Dashboard > Backup (バックアップ)]** で、**[Netbackup Server (Netbackup サーバー)]** タブをクリックします。
2. **[ENABLE (有効)]** ボタンをクリックします。



3. パスワードを選択します。このパスワードは、rsync プロトコル経由の不正アクセスから NAS を保護します。

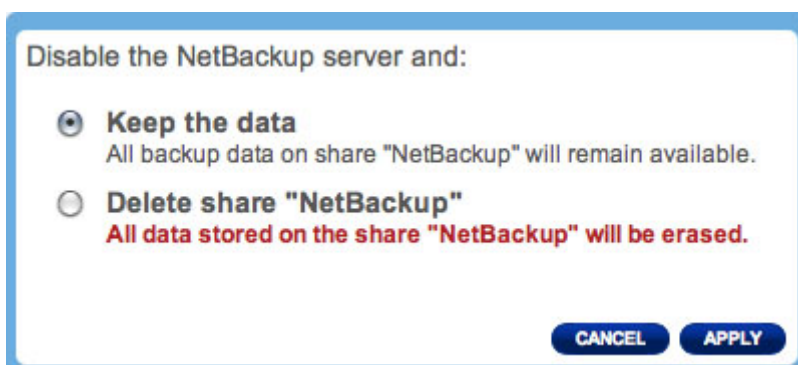
A screenshot of a password selection dialog box. The dialog has a blue border and contains the text 'Choose a password to grant a LaCie NAS or rsync compatible server access to your 5big Network 2:'. Below this text are two input fields: 'Password' and 'Confirm your password', both containing six dots. At the bottom right of the dialog are two buttons: 'CANCEL' and 'APPLY'.

4. 次の画面には、LaCie NAS を対象とするその他の NAS 上でバックアップ ジョブを作成するために必要なすべてのパラメータが一覧表示されます。虫メガネをクリックすると、パスワードを表示できます。



## 7-12-5 NetBackup サーバーを無効にする

1. [Dashboard > Backup (バックアップ)] で、[Netbackup Server (Netbackup サーバー)] タブをクリックします。
2. [DISABLE (無効)] ボタンをクリックします。
3. オプションを選択します。



- データを保持します。共有 **Netbackup** のすべてのバックアップデータには引き続きアクセス可能です。
- 共有 "Netbackup" を削除します。共有 **Netbackup** に保存されているすべてのデータが消去されます。

## 7-12-6 既存のバックアップ ジョブの変更

作成したジョブは、Backup (バックアップ) ページの表に記載されます。この表では、ジョブについての便利な情

報を表示し、ジョブを管理できます。右端の列の設定アイコンをクリックすると、オプションが表示されます。ジョブについての詳細情報を入手し、ジョブを開始、削除、有効化または無効化できます。

スケジュールされたジョブを無効化する場合、有効化するまで実行されません。

### BU LaCie Key

<b>Job</b>	BU LaCie Key
<b>Backup Type</b>	Incremental
<b>Backup Mode</b>	Scheduled
<b>Shared folders to back up</b>	/LACIE (usb)
<b>Destination</b>	/Backup/Backup-LaCieKey
<b>Backup Schedule</b>	Daily, at 08:00

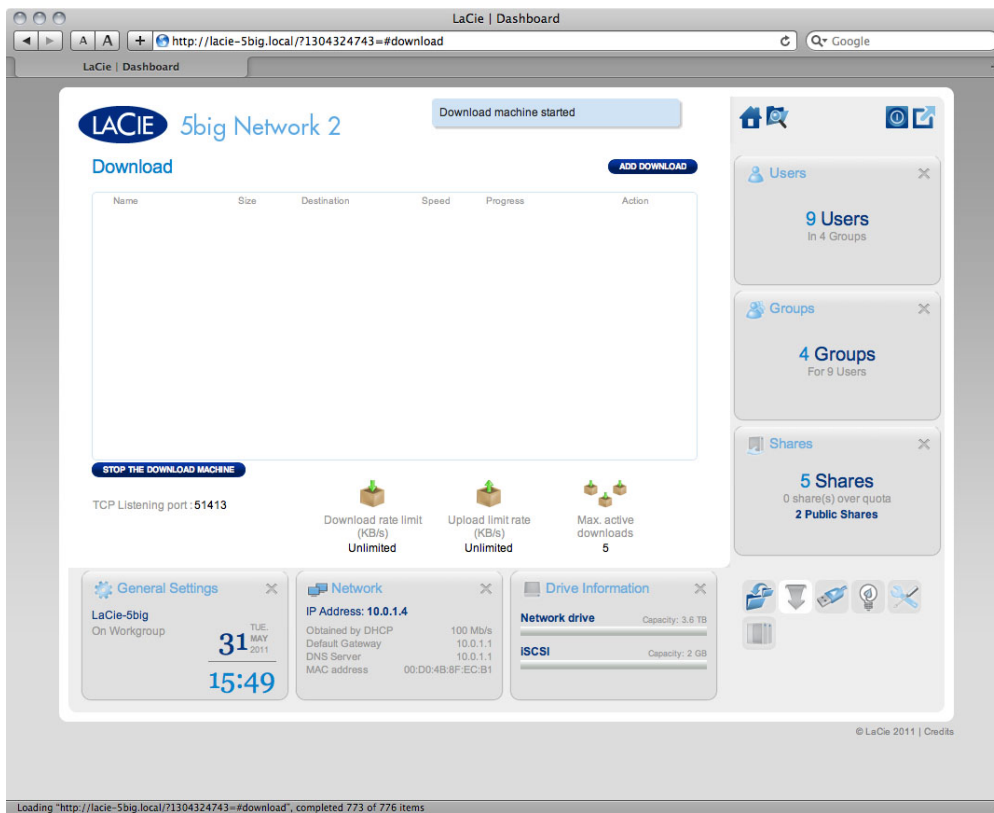
#### Users Management

Start	Status	Incremental size	Total size	
2011-06-02 15:09:00	Done	288.7 MB	288.6 MB	

RELOAD CLEAR

CLOSE

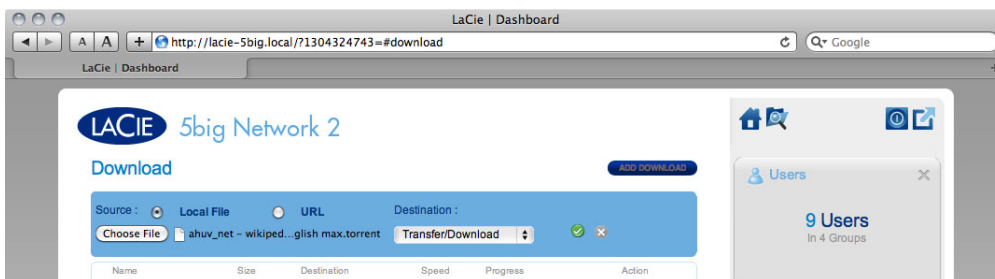
## 7-13 [管理画面(DASHBOARD)] - [ダウンロード]



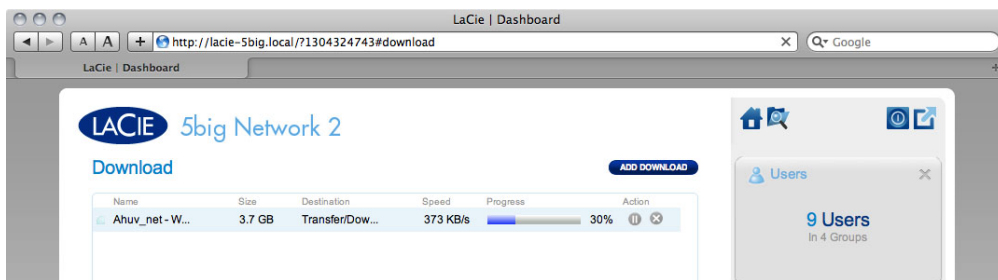
LaCie NAS Dashboard には、トレント ファイルをダウンロードできるトレント サーバーが搭載されています。トレントについて詳しくは、以下を参照してください:

[http://en.wikipedia.org/wiki/BitTorrent\\_protocol](http://en.wikipedia.org/wiki/BitTorrent_protocol)

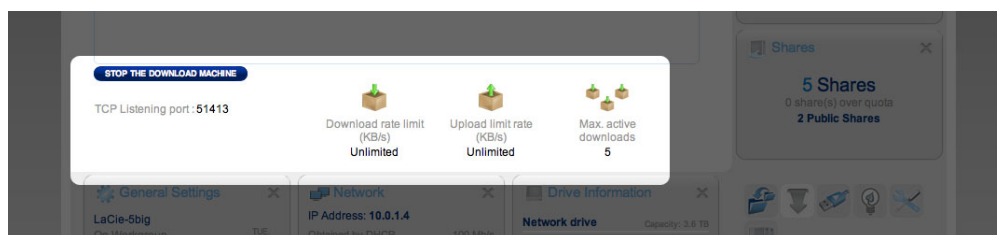
1. Click the **[Start Download Machine (ダウンロードマシンを起動)]** ボタンをクリックします。
2. ダウンロードを開始するには、**[Add Download (ダウンロードを追加)]** ボタンをクリックします。



3. トレントソースがファイルであるか URL であるかを選択し、その後ソースに移動します。
4. 送信先 (ダウンロードしたファイルを保存する共有) を選択し、緑色のチェックボックスをクリックします。
5. **[Action (アクション)]** 列の再生ボタンをクリックします。ファイルのダウンロードが始まります (開始するまでに数分かかることがあります)。



## 7-13-1 Download Page Settings (ダウンロードの設定)



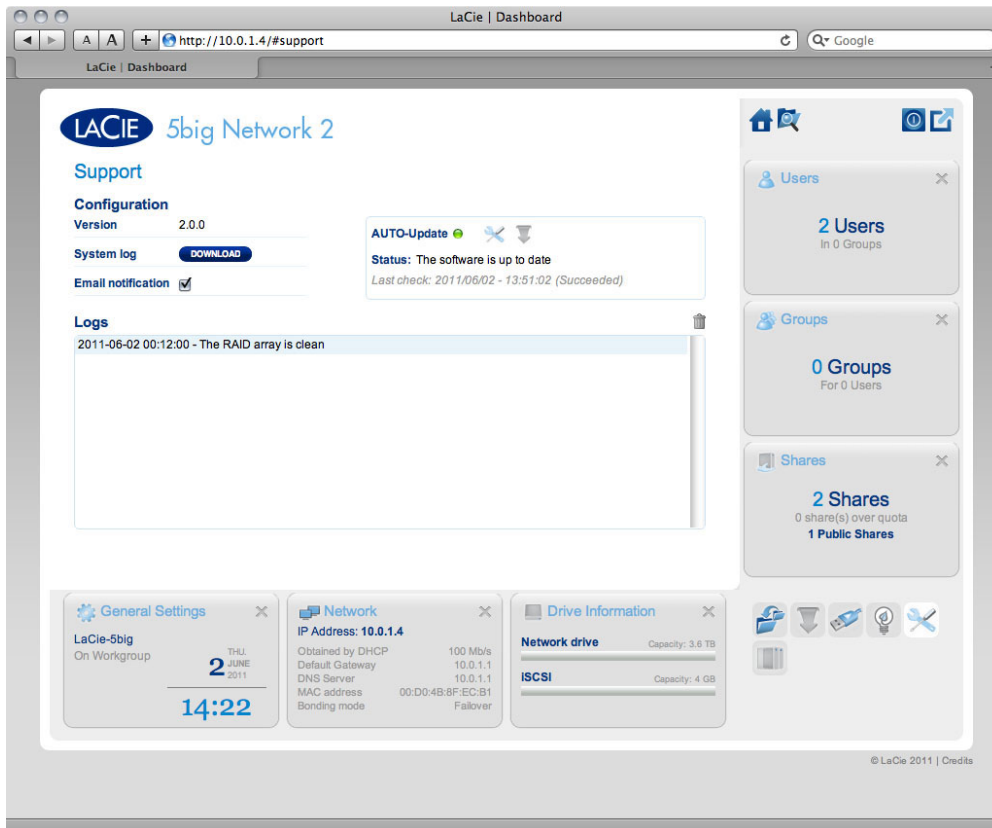
ダウンロード一覧の下に、いくつかの設定があります。

- **TCP Listening port (TCP リスニング ポート)** : 数字をクリックし、トレント サービスが実行されるルータ ポートを選択します。
- **Download rate limit (ダウンロード速度の限度)** : この数字をクリックして、最大ダウンロード速度を入力します。
- **Upload limit rate (アップロード限度レート)** : この数字をクリックして、最大アップロード速度を入力します。
- **Max. active downloads (最大アクティブダウンロード)** : この数字をクリックして、同時にダウンロード/アップロードできるトレントの数を制限します。制限をしない場合はゼロ (数字) を入力します。

**技術面での注意:**トレントクライアントサービスでは帯域幅とシステムリソースが使用されるため、ダウンロードを同時に複数行うと、LaCie NAS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。また、ダウンロードが完了した後も、アップロードを行うなどトレントがアクティブになっている間はシステムリソースが引き続き使用されることがあります。

## 7-14 [管理画面(DASHBOARD)] - [サポート]

### 7-14-1 構成



- **Version (ファームウェアバージョン):** LaCie NAS のオペレーティング システム バージョンがここに記載されます。この情報は、OS のアップデートを行うとき、または LaCie のテクニカル サポートに相談する場合に重要です。
- **System log (システム ログ):** [Download (ダウンロード)] ボタンをクリックして、システム ログを コンピュータに保存します。ログは、問題をトラブルシューティングするときに LaCie テクニカル サポートにとって有用な場合があります。
- **Email notification (電子メール通知):** 電子メールで通知を送信する場合、このボックスにチェックを入れます。SMTP サーバーの定義が必要であり、管理者がメール アドレスを入力していることが必要です。

## 7-14-2 ハードディスクの状態やパスワードの回収をメールで通知する

以下のイベントは、[User (ユーザー)] ページでメール アドレスを指定している場合に、メールの通知を発行します。

イベントの識別子	説明	受信者
Capacity (容量)	使用可能な合計容量が 10% 未満になった場合。	管理者
Quota(容量配分)	クォータ(容量配分)で設定された量の 90% に達したとき。	管理者
Download (ダウンロード)	ダウンロードが完了したとき、またはダウンロード エラーが生じたとき。	管理者
Backup (バックアップ)	バックアップが開始または終了したとき、またはキャンセルされたとき、または失敗したとき。	管理者
Fan (ファン)	ファンが停止して再起動したとき (2big/5big のみ)	管理者
Temperature (温度)	製品が最低 1 分間にわたり最大温度に達した場合	管理者
Password recovery (パスワード回収)	ユーザーがパスワードを回収したとき。	リクエストを出した者により、管理者またはユーザー

## 7-14-3 Auto-Update (自動アップデート)

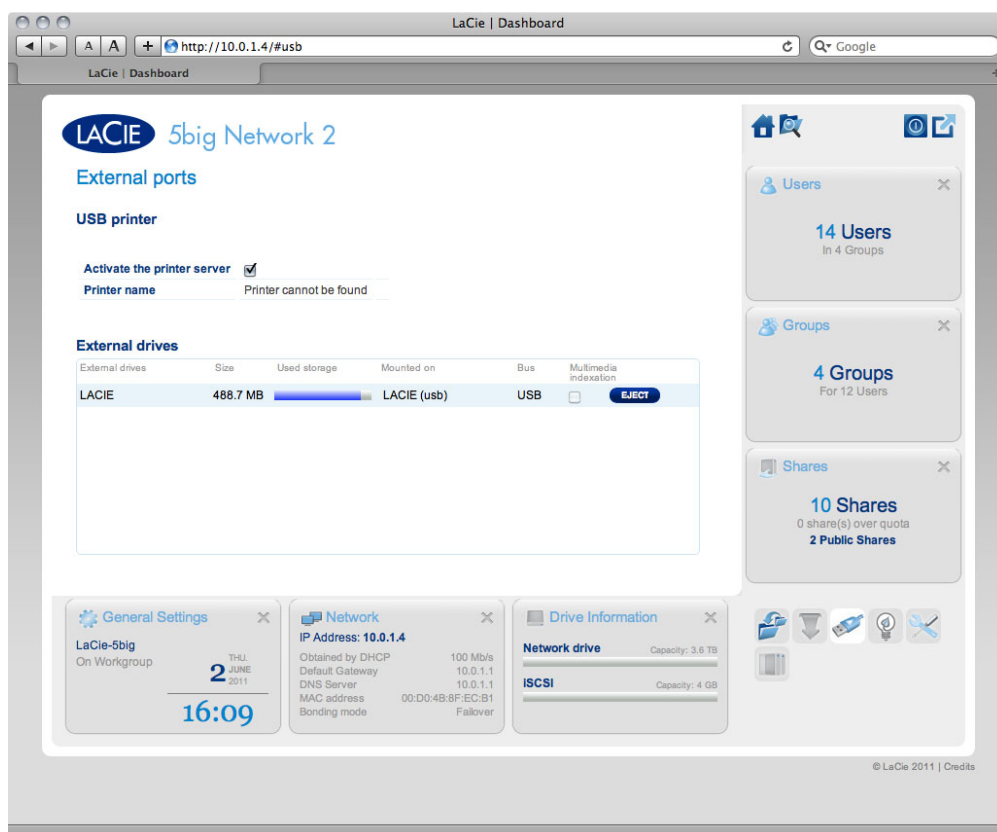
LaCie NAS はアップデート サーバーからオペレーティング システムのアップデートが入手できるかどうか自動的に確認し、インストールできます。詳細については、[12. 製品のオペレーティング システムのアップデート](#)を参照してください。

## 7-14-4 Logs (ログ)

Logs (ログ) セクションでは、RAID 変更の結果や警告など、重要なイベントをリストに記載します。このリストから記載事項を消去するには、ゴミ箱のアイコンをクリックします。



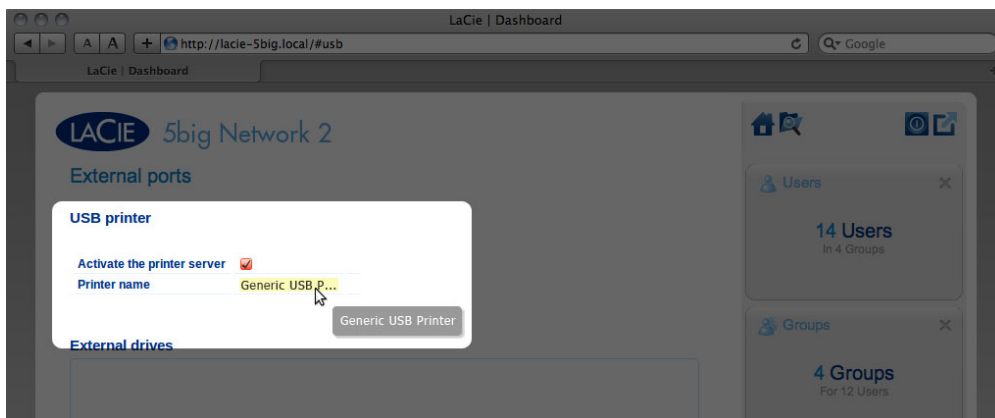
## 7-15 [管理画面(DASHBOARD)] - [外部ポート]



このページには、LaCie NAS の USB または eSATA のいずれかの拡張ポートに接続されたデバイスについての情報が表示されます。

### 7-15-1 USB プリンタ

LaCie NAS には、プリンタ サーバーが搭載されています。有効にするには、**Activate the printer server (プリンタ サーバーを有効化)** のチェックボックスをクリックします。その後プリンタに電源を入れ、LaCie NAS の背面にある USB 拡張ポートを経由して NAS に接続します。接続したら、プリンタが【管理画面(Dashboard)] - [外部ポート]ページのリストに記載され、ネットワーク全体でプリンタが使用できるようになります。ホストコンピュータに正しいプリンタ ドライバがインストールされている必要があります。



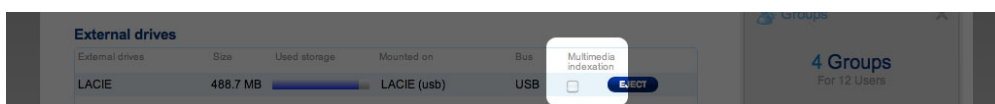
**重要な情報：**多機能プリンタを使用しても、印刷機能のみに対応します。たとえば、プリンタにスキャン機能がある場合は、LaCie NAS に接続したときには、スキャン機能は動作しません。

さらに、PostScript プリンタのみに対応しています。プリンタが [管理画面(Dashboard)] - [外部ポート] のページに表示されない場合は、プリンタが PostScript 印刷に対応していない可能性が高くなっています。これは、マルチ機能プリンタや写真プリンタで頻繁にあります。LaCie は、ネットワーク プリンタとして使用するためにプリンタが適切なプロトコルに対応していることを保証できません。

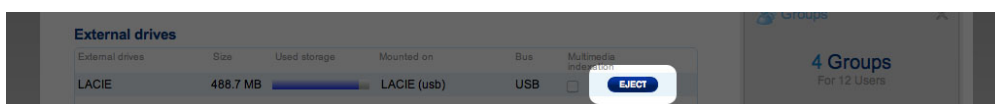
## 7-15-2 外付けディスク

USB または eSATA を介して外付けハード ドライブを LaCie NAS に接続すると、このページのリストに記載されます。接続すると、LaCie NAS でローカル共有と同様に動作します。[管理画面(Dashboard)] - [共有] ページのリストに記載され、オペレーティング システムのファイル システム (Windows の場合エクスプローラ、Mac の場合 Finder) を使ってアクセスできます。しかし、外付けハード ドライブは必ずネットワーク上で完全にパブリックになり、クォータ(配分)を割り当てることはできず、名前の変更はできません。

DLNA デバイスから、LaCie NAS に接続されている外付けの USB または eSATA ハード ドライブ上のファイルにアクセスできるようにする場合は、[Multimedia Indexation (マルチメディア インデックス)] ボックスをオンにします。[管理画面(Dashboard)] - [一般設定] ページで Multimedia (マルチメディア) サービスを有効にすることが必要です。

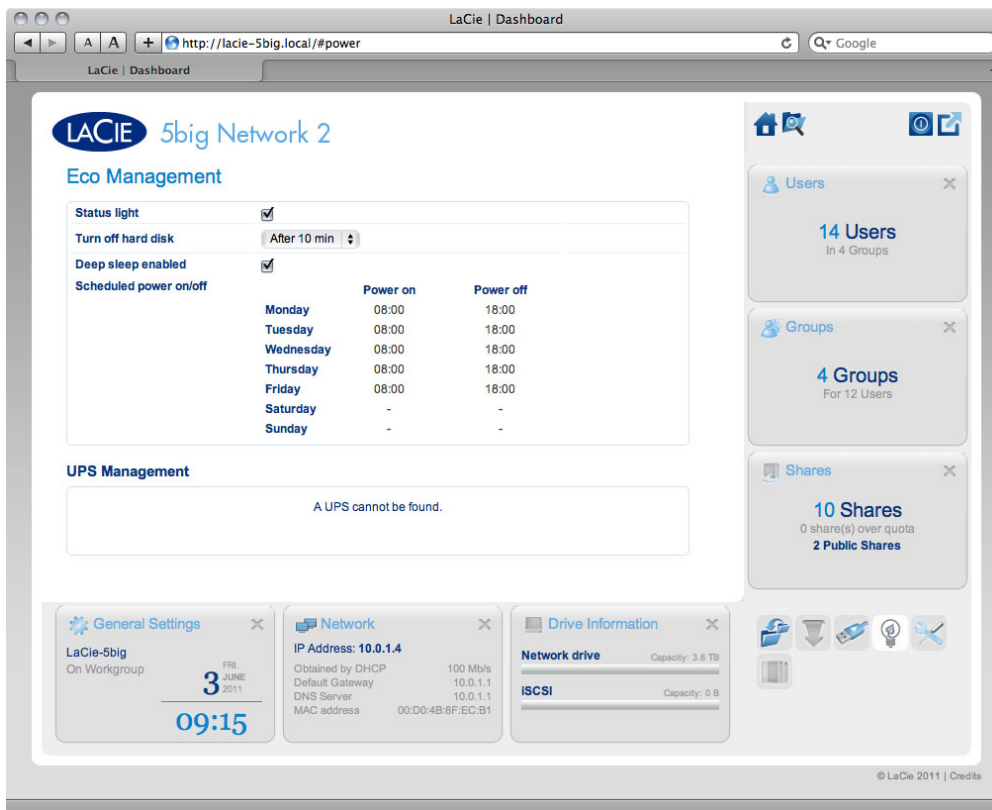


外付けドライブのファイル システムが破損することを防ぐため、LaCie NAS から取り外す前に、[EJECT (取り出し)] ボタンをクリックしてください。



**技術面での注意:** 外付け USB または eSATA ハードディスクドライブは、LaCie NAS が対応している以下のフォーマットである必要があります。(MS-DOS (FAT32)、NTFS、HFS+ (非ジャーナル作成のみ)、EXT3、XFS)

## 7-16 [管理画面(DASHBOARD)] - [エコ管理]



- **Status light on (ステータス ライト):** 正面の青色のライトをオフにするには、このボックスのチェック印をクリックします。警告のインジケータや背面のディスク LED は無効になりません (2big/5big のみ)。
- **Turn off hard disk (ハードドライブの電源をオフ):** 動作しない時間が一定の時間に達したときにディスクがエコモードになるようにします (ディスクがスピンドアウンして節電されます)。ドライブにリクエストが送信されると、自動的にエコモードが解除されます。
- **Deep sleep enabled (ディープスリープを有効化):** ディープスリープでは、Dashboard の **[Shutdown Options (シャットダウンオプション)]** ボタンを使って有効化すると、超低エネルギー消費モードに変わります。このモードは、正面の青色ボタンをクリックして押さえたままにしても有効になります。Deep Sleep Mode (ディープスリープモード) から立ち上げるには、青色のボタンを押すか、LaCie Network Assistant の Wake on LAN 機能を使用します ([Wake On Lan \(ネットワーク経由での起動\)](#)を参照)。

**重要な情報:** ディープスリープモードが有効になると、ダウンロードやバックアップを含め、すべてのプロセスは終了されます。

- **Scheduled power on/off (電源オン/オフのスケジュール):** エネルギーを節約するため、一定の時刻にディスクが Deep Sleep Mode (ディープスリープモード) になるように設定します。
- **UPS Management (UPS 管理):** LaCie NAS は UPS (無停電電源装置) 管理に対応しています。対応している UPS デバイスを NAS の USB ポートに接続すると、Dashboard に変更可能なパラメータが表示されます。左側の欄の丸印は、電源ステータスを示します。
- 緑色の場合は、電源は電源ケーブル経由で供給されています。

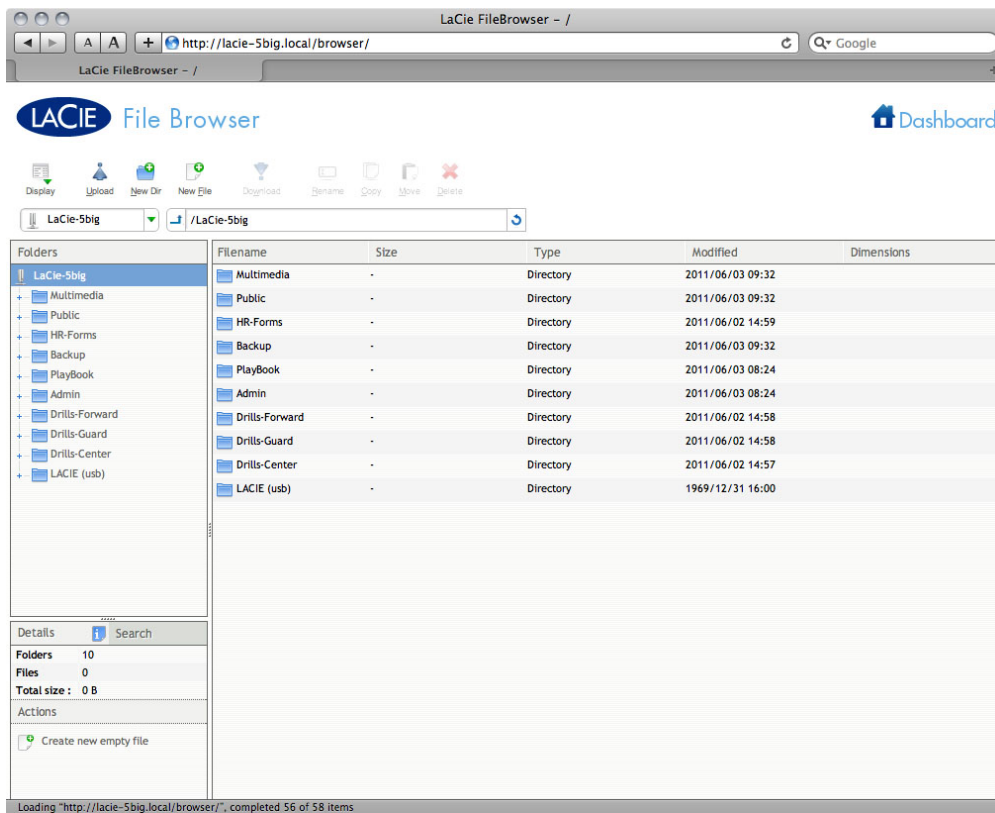
- 灰色であると、電源は電源ケーブル経由で供給されていません。

右側の [Battery threshold level (%) (電池しきい値レベル (%))] では、LaCie NAS が自動的にスタンバイモードになるときの電池の最低残量 (%) を指定できます。

その下では、電池を完全に使い果たしてディスクが自動的にシャットダウンされた場合、電源が再投入されたときにディスクが再起動するように選択できます。

対応している UPS デバイスの一覧については、[Supported UPS \(対応している UPS\)](#) リンクをクリックしてください。

## 7-17 [管理画面(DASHBOARD)] - [ファイル ブラウザ]

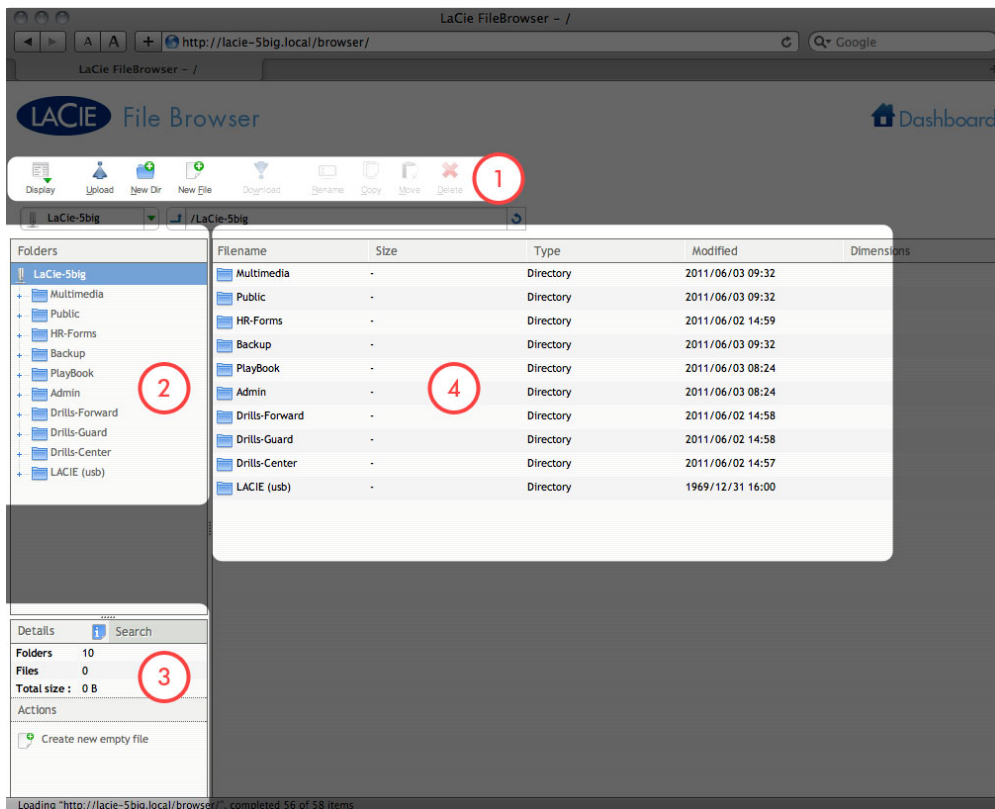


Dashboard には、HTTP を使用してファイルの管理と転送を実行できるインタラクティブな File Browser (ファイル ブラウザ) が備えられています。File Browser (ファイル ブラウザ) にアクセスするには、Dashboard の右上角にあるアイコンをクリックします。

File Browser (ファイル ブラウザ) を使用するとローカルネットワーク接続やインターネット接続を使用して、外付けハードドライブに保存されているファイルの操作 (転送、コピー、削除)、写真のサムネイル表示や、閲覧、mp3 などのマルチメディア コンテンツのストリーミング再生を行うことができます ([リモート アクセス](#)を参照)。

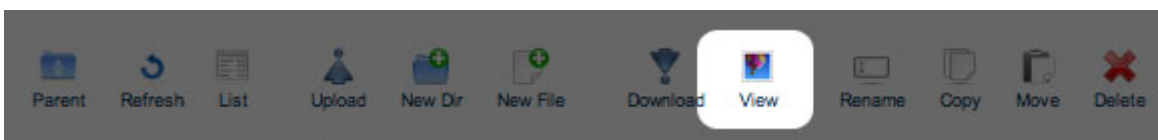
File Browser (ファイル ブラウザ) は、次の 4 つの部分で構成されています。

1. ツールバーでは、ファイルの表示方法の変更、ファイルのアップロード、ファイルのストリーミング、フォルダの作成など、様々な機能を実行できます。
2. **Folders (フォルダ)** では、選択した共有のフォルダ構造が表示されます。
3. **Details (詳細情報)** では、ファイル名、サムネイル (画像ファイル)、ファイル タイプ、寸法 (写真)、時間 (ビデオ) など、選択したファイルについての情報を表示します。**Search (検索)** では、ファイル名に基づいてファイルを検索できます。
4. このセクションでは、選択したフォルダに含まれたファイルを表示します。ファイルをサムネイルとして表示するには、[Tool (ツール)] バーで **[Thumbs (サムネイル)]** をクリックします。

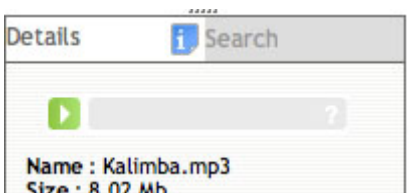


写真をフルサイズで表示したり、特定のタイプの音楽やテキストファイルのストリーミングが可能です。ファイルを選択し、次のように行います。

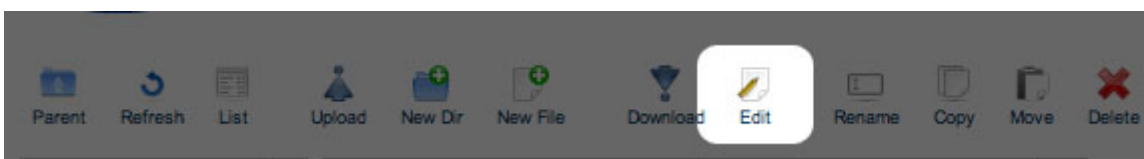
- 写真: ツールバーの **[View (表示)]** ボタンをクリックします。



- Music (音楽): **[Details (詳細情報)]** パネルの再生ボタンをクリックします。



- TXT ファイル: ツールバーの **[Edit (編集)]** ボタンをクリックします。



## 8. 管理画面を使う (高度なアクセス性の機能)

この章では、リモート アクセス、共有へのショートカットの作成、マルチメディア ストリーミングなど、LaCie 製品の高度なアクセス機能について説明します。

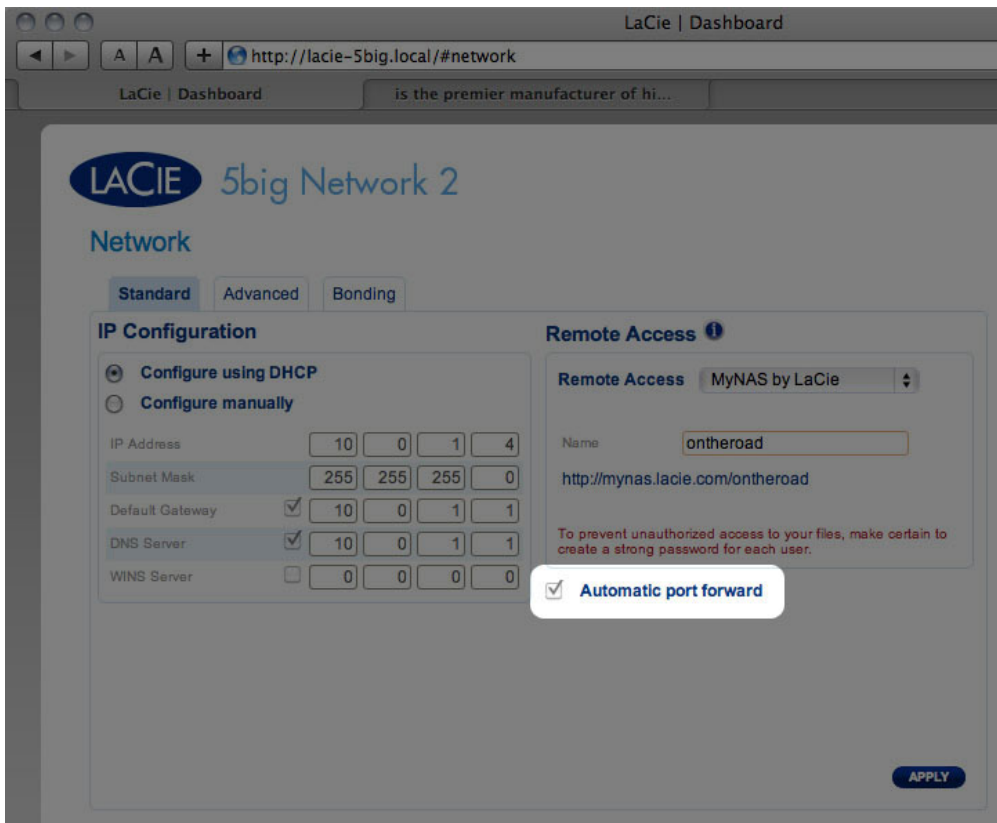
### 8-1 リモート アクセス

LaCie の新しいリモート アクセスシステムである LaCie MyNAS を使用すると、自宅から離れた場所にある NAS に簡単にアクセスできます。**ダッシュボード > ネットワーク** で NAS の一意の公開ユーザー名を作成し、この名前を使用してブラウザから NAS にアクセスします。あらゆる場所からアクセスが可能です。

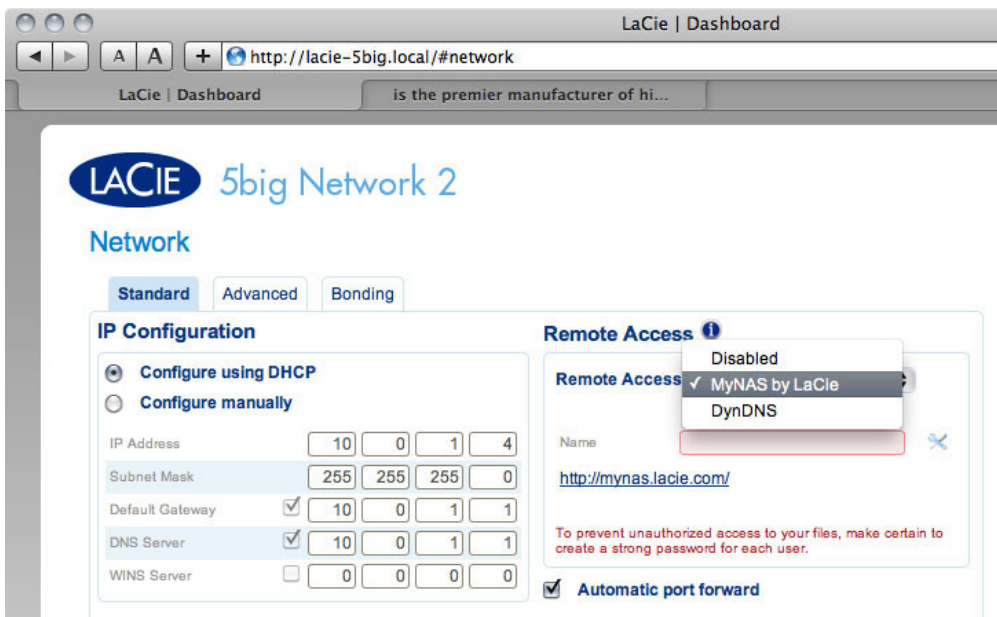
**重要な情報：**不正アクセスを防止するために、強力なパスワードを使用して NAS に登録されたユーザー アカウントと管理者アカウントを保護してから、リモート アクセスを設定することが重要です。LaCie MyNAS ではシンプルな URL を使用して NAS にアクセスできるため、強力なパスワードでユーザーが保護されていない場合、悪意のあるユーザーが URL を推測し、NAS のファイルにアクセスできる可能性があります。

#### 8-1-1 リモート アクセスのセットアップ

1. **[Dashboard (ダッシュボード)] > [Network (ネットワーク)]** に移動します。
2. **[Remote Access (リモート アクセス)]** の下で、**[Automatic port forward (自動ポート転送)]** ボックスを選択します。

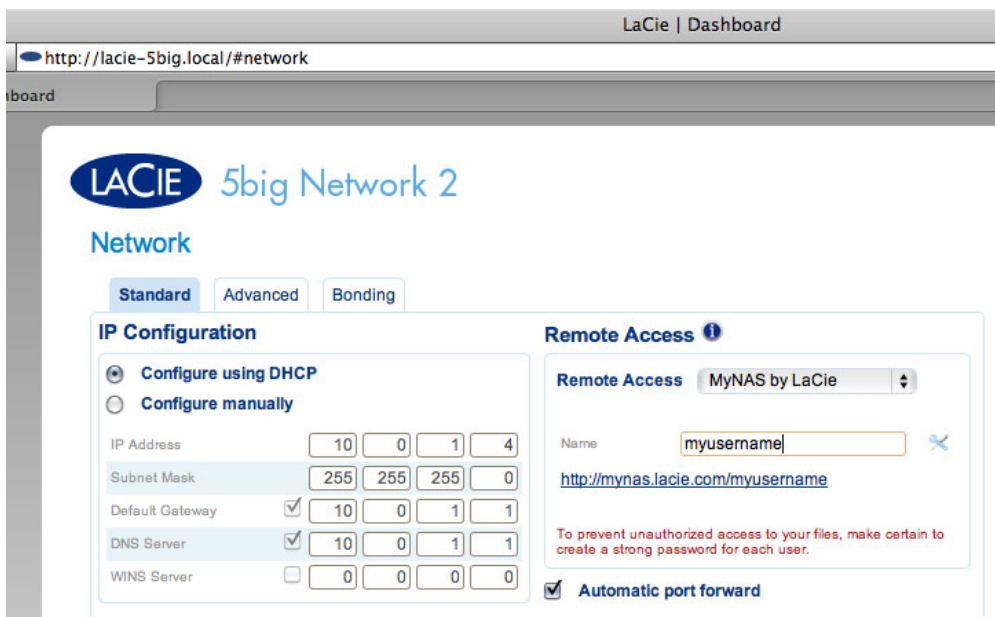


3. ドロップダウン メニューから **[LaCie MyNAS]** を選択します。

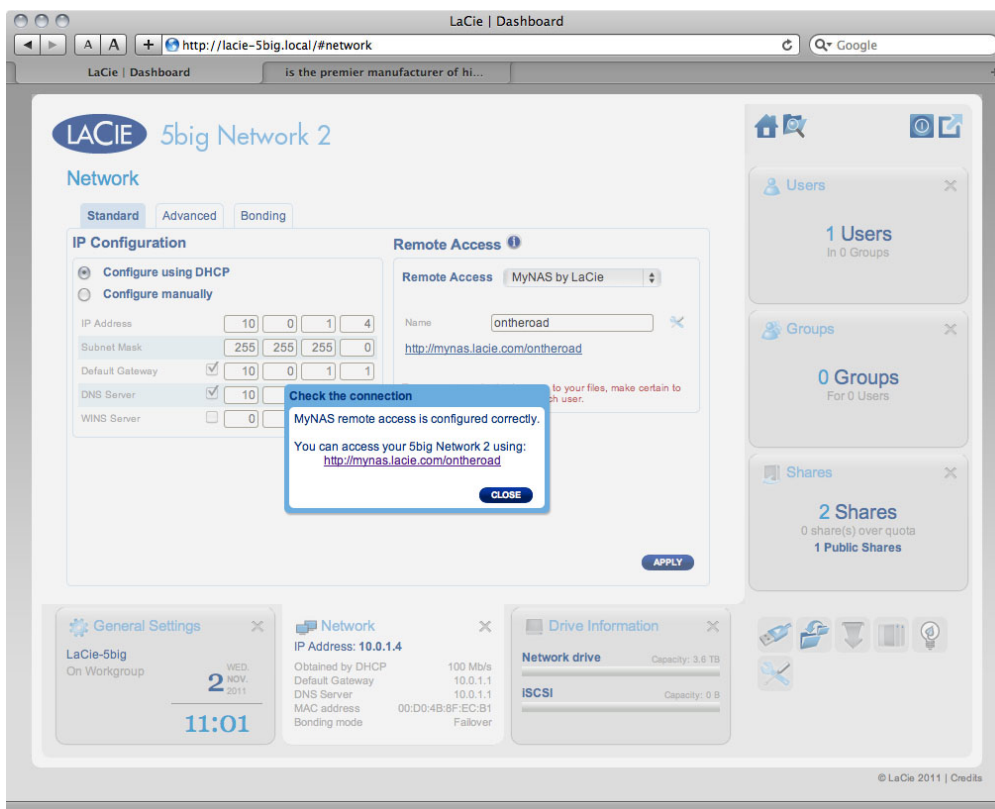


4. 次に、NAS の名前を **[Name (名前)]** フィールドに入力します。



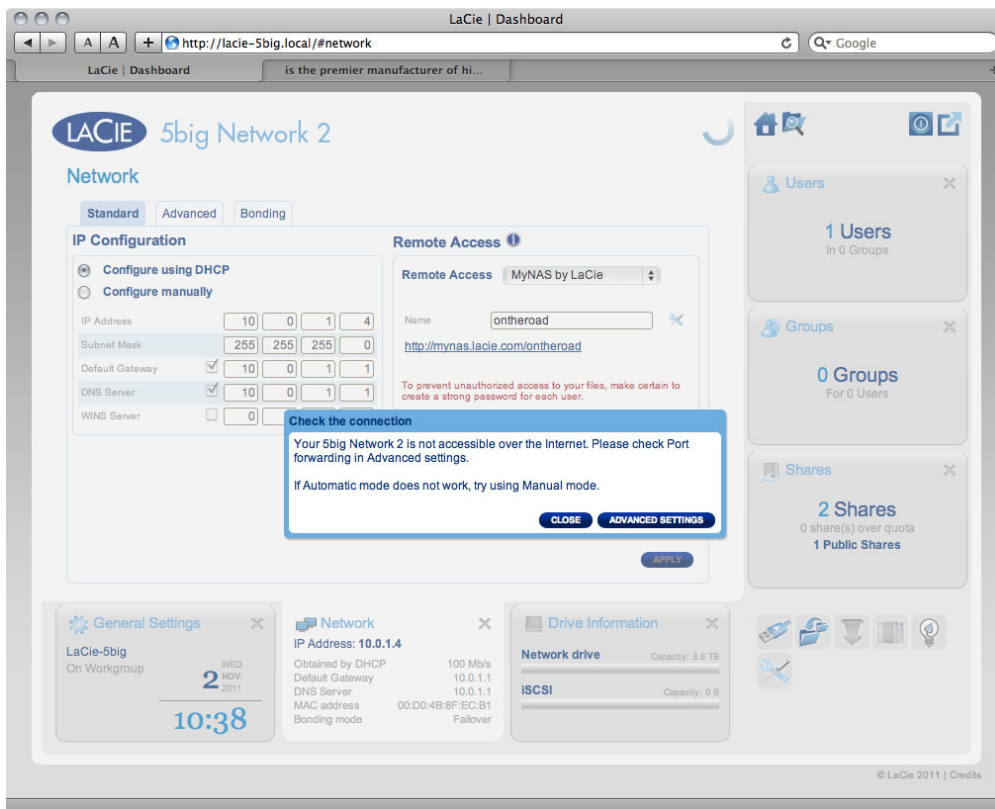


5. 次に、**[Apply (適用)]** をクリックします。NAS がインターネットに接続できる場合は、ダッシュボードが mynas.lacie.com サーバーに問い合わせ、選択した名前が利用可能かどうかを確認します。利用可能な場合は、接続確認メッセージが表示されます。



名前が既に使用されている場合は、利用可能な名前が見つかるまで、新しい名前を入力し、**[Apply (適用)]** をクリックします。

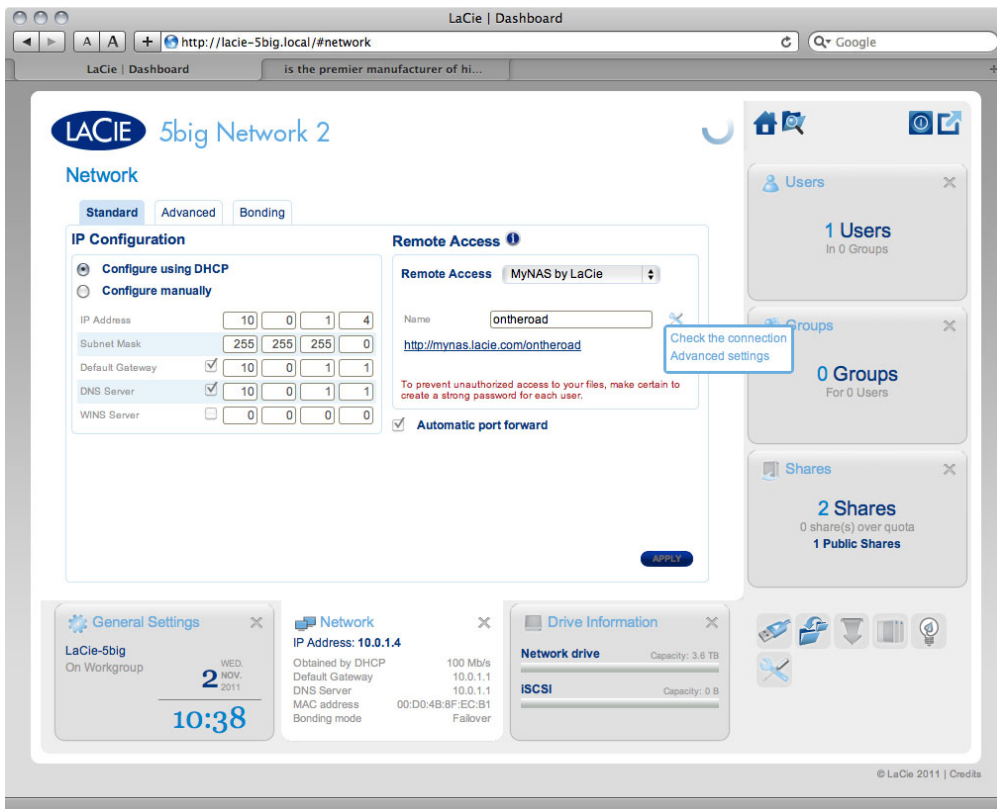
## 接続失敗



NAS がインターネットに接続できないというエラーが表示された場合、ポート転送を設定しなければならない場合があります。あるいは、プロキシを使用している場合は、プロキシ設定によりリモート接続がブロックされている可能性があります。

問題がルーターに関連している場合、管理者ページにアクセスし、NAS からインターネットへのパスを作成するポート(既定では 8080)を転送する必要があります。詳細については、ルーターのマニュアルを参照してください。

1. ルーターが設定されたら、**[Dashboard (ダッシュボード) > Network (ネットワーク)]** ページに戻ります。
2. **[Name (名前)]** フィールドの横で、設定アイコンをクリックし、**[Advanced settings (高度な設定)]** を選択します。

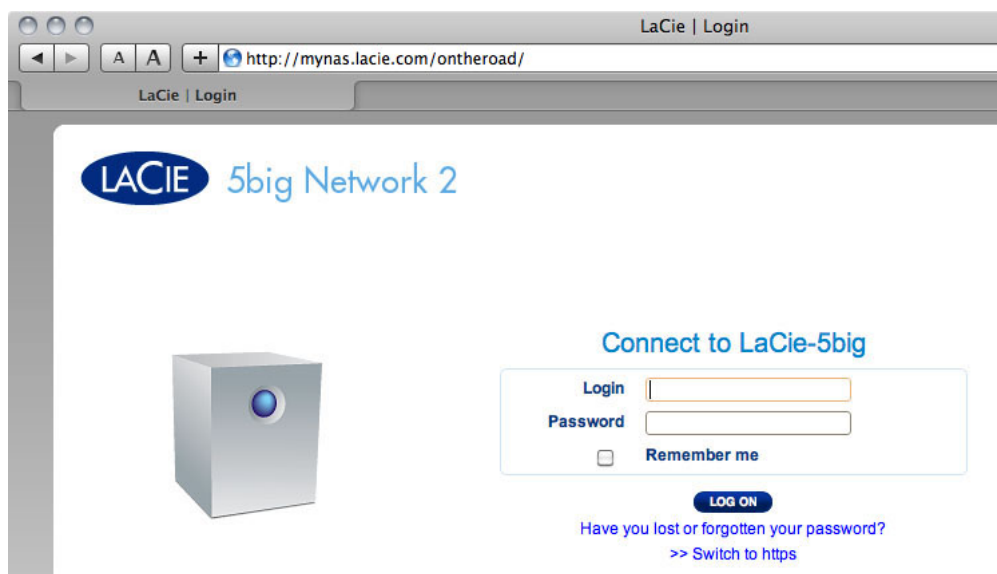


([Name (名前)] フィールドの横に設定アイコンが表示されない場合、名前を入力してから **[Apply (適用)]** をクリックすると、アイコンが表示されます。)

3. 表示されたダイアログ ウィンドウで **[manual (手動)]** をクリックします。
4. 次に、ルーターで転送されるポートを指定します。
5. **[Apply (適用)]** をクリックします。
6. リモート アクセス接続を再試行します。

## 8-1-2 リモート アクセスの使用

設定が完了したら、NAS の URL をブラウザに入力します。



URL は次のようになります。

mynas.lacie.com/name

URL の入力後、ダッシュボードへのログインを指示されます。このユーザー名とパスワードは、管理者が **[Dashboard (ダッシュボード) > Users (ユーザー)]** で作成したものです。

ログインすると、ダッシュボードにアクセスし、NAS を管理 (管理者権限がある場合) か、ファイル ブラウザにアクセスできます。ファイル ブラウザを使用すると、mp3 など、多数のタイプのマルチメディア ファイルのアップロード、ダウンロード、ストリーミングを実行できます。[File Browser (ファイル ブラウザ)] について詳しくは、[7-17\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[ファイル ブラウザ\]](#) を参照してください。

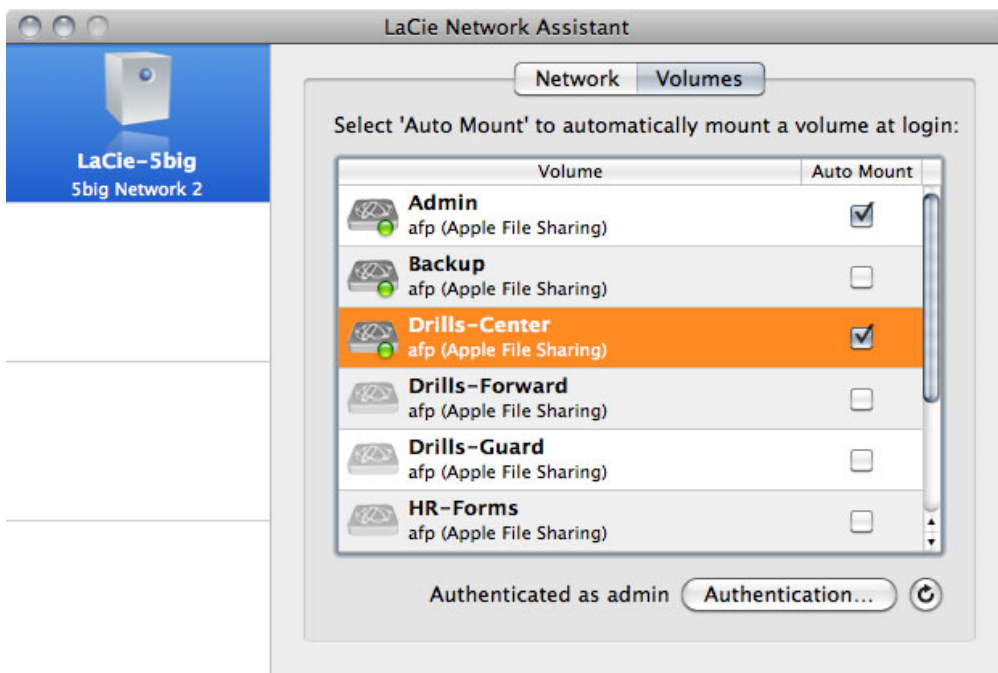
## 8-2 共有へのショートカットを作成する

LaCie NAS を正しくセットアップしたら、保存したファイルに迅速にアクセスできるようショートカットを作成できます。これは、オペレーティング システムまたは LaCie Network Assistant を使用して実行できます。

### 8-2-1 LaCie Network Assistant を使用してショートカットを作成する

LaCie Network Assistant (LNA) は、コンピュータ上に共有を自動的にマウントするように構成できます。これにより、保存されたファイルに迅速にアクセスできるようになります。LNA を使用してこのショートカットを作成するには、次の手順に従います。

1. LNA メニューで、**[Configuration Window (構成ウィンドウ)]** をクリックします。
2. 左側の欄で NAS を選択します。
3. **[Volumes (ボリューム)]** タブをクリックします。
4. 自動的にマウントしたい共有の横にある、**[自動]** チェック ボックスをオンにします。



“can’t list volumes” (ボリュームを一覧表示できません) というメッセージが表示された場合は、旧バージョンの LNA を使用していることに起因している可能性があります。LaCie Web サイトから最新バージョンをダウンロードしてください。

5. **PC をご使用の方**：コンピュータがネットワーク上で共有を検出すると、共有が自動的に【マイ コンピュータ/コンピュータ】にマウントされます。

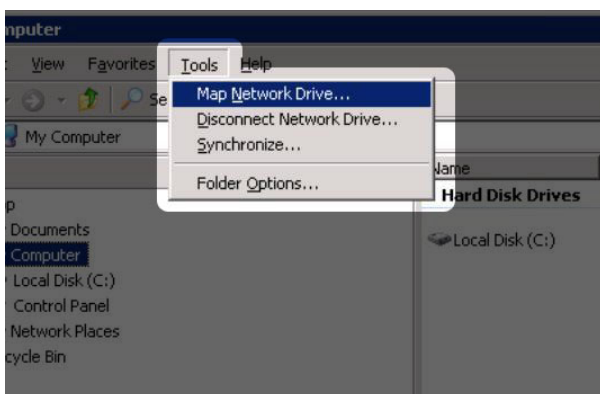
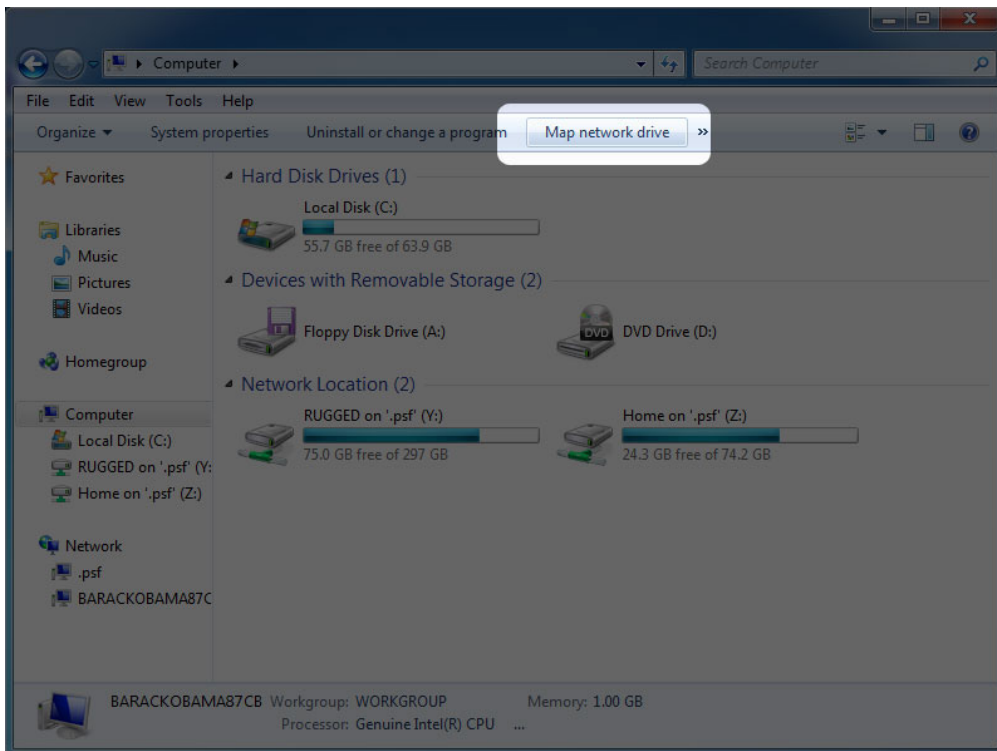
**Mac をご使用の方**：コンピュータがネットワーク上で共有を検出すると、デスクトップ上と Finder に自動的に共有ボリュームのアイコンが表示されます。

## 8-2-2 オペレーティング システムを使用してショートカットを作成する

共有にアクセスするためにショートカットを使用するには、次の手順に従います。

### Windows XP、Vista および Windows 7 をご使用の方

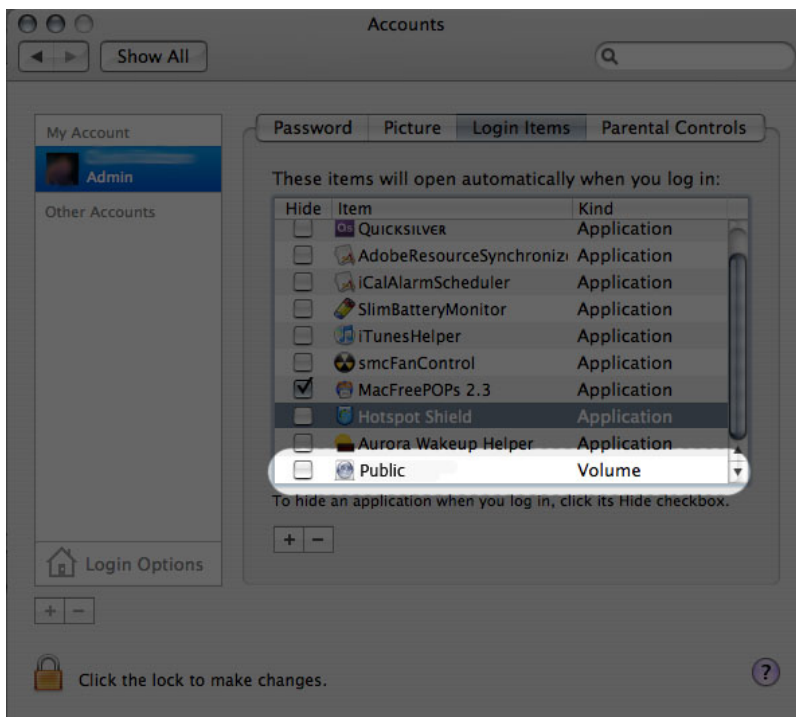
1. Windows XP の [エクスプローラ] ウィンドウで、【ツール】>【ネットワーク ドライブの割り当て】を選択します。Windows Vista および Windows 7 の場合は、[エクスプローラ] ウィンドウを開き、【コンピュータ】に移動し、【ネットワーク ドライブの割り当て】をクリックします。



2. 自動的にマウントしたい共有に移動して選択します。
3. Windows では、コンピュータにログオンするたびに共有をマウントするオプションを表示します。
4. 他の共有についてステップ 1 ~ 3 を繰り返します。

## Mac をご使用の方

1. 新しい [Finder] ウィンドウを開きます。ウィンドウの左側で、**Shared (共有)** > **[マシン名]** > **[共有]** に移動します。プロンプトされた場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、**[Connect (接続)]** をクリックします。
2. 各共有ごとにステップ 1 を繰り返します。
3. コンピュータにログオンするたびに共有を自動的にマウントするには、次の手順に従います。
  1. メニューバーの Apple アイコンから、**[System Preferences (システム環境設定)]** > **[Accounts (アカウント)]** > **[Login Items (ログイン項目)]** を選択します。
  2. 「+」印をクリックし、リストに新規アイテムを追加して、共有を参照します。リストにアイテムを追加するには、共有がマウントされている必要があります。



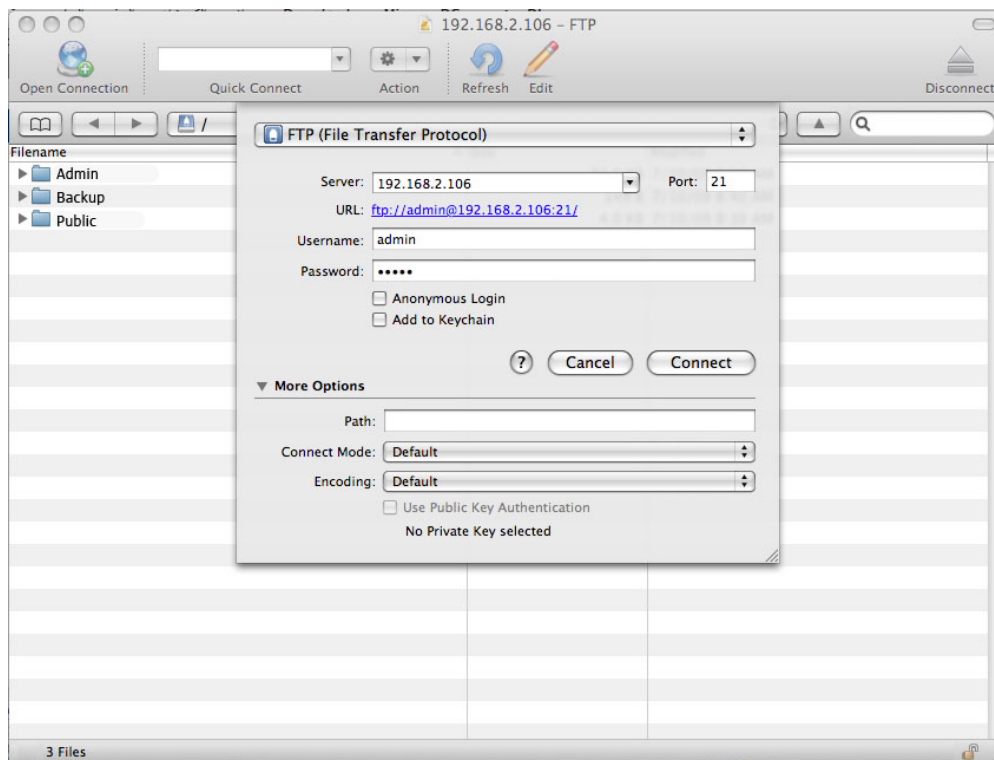
3. Mac OS にログオンすると、共有が自動的にデスクトップにマウントされます (ただし、接続したサーバーをデスクトップで表示しないように Finder で設定していない場合に限りです)。

## 8-3 FTP プロトコルを使って、コンピュータ間で安全にファイルの転送を行う

FTP プロトコルを使って、ローカル ネットワークやインターネット上でコンピュータ間でのファイル転送を行います。このプロトコルを使うと、ユーザー アカウントを持つ人のみがアクセスできるため、友人や家族と安全にファイルの交換ができます。

FTP サービスはデフォルトで無効になっているため、[7-9\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[ネットワーク\]](#) ページで有効にすることが必要です。

LAN 上で FTP を経由して NAS を接続するには、ブラウザまたは FTP クライアントのアドレス フィールドに次のように入力します。



ftp://[IP アドレス]

例 : ftp://192.168.10.149

**技術面での注意:** LaCie Network Assistant **[Configuration Window... (構成ウィンドウ...)]** で NAS の IP アドレスを見つけられます。

または

ftp://[ユーザー名:パスワード]@[IP またはマシン名]/

例 : ftp://ringo:4xtp23@lacie-5big/

ログインするには、Dashboard のユーザー名とパスワードを入力します。(デフォルトでは admin/admin。)

ネットワーク上にないコンピュータから共有にリモートにアクセスするには、[リモートアクセス](#) を参照してください。マシン名または LAN IP アドレスの代わりに、DYNDNS サービスが作成したホスト名を使用します。

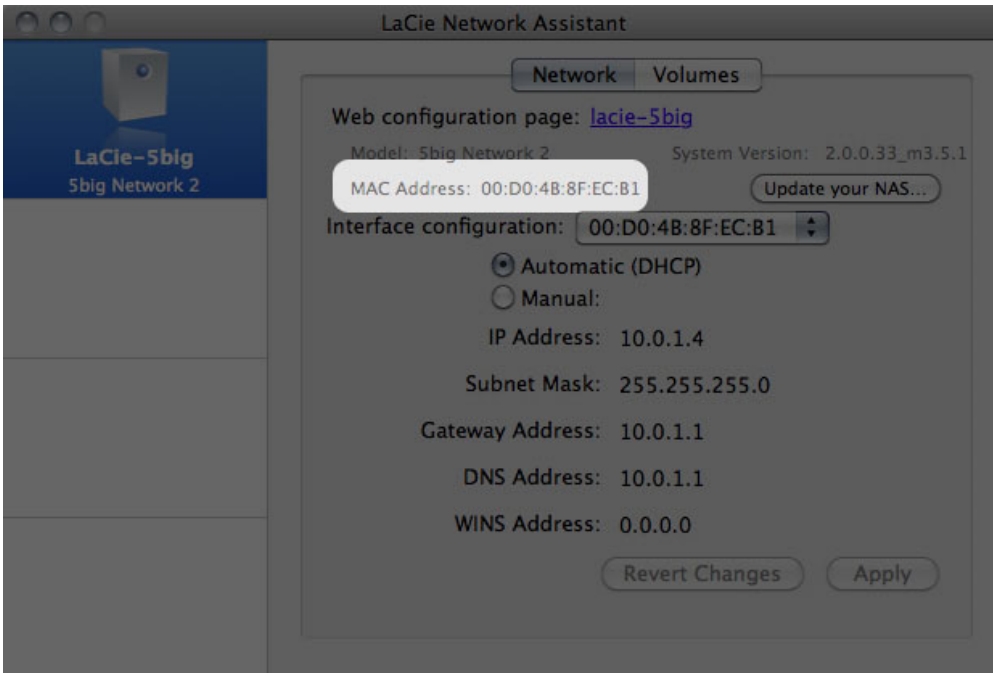


## 8-4 WAKE ON LAN (ネットワーク経由での起動)

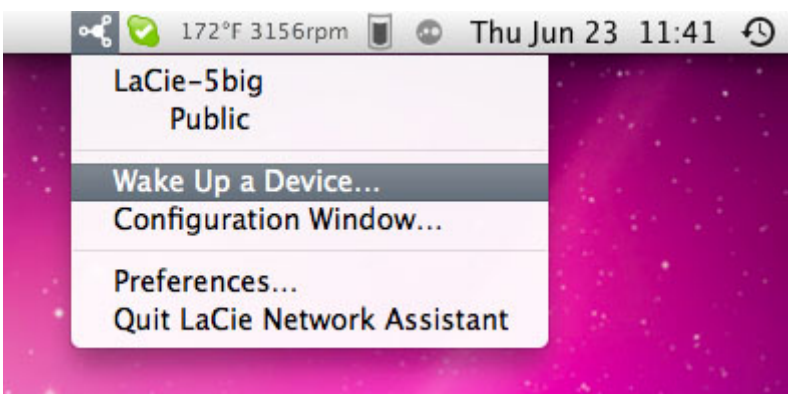
LaCie Network Assistant (LNA) を使用してディープスリープから LaCie NAS を立ち上げられます。

WakeOnLan を初めて使用する場合:

1. ドライブの MAC アドレスが必要です。システムトレイ (Windows の場合) またはメニューバー (Mac の場合) で LNA アイコンを右クリックし (Mac の場合はクリック)、**[Configuration Window...(構成ウィンドウ)]** を選択します。MAC アドレスのテキストを選択してコピーします。



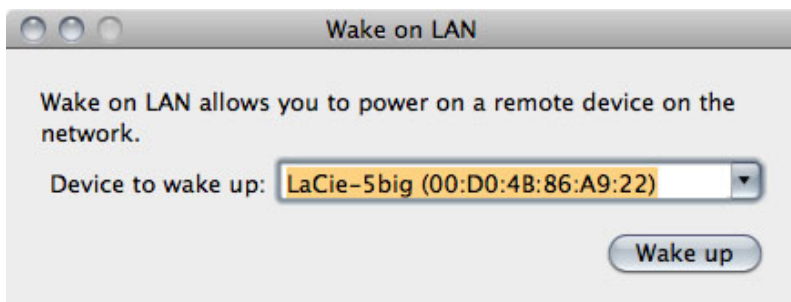
2. 次に、システムトレイ (Windows の場合) またはメニューバー (Mac の場合) で LNA アイコンを右クリックし (Mac の場合はクリック)、**[Wake Up a Device... (デバイスの立ち上げ...)]** を選択します。



3. MAC アドレスをフィールドに貼り付け、**[Wake Up (立ち上げ)]** をクリックします。
4. メッセージがご使用の NAS に送信されたというメッセージが出ます。

2 回目以降の使用の場合:

1. システムトレイ (Windows の場合)、またはメニューバー (Mac の場合) で LNA アイコンを右クリックし (Mac の場合はクリック)、**[Wake Up a Device... (デバイスの立ち上げ)]** を選択します。
2. メニューから、立ち上げる NAS 製品を選択します。



3. **【起動】** をクリックします。

## 8-5 UPNP/DLNA デバイスとのファイル共有

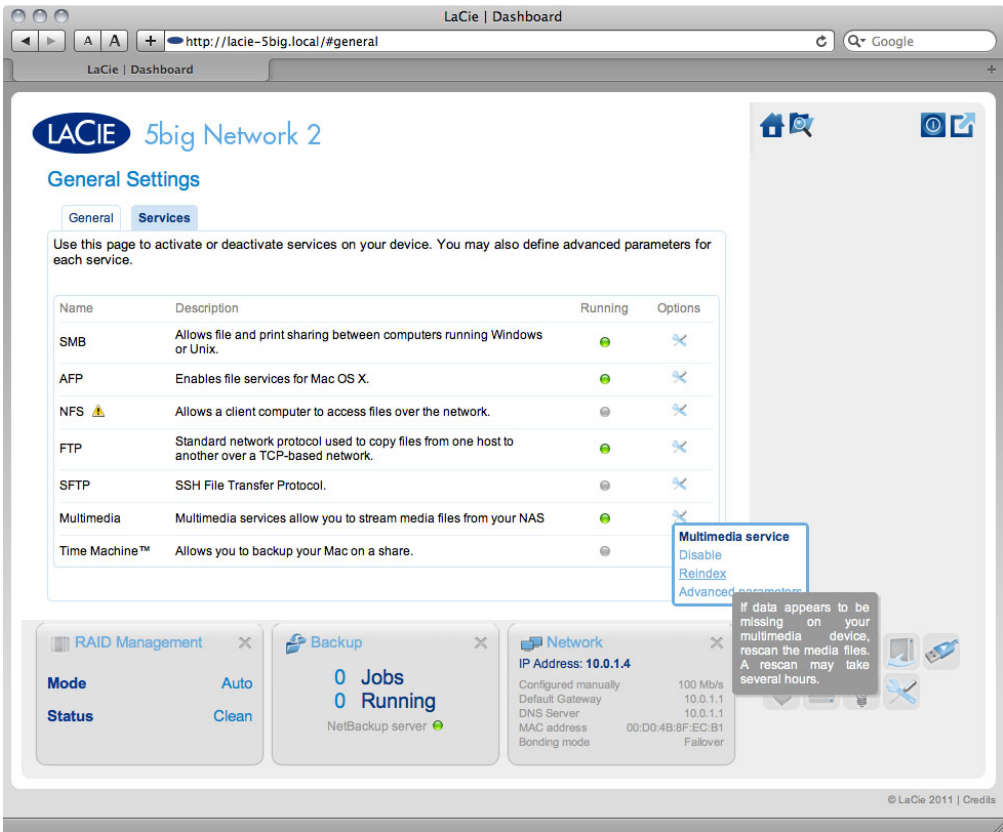
LaCie NAS が、同一のネットワークに接続された UPnP/DLNA デバイスとファイルを共有するように設定できます (読み取り専用)。次のステップに従います:

1. LaCie NAS がホーム ネットワークに正しく接続されていることを確認します。 [5. ネットワークへの接続](#) を参照してください。
2. Dashboard 上で Multimedia (マルチメディア) サービスを有効にします ([7-5\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[一般設定\]](#) を参照)。
3. NAS の共有にあるファイルを、ネットワークに接続されている UPnP/DLNA 認定プレーヤー/アダプタ (XBox 360、PlayStation 3、DLNA 携帯電話など) で再生できるようになります。

### 8-5-1 メディア サーバーの再インデックス作成

マルチメディア デバイスにないファイルがあると思われる場合は、メディア ファイルの再スキャンを強制実行できます。次の手順に従ってください。

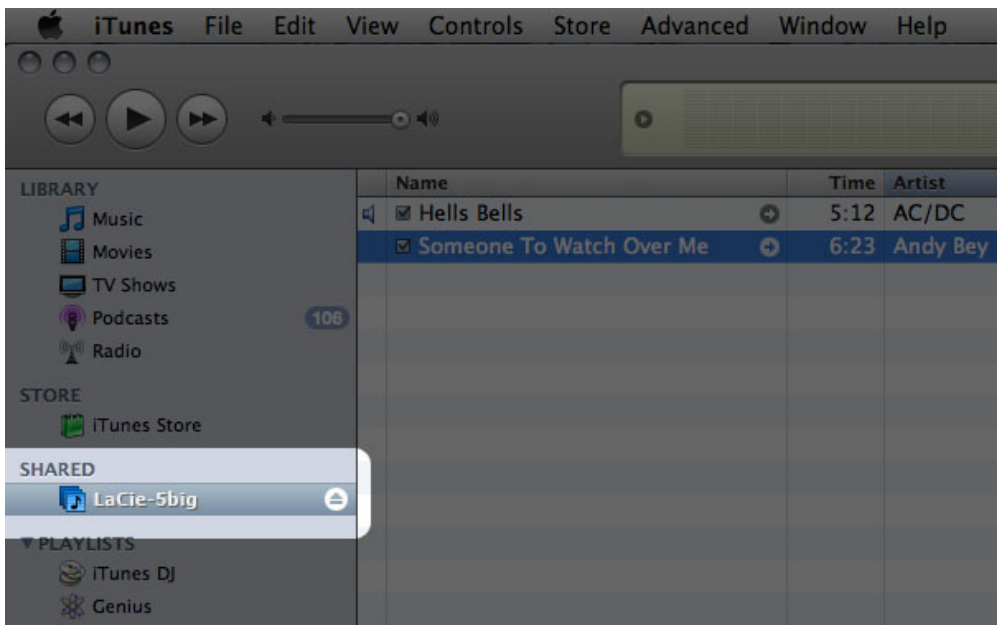
1. Dashboard から [General Settings (一般設定)] ページに移動し、**【Services (サービス)】** タブをクリックします。
2. **【Multimedia (マルチメディア)】** 行の **【Options (オプション)】** 列の設定アイコンをクリックします。
3. **【Re-index (再インデックス作成)】** リンクをクリックします。NAS 上に多数のマルチメディア ファイルがある場合は、この処理に 1 時間以上かかる場合があります。



## 8-5-2 iTunesサーバとして設定する

LaCie NAS は、iTunes Music Server (iTunes 音楽サーバー) として使用し、オーディオ ファイルをネットワーク上で iTunes を実行中のコンピュータにストリーミングできます。構成すると、NAS のマシン名の記載されたプレイリストが iTunes の Shared カテゴリに表示され、NAS に保存されたオーディオ ファイルがこのプレイリストに一覧記載されます。次のステップに従います:

1. LaCie NAS がホーム ネットワークに正しく接続されていることを確認します。 [5. ネットワークへの接続](#)を参照してください。
2. Dashboard 上で Multimedia (マルチメディア) サービスを有効にします ([7-5\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[一般設定\]](#)を参照)。
3. iTunes で、**[Preferences (設定)] > [Sharing (共有)] > [Look for shared libraries (共有ライブラリの検索)]**でライブラリの共有が有効になっていることを確認します。
4. iTunes で共有プレイリストにアクセスします。

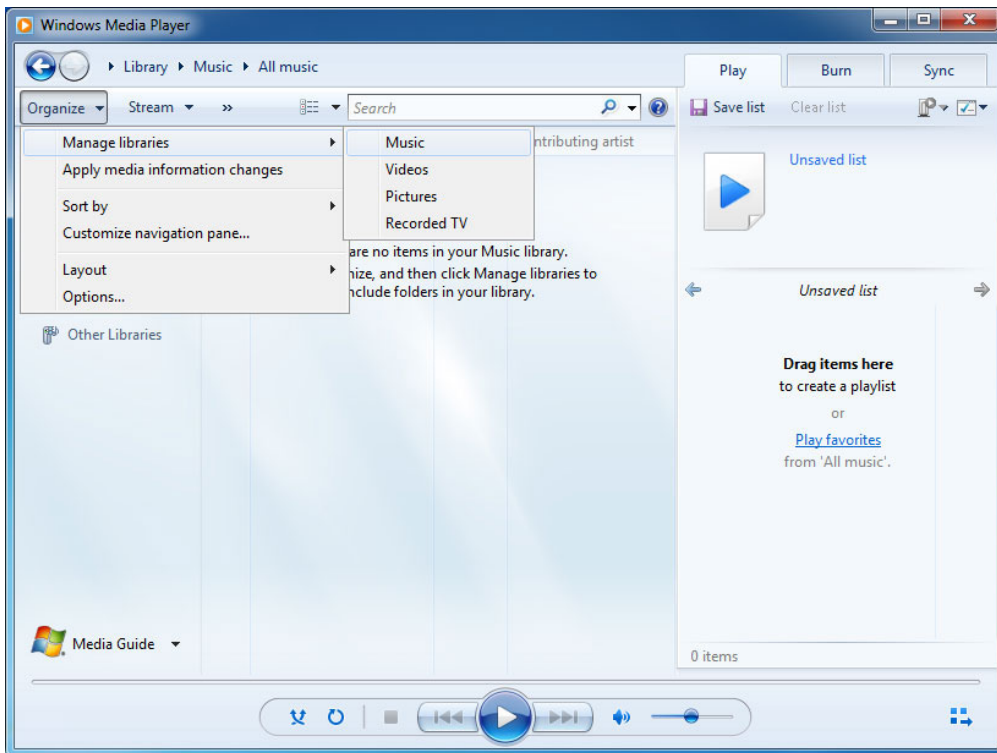


**技術面での注意:** iTunes Server Serviceが対応しているファイル形式は、.mp3、.wav、.aac、.pls、.m3uとなります。

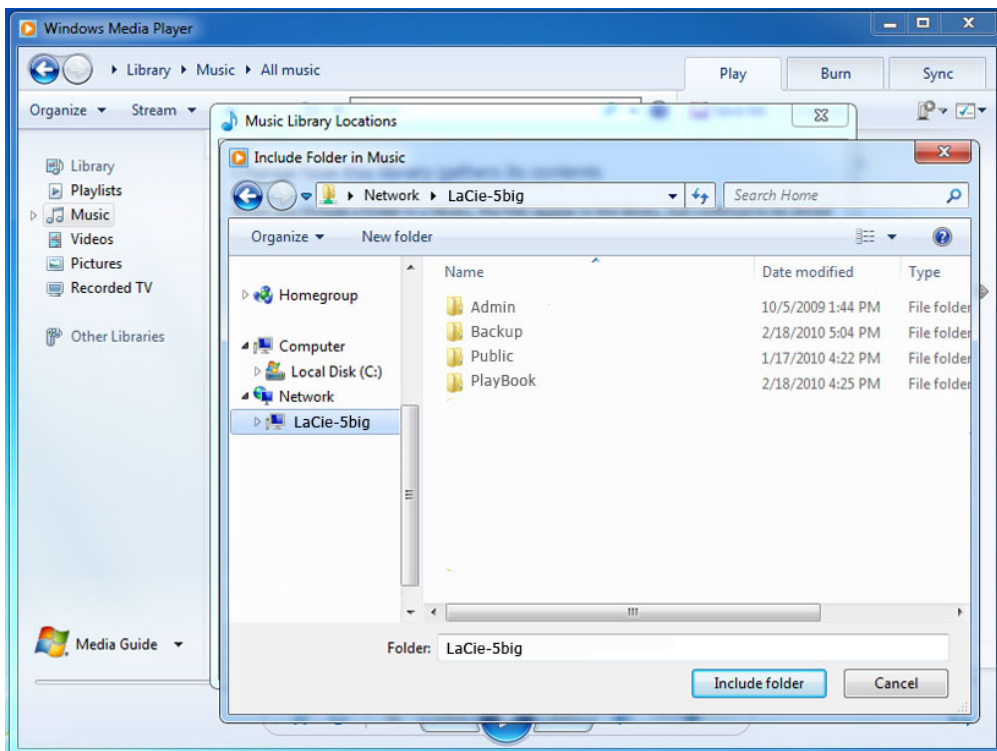
## 8-5-3 Windows Media Playerと接続する

本設定を行うと、Windows Media Player (WMP) から、LaCie NAS 内のファイルをネットワーク経由で再生することができます。以下のように設定を行ってください。:

1. LaCie NAS がホーム ネットワークに正しく接続されていることを確認します。 [5. ネットワークへの接続](#)を参照してください。
2. Dashboard 上で Multimedia (マルチメディア) サービスを有効にします ([7-5\[管理画面\(Dashboard\)\] - \[一般設定\]](#)を参照)。
3. WMP で、**[Organize (整理)] > [Manage Libraries (ライブラリの管理)] > [Music (音楽)]** (または **[Video (ビデオ)]** あるいは **[Pictures (画像)]**) をクリックします。



4. ダイアログ ウィンドウで、**[Add (追加)]** をクリックし、[Network (ネットワーク)] セクションの下にある NAS マシン名を選択して、**[Include Folder (フォルダを含める)]** をクリックします。



5. WMP で、メディア ファイルのインデックスの作成が始まります。完了すると、WMP ライブラリにファイルが表示されます。

## 8-6 バックアップ ソフトウェアの使用

LaCie NAS は、Time Machine®、Windows Backup および Restore®, and Genie Timeline® に完全に対応しています。NAS の共有は、これらのソフトウェアでバックアップ ターゲットに設定できます。これらの共有でバックアップするコンピュータのユーザーが、その共有へのアクセス権を持っていることを確認してください。

## 9. USB 経由でコンピュータに接続

注記: この章は、d2 および 2big Network 2 のみに適用されます。

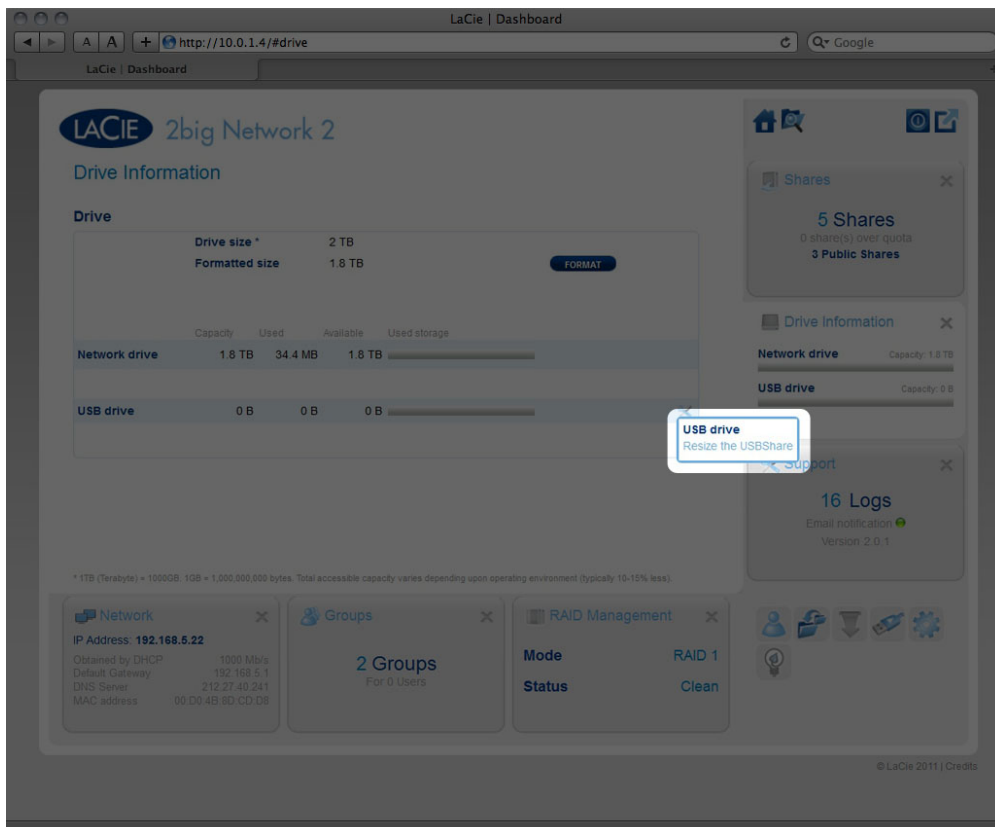
この章では、LaCie d2 または 2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続する方法をご説明します。NAS をネットワークに接続する方法については、[5. ネットワークへの接続](#) を参照してください。

ネットワークが 10/100 Mbit 転送速度に限られている場合や WiFi を使用している場合は、一般に、USB 接続の方が高速に転送できます。このような場合、まず USB 経由でコンピュータから LaCie NAS に大量のファイルをコピーし、その後に第 2 のステップとしてネットワークに接続することをお勧めします。

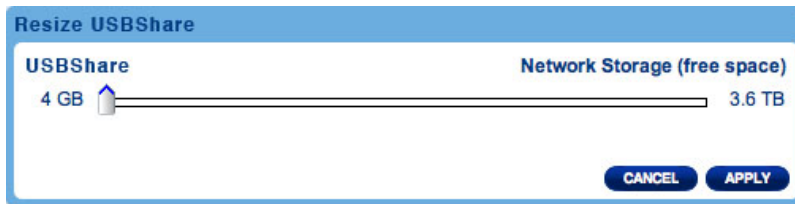
### 9-1 接続のステップ

USB を介して LaCie NAS をコンピュータに接続するには、次の手順にしたがってください。

1. d2 または 2big Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続して使用するには、まず NAS を正しくネットワークに接続し ([5. ネットワークへの接続](#) を参照)、Dashboard ([7-1 管理画面\(Dashboard\)](#) - [\[アクセス\]](#) を参照) のセットアップを完了していることが必要です。
2. また、USB 経由で使用する前に USB ストレージとしての容量を配分することが必要です。次の手順に従ってください。
  1. NAS がネットワークに接続されている状態で、**[Dashboard]** - **[Drive Information (ドライブ情報)]** にアクセスします。
  2. 表示画面の USB ドライブ の行で、設定のアイコンをクリックします。



3. **【USBShare のサイズを変更】** をクリックします。
4. スライダをドラッグして、USBストレージとして配分する容量を変更します (最大500GB)。スライダをクリックした後、キーボードの左または右の矢印キーを使って微調整できます。



5. **【適用】** ボタンをクリックし、ポップアップ ウィンドウで確定入力します。
3. 製品の LAN ケーブルをネットワークから取り外し、電源ボタンを使ってオフにします。シャットダウンが完全に終了するまで待ちます。フロントボタンの LED が消灯したら、次の手順に進みます。
4. USB ケーブルで NAS とコンピュータを接続します。
5. 背面の電源スイッチを使って NAS に電源を入れます。LED が点滅し始めます。フロントのLEDが点灯に変わったらUSBストレージとしてコンピュータにマウントされます。通常通りにコンピュータから NAS にファイルを転送します。

**技術面での注意:** NAS オペレーティング システムで USBShare を作成すると、PC と Mac で使用できるよう、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされています。USBShare を別のファイル フォーマット (NTFS または HFS+) でフォーマットするには、コンピュータのネイティブ ディスク管理アプリケーションを使用してください。



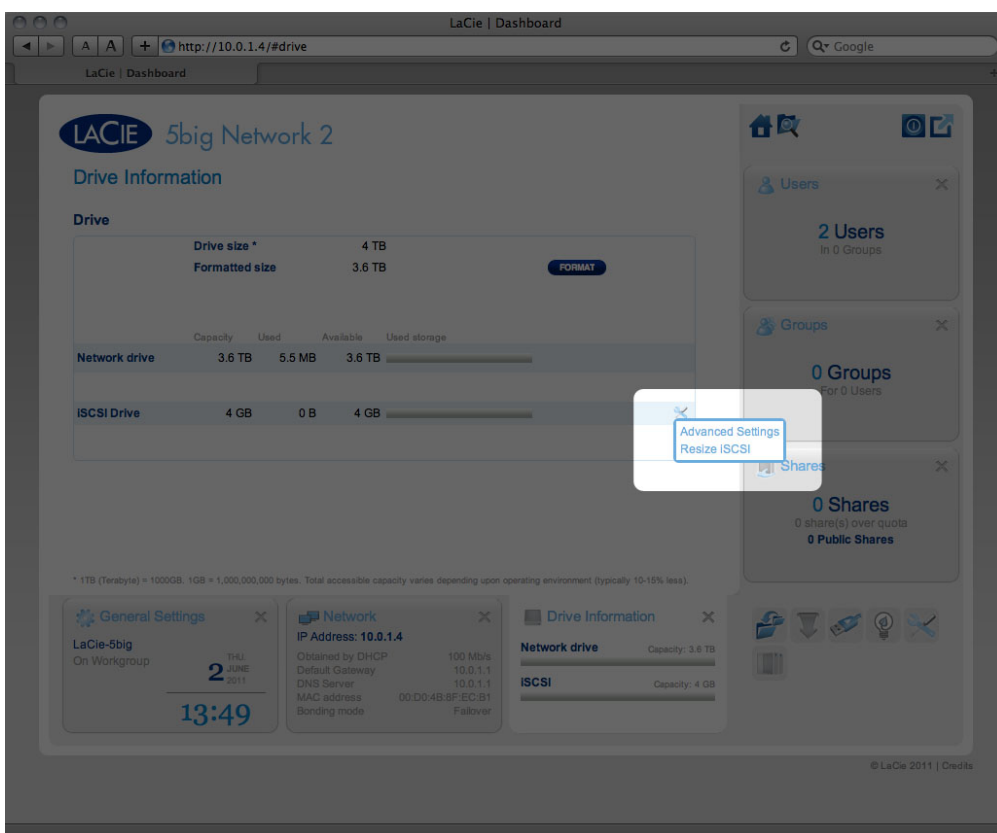
## 10. iSCSI の設定

注記: この機能は、5big Network 2 のみで利用できます。

5big Network 2 共有は iSCSI ターゲット クライアントとして設定できます。これにより、ネットワーク共有をローカル共有としてマウントできるようになります。この共有は、非ネットワーク ファイルシステム (NTFS、HFS+、FAT32 など) でフォーマットできます。

ここでは、5big Network 2 のストレージの一部を **iSCSIShare** に配分することができます。iSCSIShare は、配分することにより自動的に作成されます。iSCSI に配分したストレージを変更するには:

1. 表示画面の iSCSI ドライブ の行の設定アイコンをクリックします。



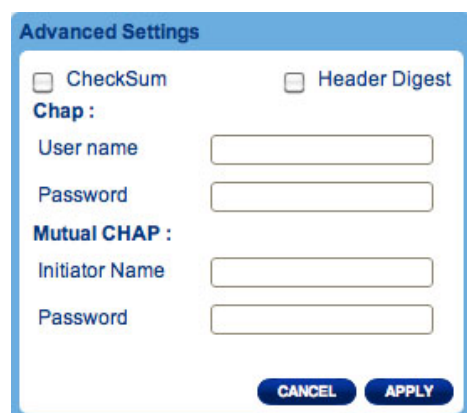
2. スライダをドラッグして、iSCSIShare に配分する容量を変更します。スライダをクリックした後、キーボードの左または右の矢印キーを使って微調整できます。



3. **[Apply (適用)]** ボタンをクリックし、ポップアップ ウィンドウで確定入力します。
4. iSCSIShare のサイズが 2 TB を超える場合、オペレーティング システムのディスク管理ユーティリティ (Disk Utility for Mac および Disk Management for Windows) を使用して共有をフォーマットする必要があります。

5. 次に、Microsoft (Windows の場合) または他のサードパーティ ベンダーの iSCSI クライアント イニシエーターをインストールして設定する必要があります。詳細については、発行元のマニュアルを参照してください。

Dashboard は、数件のアドバンスド パラメータを提供しています。設定アイコンをクリックし、**[Advanced Settings (高度な設定)]** を選択します。このウィンドウでは、iSCSIshare に関連した高度なパラメータを変更できます。



The image shows a dialog box titled "Advanced Settings" with a blue header. It contains several configuration options:

- Two checkboxes: "Checksum" and "Header Digest", both of which are currently unchecked.
- A section titled "Chap:" with two input fields: "User name" and "Password".
- A section titled "Mutual CHAP:" with two input fields: "Initiator Name" and "Password".
- At the bottom right, there are two buttons: "CANCEL" and "APPLY".

上記の値を変更した後、**[Apply (適用)]** をクリックします。

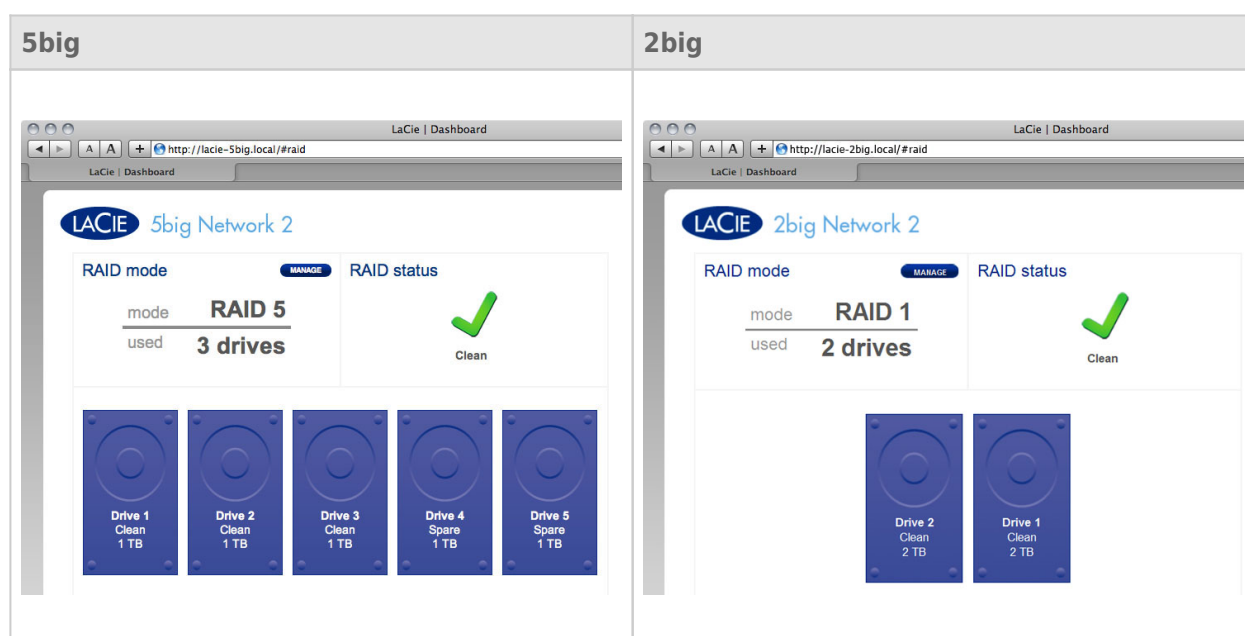
# 11. RAID の管理

注記: この章は、2big および 5big Network 2 のみに適用されます。

2big または 5big Network 2 には頑強な RAID 管理システムがあり、ご使用のデータに合わせて最適化された RAID モードを選択して管理できます。

## 11-1 RAID モードの変更

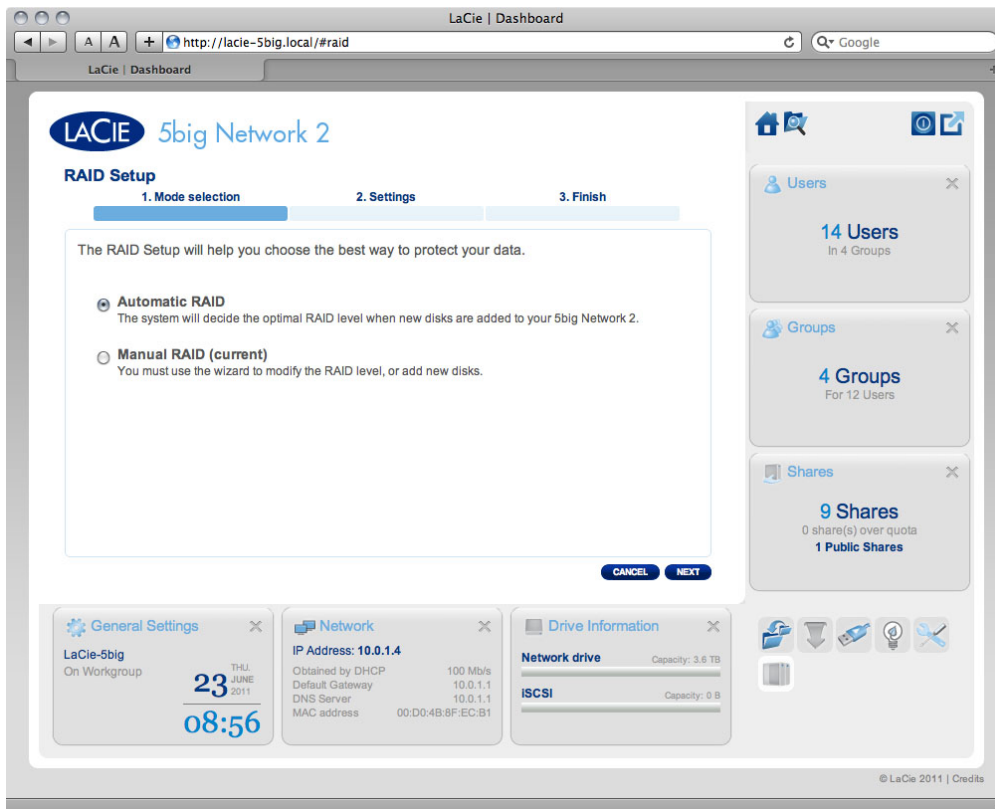
[Dashboard] - [RAID Management (RAID 管理)] ページに移動します。このページは、次の要素で構成されています。



- **RAID モード:** このボックスは、ご使用の NAS の現在の RAID スキームおよび、そのスキームの対象となっているディスクの数を表示します。
- **RAID status (RAID ステータス):** このボックスでは、アレイが正常に動作しているか、劣化状況にあるか、または同期中であるかを表示します。黄色の警告アイコンは、1 台のディスクが故障した場合にアレイが保護されなくなっている場合に通知します。この状況は、保護 RAID アレイが劣化した場合、または RAID0 を選択したために生じる場合があります。
- **Drive map (ドライブ マップ):** ディスクの図をクリックして、ディスクが NAS のどのスロットに入っているかを表示できます。

### 11-1-1 RAID セットアップ ウィザード

[MANAGE (管理)] ボタンをクリックして、RAID セットアップ ウィザードを起動します。次の画面で、**Automatic RAID (自動 RAID)** (5big のみ) または **Manual RAID (手動 RAID)** のいずれかを選択します。



## Automatic RAID (自動 RAID) (5big のみ)

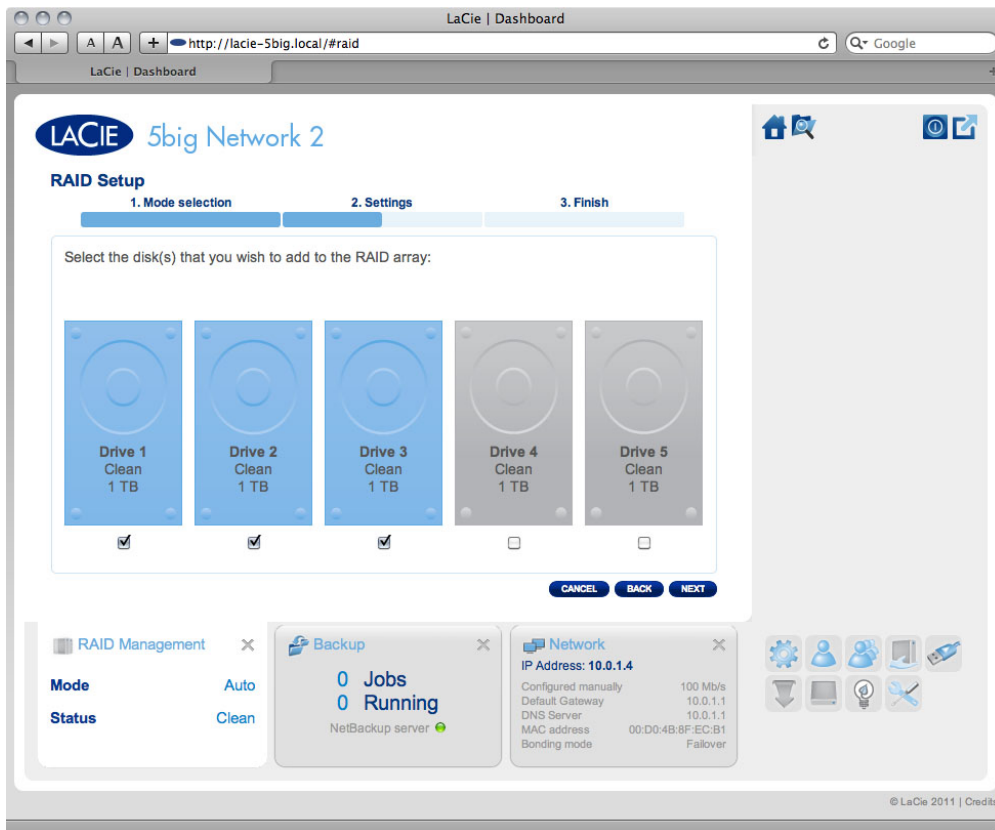
自動モードでは、最大の容量を確保しながら常に保護が提供されるように RAID モードが自動的に選択されます。このオプションを使用するには、最低 2 台のディスクが 5big にインストールされていることが必要です。このように、データの損失無しで NAS のディスク台数を増やしたり、新しい大容量ディスクに交換することができます。さらに、ウィザードでは、たとえば RAID5 の 3 台のディスクを RAID0 の 4 台のディスクに移動する場合など、破壊的 (データが損失される) RAID 変更を選択しようとしている場合に警告します。

注意: 破壊的な RAID の変更が行われることをウィザードが警告した場合は、ウィザードをキャンセルし、バックアップを行ってから Automatic RAID (自動 RAID) モードの作業を続行してください。

**[Automatic RAID (自動 RAID)]** を選択したら、**[NEXT (次へ)]** をクリックし、**[FINISH (終了)]** をクリックして Automatic RAID (自動 RAID) モードを起動します。NAS が停止し、サービスが再起動されます。必要な場合はアレイの再構築が行われます。

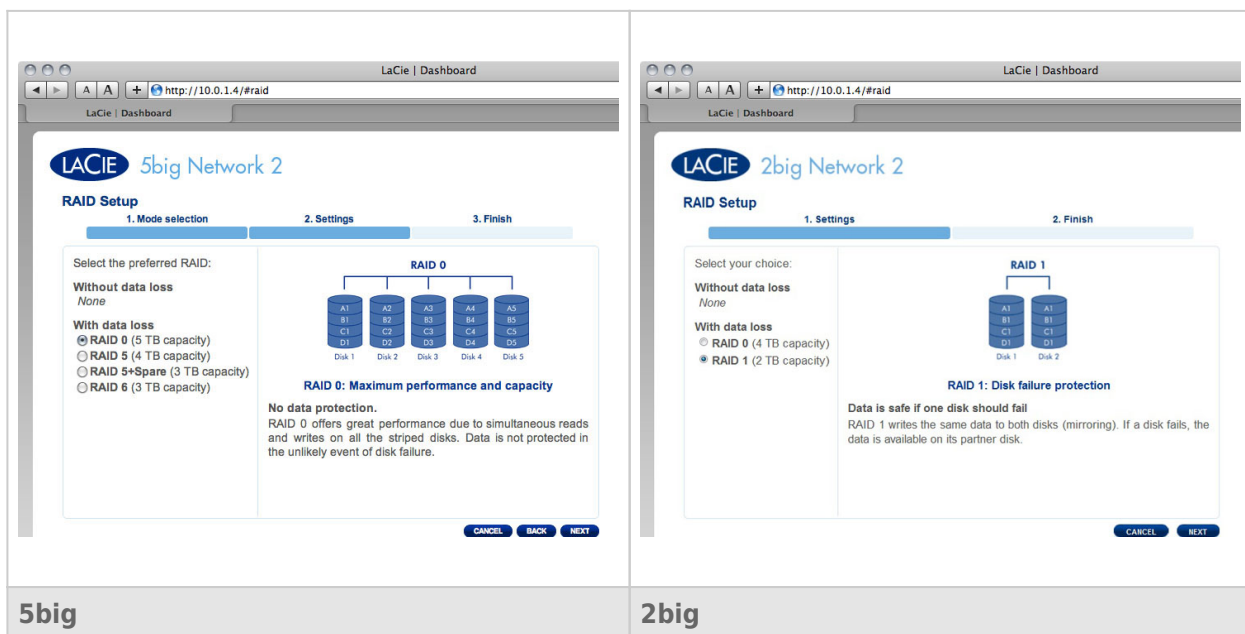
## Manual RAID (手動 RAID)

この方法では、RAID レベルを手動で選択できます。**[NEXT (次へ)]** をクリックして続行します。次の画面で、RAID アレイに含めるディスク数を選択できます。含まれないディスクは予備となり、選択するとアレイに追加できます。



[NEXT (次へ)] をクリックします。

次の画面で、RAID レベルを選択します。RAID モードのボタンをクリックすると、その長所と短所の説明が表示されます。



[Without data loss (データ ロスなし)] という見出しの RAID モードを選択すると、新しいモードに変換しても LaCie NAS に保存されたファイルは消去されません。[With data loss (データ ロス有り)] という見出しの RAID モードを選択すると、新しいモードに変換すると共有のファイルが削除されます (ただし、Dashboard の設定には影響がありません)。

次の画面で情報を確認し、その後 [FINISH (完了)] ボタンをクリックして RAID の変更を確定します。次の画面で、[FINISH (完了)] ボタンをもう一度クリックし、[YES (はい)] をクリックして確定します。



RAID モードの変更中には、Dashboard が使用できなくなります。

## 11-1-2 再構築時間

ディスクの容量と NAS で使用できるリソースによりませんが、保護 RAID アレイの再構築には何時間もかかります。バックアップやトレントのダウンロードを同時に行っていると、再構築にさらに時間がかかります。保護されていない RAID モード (RAID0) への変更の所要時間は、1 分未満です。データは、再構築中にもアクセスできます。

## 11-2 RAID モードについて

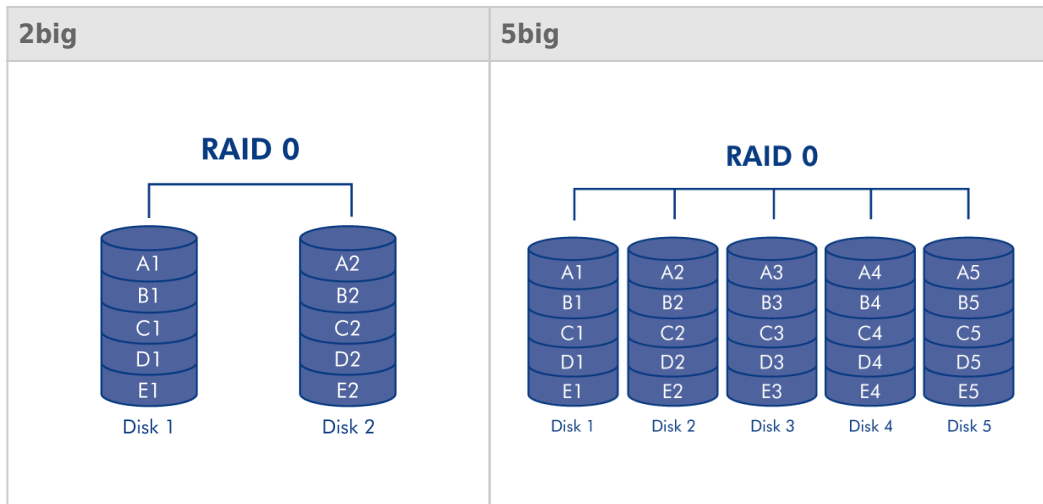
以下の表に、様々な RAID モードの概要についてまとめます。詳細については、説明文を参照してください。この情報は、Dashboard の **[RAID Setup Wizard (RAID セットアップウィザード)]** でも説明しています (詳しくは、上記を参照してください)。

RAID モード	容量	保護	製品	工場出荷時のデフォルト
RAID 0	100%	★★★★★	2big/5big	2big
RAID 1 <sup>1</sup>	50%	★★★★★	2big/5big	-
RAID 5 (デフォルト)	80%	★★★★★	5big	5big
RAID 5+Spare	60%	★★★★★	5big	-
RAID 6	60%	★★★★★	5big	-

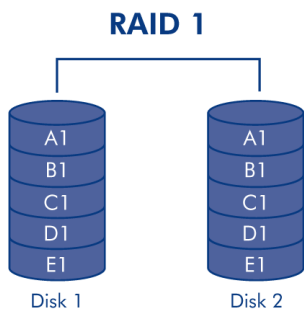
<sup>1</sup> RAID 1 は、ディスクが 2 台のみインストールされているときのみ、5big で使用できます。

**RAID0 (2big および 5big):**RAID 0 (一部の LaCie デバイスでは Spanning モードと呼ばれています) は、最高速の RAID モードです。RAID 0 アレイでは、各ディスクの使用可能な容量が合計され、1つの論理ボリュームがコンピュータにマウントされます。最高のパフォーマンスが提供されますが、ディスクに障害が発生した場合の保護機能はありません。

注意: RAID0 では、アレイの物理ディスクが 1 台でも故障すると、データの一部がすべてのディスクに書き込まれているため、すべてのディスクのデータがアクセス不能になります。



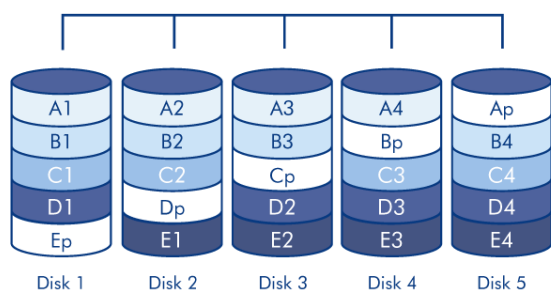
**RAID1 (2big および 5big [2 台のディスクがインストールされている場合のみ]):**RAID 1 は、5big Network 2 に 2 台のディスクがインストールされている場合のみに使用できる、安全な RAID モードです。RAID 1 ではすべてのデータが各ディスクに同時に書き込まれるため、データの安全性を提供します。単一のディスクが故障した場合は、データはもう一つのディスクで使用できる状態に保たれます。データを 2 回書き込むための時間がかかるため、書き込み時のパフォーマンスはやや低下します。RAID 1 は、データの安全性がスピードよりも重要な場合に向いています。ただし、各ハードドライブにそれぞれデータを書き込む必要があるため、RAID 1 では利用できるディスク領域は 50% 減少します。



**RAID5 (5big のみ):** RAID 5 では、データはすべてのディスク (最低 3 台) にストライピングされ、各データ ブロックのパリティ ブロック (次の図の P) が同じストライプに書き込まれます。1 台の物理ディスクに障害が発生すると、故障したディスクのデータは代替のディスクで再構築できます。1 台のディスクが故障してもデータは損失しませんが、代替のディスクでデータを再構築する前に 2 台目のディスクが故障した場合は、アレイ上のすべてのデータが失われます。

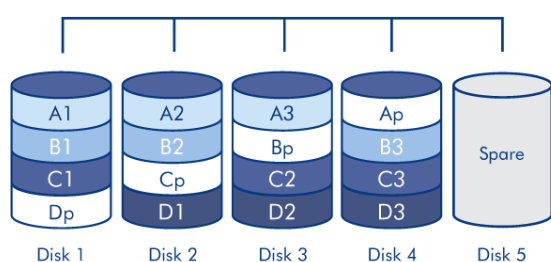


## RAID 5



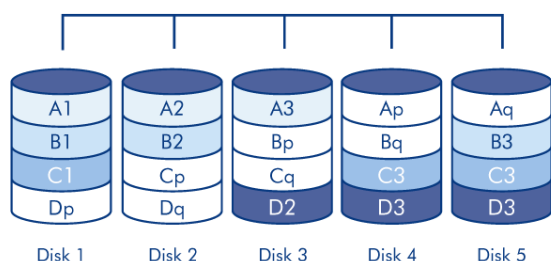
**RAID5+Spare (5big のみ):** RAID 5+Spare は、ディスクが故障すると直ちに 1 台のディスクがシステムの再構築のためにスペアとして使用される RAID 5 アレイです。最低 4 台のディスクが必要です。1 つの物理ディスクが故障しても、データはパリティ ブロックから読み取られるため、データの使用は引き続き可能になります。故障したディスクのデータは、ホットスペアディスクで再構築されます。故障したディスクを交換すると、代替のディスクが新しいホットスペアになります。1 台のディスクが故障してもデータは損失しませんが、ホットスペアでシステムを再構築する前に 2 台目のディスクが故障した場合は、アレイ上のデータがすべて失われます。

## RAID 5+Spare



**RAID6 (5big のみ):** RAID 6 では、データはすべてのディスク (最低 4 台) にストライピングされ、各データ ブロックの 2 つのパリティ ブロック (次の図の p および q) が同じストライプに書き込まれます。1 台の物理ディスクに障害が発生すると、故障したディスクのデータは代替のディスクで再構築できます。この RAID モードでは、最高 2 台のディスクが故障してもデータの損失なく対応できます。RAID 6 では、故障したディスクのデータをさらに高速に再構築できます。

## RAID 6



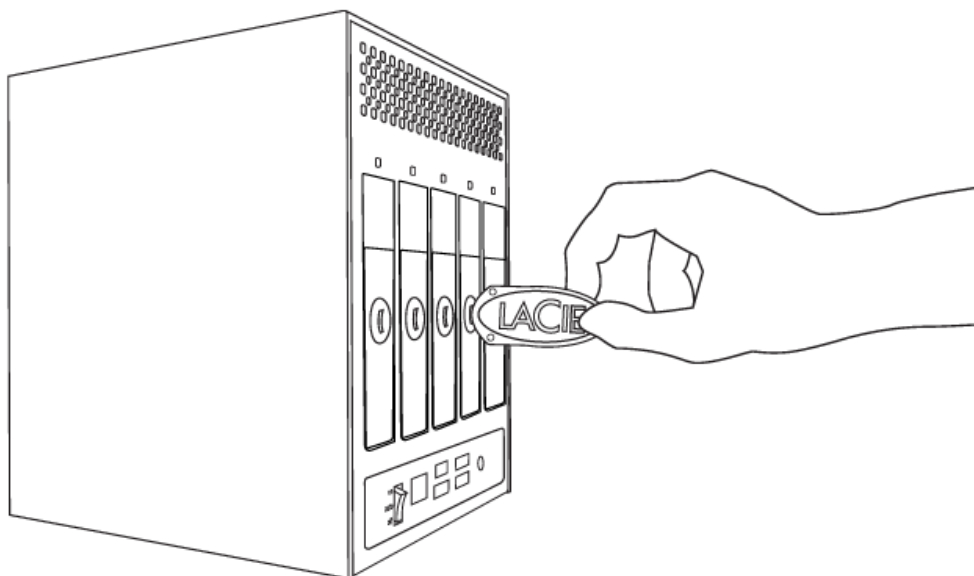
## 11-3 ディスクの交換

### 11-3-1 ディスクの取り外し

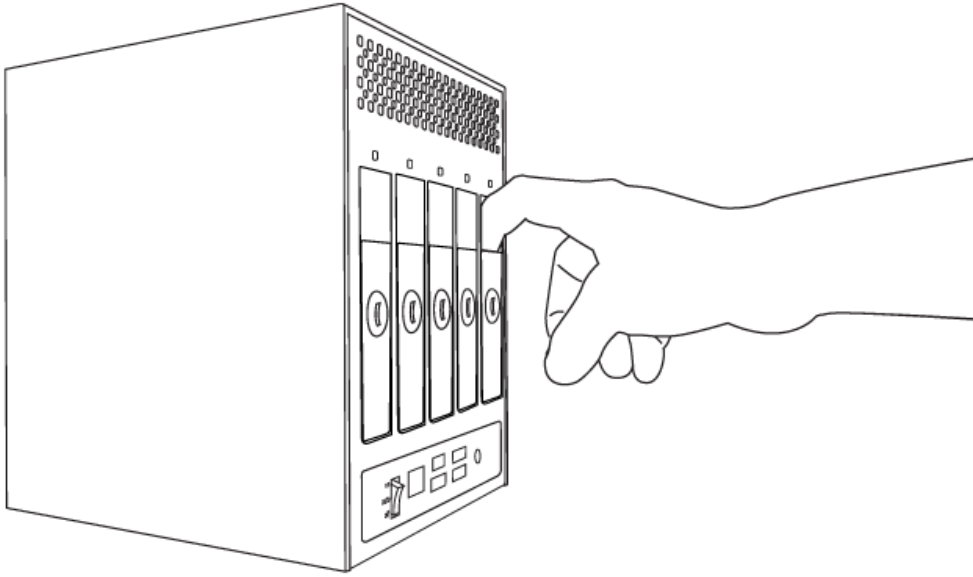
RAID1 または RAID5/6 (5big のみ) モードなどでアレイが保護されている場合は、アレイを損傷したりデータを損失することなく、ディスクを取り外すことができます。このプロセスは、「ホットスワップ」とも呼ばれます。しかし、保護されていないアレイ (RAID0 など) からディスクを取り外すと、データを損失する場合があります。

注意:NAS を継続して使用した場合、ドライブが熱くなっている可能性があります。取り外しの際には、十分注意してください。

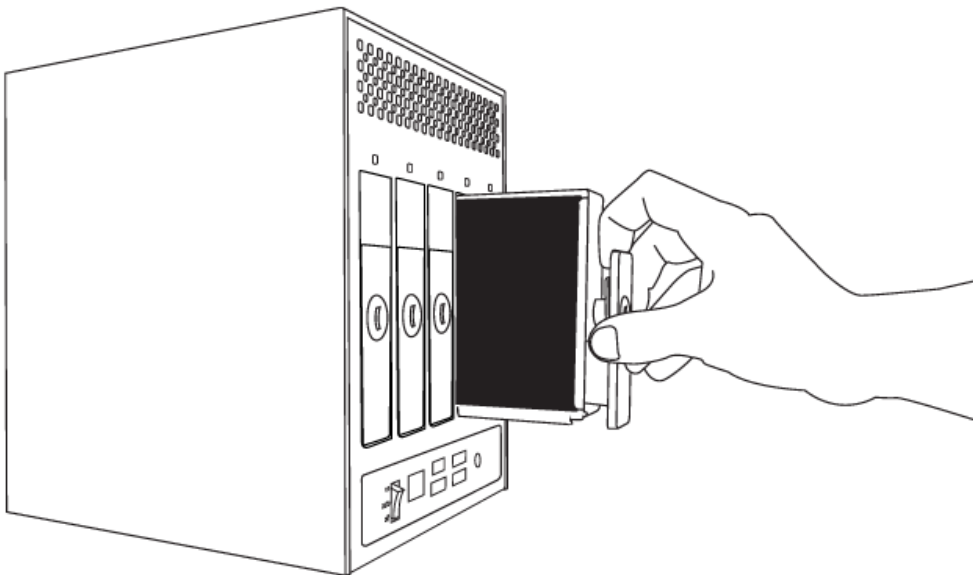
1. ドライブトレイがロックされている可能性があります。ロックを解除するには、付属のドロアーキーを使用して、スロットが縦になるまでロックを回します。



2. ドライブトレイのハンドルの後ろのスペースに指を入れて慎重にドライブトレイを引きながら、ドライブを外します。



3. ドライブトレイのハンドルをつかみ、慎重にドライブを取り外します。



### 11-3-2 ディスクの挿入

**重要な情報：** LaCie NAS の個々のハードディスクが故障した場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマサポートにお問い合わせください。ハードドライブが故障した際は、必ず LaCie から提供された新しいドライブと交換してください。

ドライブを交換する作業には 2 つの主なステップがあります。まず、新しいディスクをインストールし、**[Dashboard] - [RAID]** ページ (以下を参照) で新しいディスクを設定します。新しいディスクは、元のディスクと同等またはそれ以上の容量である必要があります。

1. ドライブトレイを注意しながら空のドライブベイに挿入します。ドライブトレイをほとんど挿入し、抵抗を

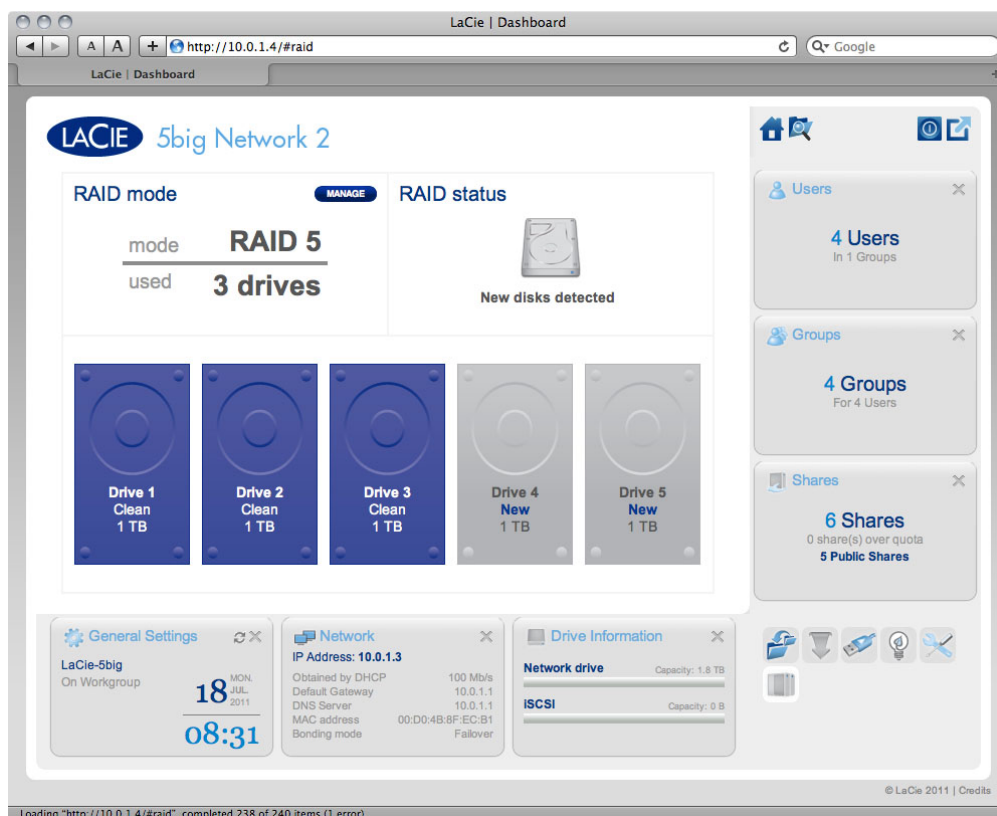
感じるようになったら、ドライブがその位置に正しく収まり、ドライブトレイハンドルがNASの背面とぴったり重なるまでしっかりとドライブトレイハンドルを押します。

2. ドロアーキーを使用してドライブをロックします。
3. Dashboardから**[RAID Management (RAID 管理)]** ページに移動します。ドライブマップで、既に設定されたディスクと比べて薄い青色で新しいディスクが表示され、**[New (新規)]** というラベルが付きます (以下のスクリーンショットを参照してください)。

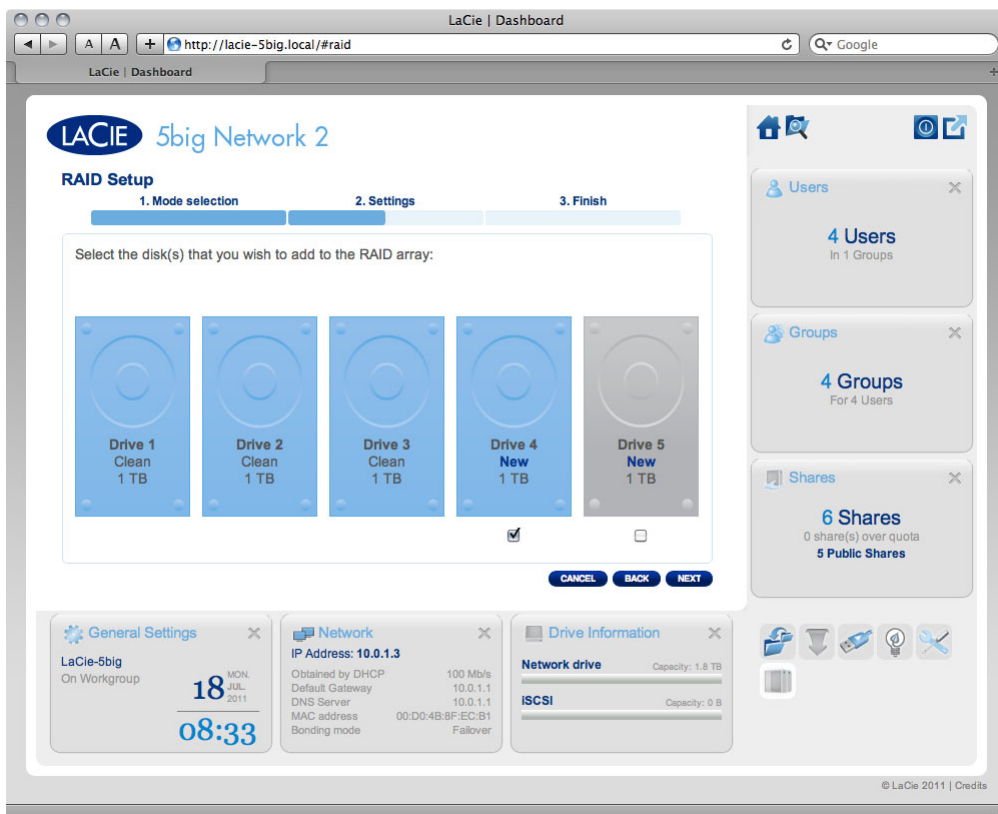
RAID アレイが自動モード (5big のみ) になっている場合、**[New disk detected (新しいディスクが検出されました)]** という文が **[RAID status (RAID ステータス)]** ボックスに表示されます。**[EXPAND (拡張)]** ボタンをクリックして、ディスクをアレイに追加すると、再構築が始まります。

アレイが手動モードの場合:

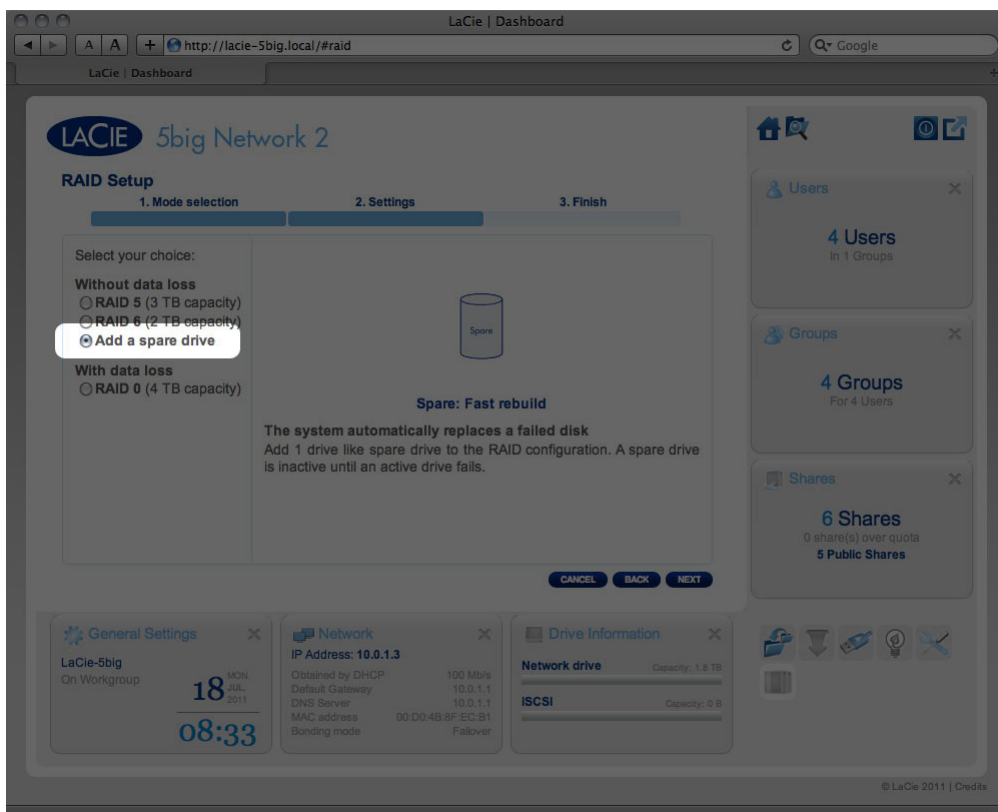
1. **[MANAGE (管理)]** ボタンをクリックします。



2. 新しいディスクの下のボックスをクリックし、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。



3. RAID レベルを選択し、**[NEXT (次へ)]** をクリックします。新しいディスクをスペアとして追加することが可能です。ディスクをスペアにした場合、アレイのディスクが 1 台故障すると、アレイがスペアを使用して自動的に再構築します。この方法では、ディスクが故障した場合でも継続してデータにアクセスできることを保証しますが、スペア ディスクの容量を使用することはできません。



4. 次の画面で情報を確認し、その後 **[FINISH (完了)]** ボタンをクリックして RAID の変更を確定します。

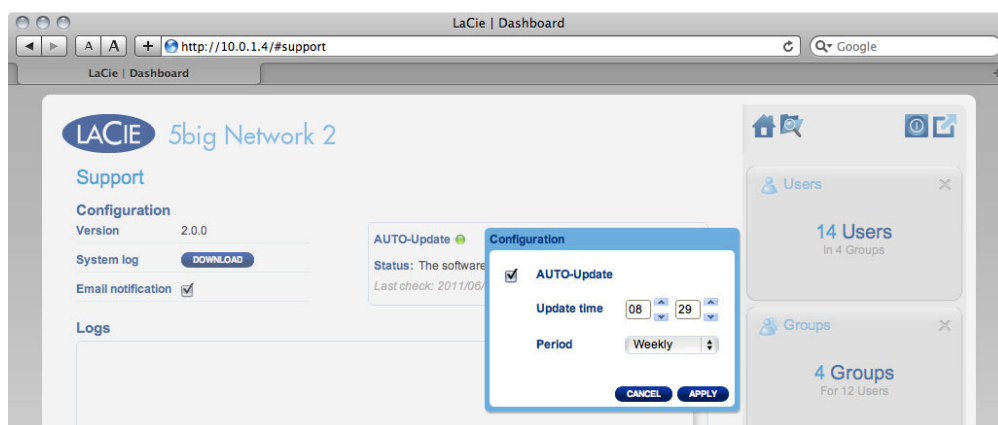
5. 次の画面で、**[FINISH (完了)]** ボタンをもう一度クリックし、**[YES (はい)]** をクリックして確定します。  
RAID モードの変更中には、Dashboard が使用できなくなります。新しいディスクが RAID アレイの一部として追加され、再構築が開始します。新しいディスクがスペアの場合は、再構築は行われません。

## 12. 製品のオペレーティングシステムのアップデート

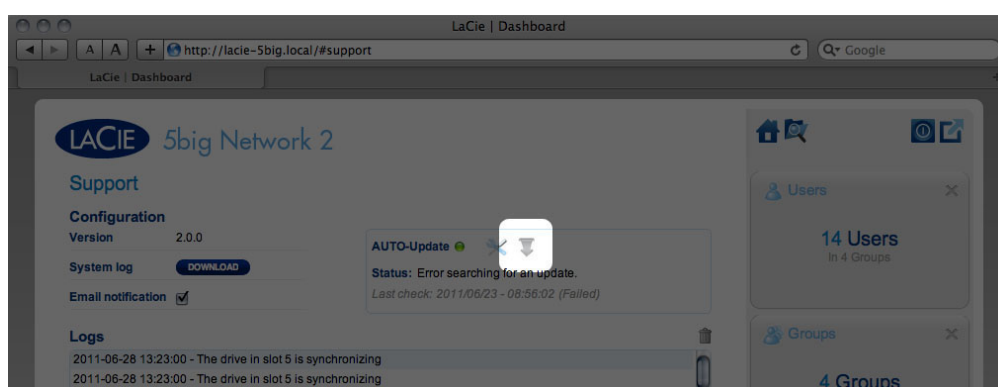
この章では、LaCie NAS のオペレーティングシステムのアップデートを行う方法および、工場出荷時に状態にリセットする方法をご説明します。LaCieでは、NASのソフトウェアの改良や、新機能の追加を行うことがあります。アップデート情報について、次の説明をご覧ください。新しい製品ソフトウェアは、Dashboard または LaCie Network Assistant から確認できます。

### 12-1 管理画面(DASHBOARD) を使用したアップデート

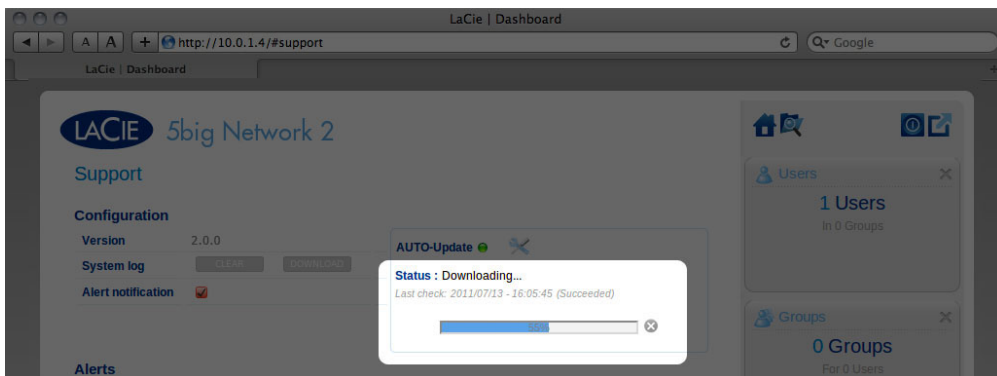
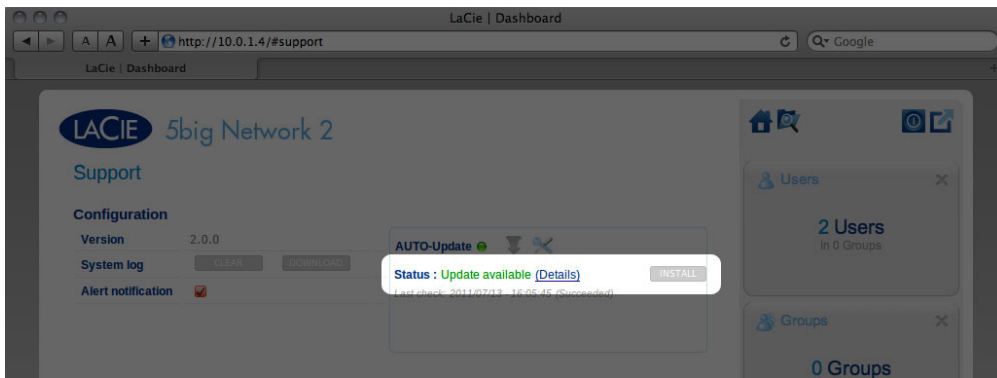
1. [7. 管理画面 \(Dashboard\)](#) の説明のとおり Dashboard を起動し、**[Support (サポート)]** ページに移動します。
2. 自動的にアップデートするように NAS をセットアップするには、**[Auto Update (自動アップデート)]** で設定アイコンをクリックします。**[AUTO-Update (自動アップデート)]** ボックスをクリックし、NAS がアップデートサーバーを確認する頻度と時刻を選択します。



3. 灰色の下向き矢印をクリックすると、手動でアップデートを確認できます。



リンクが表示された場合、そのリンクをクリックしてダウンロードを開始します。



4. ダウンロードが完了したら、画面上の指示に従ってアップデートを完了させます。
5. このプロセスではドライブが再起動されます。この間、ドライブが一時的にネットワークに表示されなくなります。再び表示されたら、**[Support (サポート)]** ページで新しいソフトウェアバージョンを確認できます。

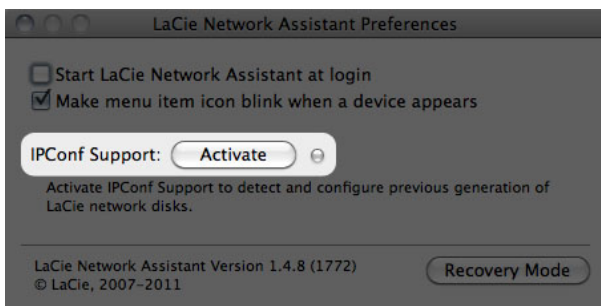
## 12-2 LACIE NETWORK ASSISTANT を使用してのアップデート

このアップデート手順を使用すると、ドライブに保存されている構成やファイルは削除されません。

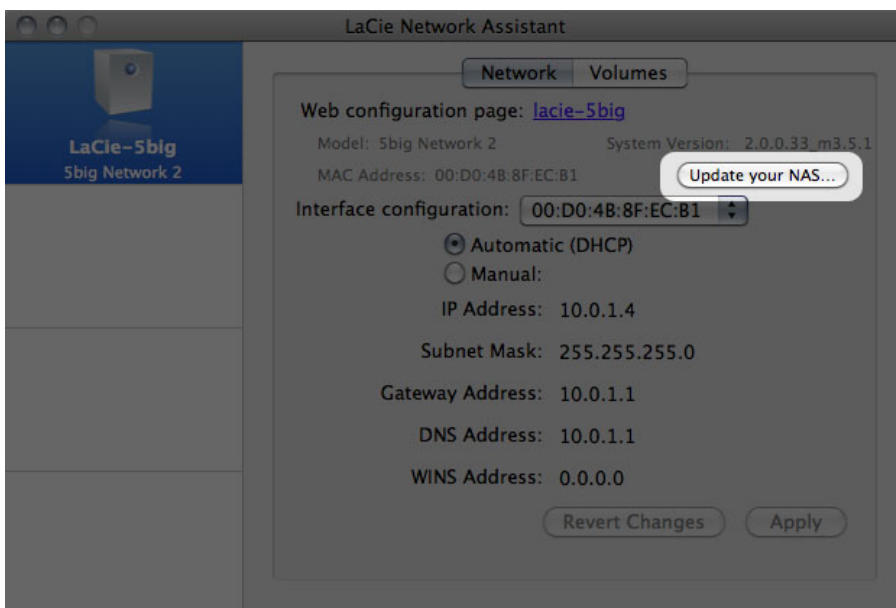
**重要な情報：**手順を開始する前に、次の推奨にしがってください。

- Ethernet ケーブルを使用して PC または Mac をネットワークに接続します (ワイヤレス接続はオフにします)。
  - ネットワーク上のユーザーが、NAS へのデータ転送を停止していることを確認します。
  - ネットワーク上の NAS (アップデート対象とする NAS を除く) を無効にします。
  - アップデート対象の NAS にある共有への接続をすべて切断します。
1. [最新バージョン](#)の LaCie Network Assistant (1.5.9 以降) を使用していることを確認します。新しいバージョンをダウンロードする場合は、以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールします。
  2. [ここ](#)から、お使いの製品の最新のソフトウェア アップデートをダウンロードします。
  3. LaCie Network Assistant を実行します。
  4. **[Preferences (設定)]** に移動し、**[IPConf Support (IPConf サポート)]** が無効になっていることを確認します。 (\*システムトレイ (Windows の場合) またはメニューバー (Mac の場合) で LNA アイコンを右クリックし (Mac の場合はクリック) し、**[プレファレンス]** を選択)

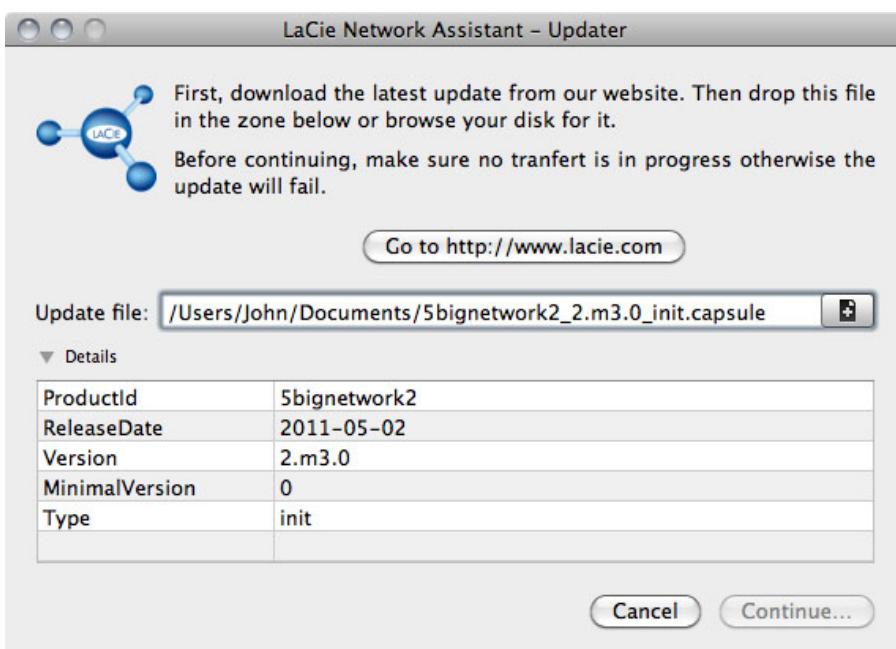




5. 左側に表示されるリストから製品を選択し、【**コンフィグレーション**】タブをクリックします。
6. 【**NASの更新**】ボタンをクリックします。管理者のユーザー名とパスワードを入力します。



7. LaCie Web サイトからダウンロードしたアップデート パッケージ (.capsule ファイル) を参照し、ロードします。



8. 【**Continue...** (続行)】をクリックし、アップデートを開始します。Mac では、管理者パスワードの入力が必要

になる場合があります。

9. アップデートが完了したら、正常に処理されたかどうかを確認します。メニューバー (Mac) またはタスクバー (Windows) の LNA ロゴをクリックし、[Configuration Window (構成ウィンドウ)] を選択します。[Network (ネットワーク)] タブをクリックすると、システムのバージョンが一覧表示されます。
10. 上記のボックスにネットワークに関する注意事項を守ってもアップデートに失敗する場合は、Ethernet ケーブルを使用してドライブをコンピュータに直接接続して再試行してください。

## 13. 工場出荷時の状態にリセット

**重要な情報：** NAS 上のすべてのファイルを削除するだけの場合は、工場出荷時の状態にリセットする必要はありません。[\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) で説明する方法でドライブをフォーマットすると削除できます。

5big Network 2 の場合、2 つの方法で LaCie NAS を工場出荷時の状態にリセットできます。いずれの方法でも、デフォルトの Dashboard データ (ユーザー、グループ、マシン名など) が消去されます。ただし、最初の方法の **[Reset Without Data Loss (データロスなしリセット)]** では、NAS に保存されたファイルは削除されませんが、**[Reset With Data Loss (データロス有りリセット)]** では削除されます。2 番目の方法では、完全に出荷時の状態に復元されます。

d2 および 2big Network 2 の場合、NAS を工場出荷時の状態に復元するには、最初に [\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) で説明している方法で、ドライブをフォーマットします。次に、**Reset Without Data Loss (データロスなしリセット)** の手順に従います。これらの 2 つのステップでは、最初にすべてのファイルを作成してから、ダッシュボード設定をリセットします。

**Reset Without Data Loss (データロスなしリセット)** でも **Reset With Data Loss (データロス有りリセット)** でも、接続した外部ハードドライブには影響しません。

### 13-1 管理画面 (DASHBOARD) 設定のリセット

**注意:**このステップに従うと、すべての Dashboard データ (ユーザー、グループ、共有、および設定) が消去されます。マシン名はデフォルトにリセットされ、ネットワーク設定も DHCP にリセットされます。

**注意:**これらのステップを実行すると、すべてのファイルは **Share (共有)** の **Recovery (リカバリ)** というフォルダに移動されます。このフォルダは、デフォルトで、管理者だけが使用できるようになっています。

1. 製品がオフになっていることを確認します。
2. フロントボタンを押したままで、本製品の背面にある電源スイッチを押して、製品の電源をオンにします。
3. フロントボタンの LED が赤色に連続点灯するまでフロントボタンを押さえ続けます。その LED が赤色に点灯したらボタンを放します。(製品をオンにしてから約 10 秒後に LED が赤色に継続点灯します。)
4. フロントボタンの LED が青色に点滅します。青色に連続点灯したら、5 秒以内にフロントボタンを押し、リセットを確定します。
5. いずれかのステップを行わないと、製品がリセットせずに通常通りにブートします。

## 13-2 ディスクのフォーマット

注意:フォーマットすると、ドライブ上のすべてのデータが消去されます。(ただし、ユーザーや設定は削除されません)続行する前に、別のボリュームにすべてのデータをバックアップを取るよう to してください。LaCie では、フォーマット中のデータ損失に対する責任は負いかねます。

この操作方法については、[\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) を参照してください。

## 13-3 管理画面(DASHBOARD)の設定/ディスクの初期化

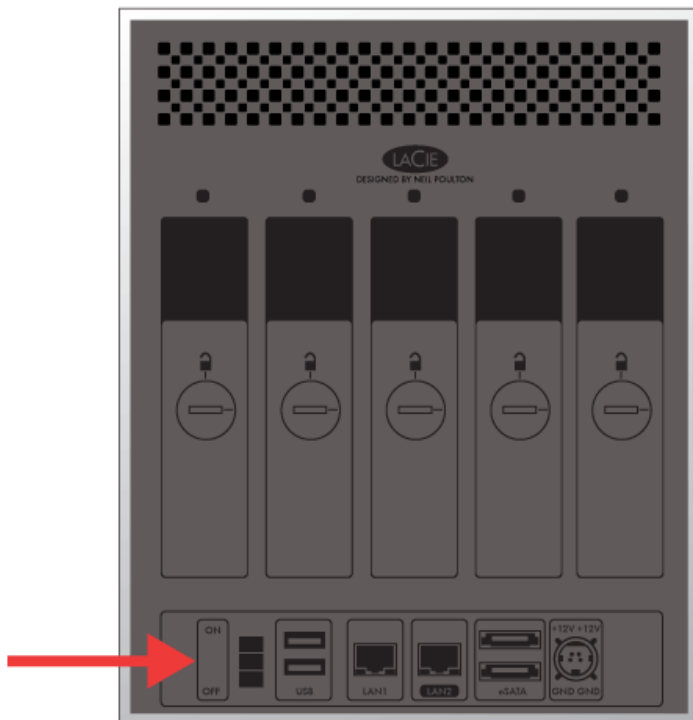
**重要な情報：** この手順は、5big Network 2 のみで利用できます。

**注意:** このステップに従うと、すべての Dashboard データ (ユーザー、グループ、共有、および設定) と、NAS に保存されているすべてのファイルが消去されます。マシン名はデフォルトにリセットされ、ネットワーク設定も DHCP にリセットされます。

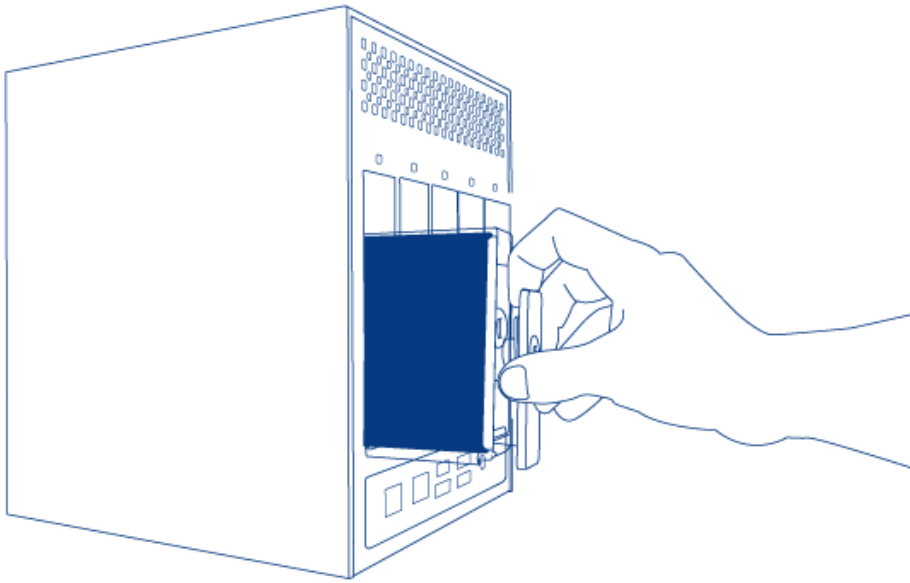
LaCie 5big Network 2 の再初期化が必要な場合があります。たとえば、別のオフィスに移動して、別の目的で使用する場合があります。新しいオフィスには異なるチームがあるため、5big をリセットして、出荷時の状態に戻すことにします。この場合は、次のステップに従います。

### 13-3-1 ディスクを取り出します

1. 電源スイッチをオフにします。



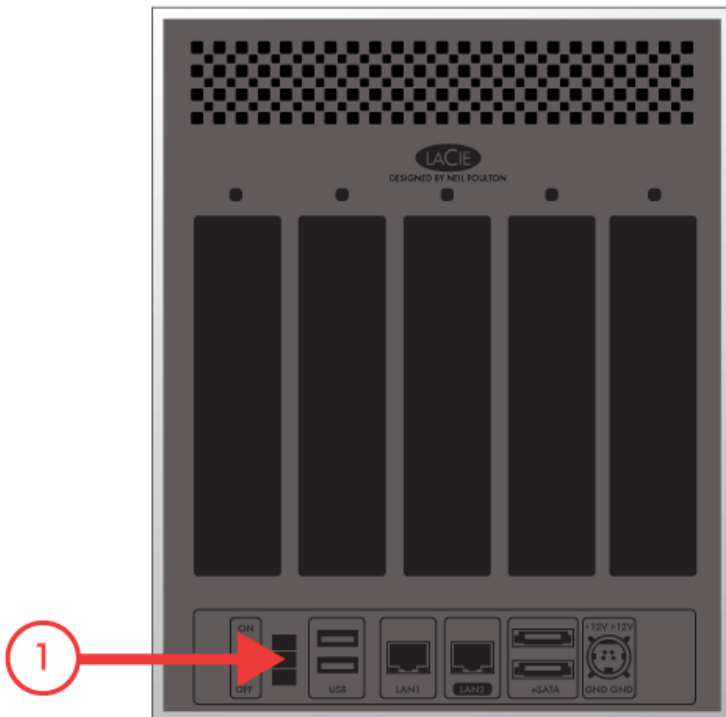
2. ドライブが減速するため、数分間待ってからすべてのディスクトレイを取り外してください。
3. 必要に応じて、ディスクロックツールを使って、各ディスクトレイのロックを解除します。ラインは垂直の位置でなければなりません。
4. 5つのディスクトレイをすべて、水平で何も無い場所に置いてください。トレイにはハードドライブが入っているため、注意して静電放電を防止してください。
5. ディスクが減速したら、すべてのディスクトレイを取り外します。



### 13-3-2 LaCie NAS の電源を入れ、初期化します

次のステップには約 3 分かかるはずです。

1. エンクロージャの背面にある電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。



2. 正面の LED:

1. 点滅
2. 青色に連続点灯

3. 青色/赤色に点滅。赤と青の点滅はシステムがロード中であることをしめしています。
3. 正面の LED が青色の連続点灯に戻ると、LaCie NAS はディスクをインストールできます。

### 13-3-3 ディスクを挿入してフォーマットします

ステップ 4 および 6 には約 7 分かかるはずですが。

1. 注意してディスクトレイを完全に空のディスク スロット 1 に挿入します。ドライブトレイがベイにあるときには抵抗を感じます。ドライブがカチッとハマるまで、ドライブトレイのハンドルをしっかりと慎重に押し込みます。ドライブトレイのハンドルは、エンクロージャの背面と水平になります。
2. 複数のディスクを挿入している場合は、ドライブトレイを完全にエンクロージャの空のスロットに挿入してください。必ずスロット番号に従ってください。たとえば、2 番目のディスクをディスク スロット 2 に、3 番目のディスクをディスク スロット 3 にというような順序で挿入する必要があります。
3. ドライブロック ツールを使ってトレイを正しい位置に固定します。
4. **フロントボタンを 5 秒間押しします。**ドライブが回転し、フロントボタンの LED が赤色と青色に点滅します。
5. 初期化を完了するには、NAS を再起動する必要があります。フロントボタンの LED が青色と赤色に点滅します。
6. フロントボタンの LED が青色で連続点灯すると、システムは準備完了です。
7. [5. ネットワークへの接続](#)を参照してください。

## 14. ヘルプが必要な場合

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

### 14-1 テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー テクニカルサポートセンター [www.lacie.jp/support/index.html](http://www.lacie.jp/support/index.html)

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方：メニューバーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [全般] を選択します。
3. オペレーティング システムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	

### 14-2 ソフトウェア アップデート

LaCie は、製品の機能を改良するため、頻繁にファームウェアのアップデートをリリースしています。製品の最適なパフォーマンスを確保するため、ファームウェアや LaCie Network Assistant のアップデートについて、定期的に確認してください。詳細については、[12. 製品のオペレーティング システムのアップデート](#) を参照してください。



## 14-3 トラブルシューティングのトピック

注記：製品の問題解決にもっとも便利なインタラクティブトラブルシューティングを [www.lacie.com/jp/support/](http://www.lacie.com/jp/support/) でご利用いただけます。製品を選択した後、「トラブルシューティング」のタブをクリックしてください。

### 14-3-1 ネットワーク接続のトラブルシューティング

**共有がネットワークで表示されません。**

Q: お使いのコンピュータは、最小システム要件を満たしていますか。

A: 詳しくは、[1. はじめに](#) の最小システム要件を参照してください。

Q: NAS の電源装置が接続され、正面の青色のライトがオンになっていますか。

A: 電源が正しく接続されていること ([5. ネットワークへの接続](#) を参照)、背面のボタンを押してシステムに電源を入れたこと、電源装置を接続したコンセントがオンになっていること、十分な電力が供給されていることを確認してください。

Q: デバイス正面の青色のライトが以上に長時間にわたり断続的に点滅していますか。

A: 青色のライトが断続的に点滅する場合、または点灯しない場合は、電源装置に故障がある可能性を示しています。この場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合わせください。

Q: 正しい手順でインストールを行いましたか。

A: [5. ネットワークへの接続](#) を確認してください。

Q: Ethernet ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。

A: Ethernet ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。

インタフェース コネクタが正しく合っていることを確かめてください。Ethernet ケーブルは、一方向にしか挿入できません。向きが正しいことを確かめてください。

Ethernet コネクタがまっすぐにしっかりと Ethernet ポートに差し込まれていることを確認してください。

LaCie のパッケージ箱に含まれていた Ethernet コードをご使用ください。

Q: IP アドレスに問題がありますか。

A: デフォルトでは、LaCie NAS は DHCP サーバーから IP アドレスを得るように設定されています。ご使用のネットワークが DHCP サーバーで管理されている場合に、LaCie NAS にアクセスできないときは、DHCP サーバーのログを確認してください。IP アドレスを取得するには、LaCie Network Assistant を実行してください。これは、LaCie Storage Utilities CD-ROM に収録されています。DHCP サーバーが検出されない場合、本製品により APIPA が実行され、製品に IP アドレスが割り当てられます。この IP アドレスを変更するには、LaCie Network Assistant を使用してください。

Q: ネットワークでは、固定 IP アドレスをデバイスに割り当てる必要がありますか。

A: 固定 IP アドレスの割り当てについては、[8. 管理画面を使う \(高度なアクセス性の機能\)](#) を参照してください。

---

**ユーザーに LaCie NAS Dashboard または共有へのアクセス権がありません。**

Q: 管理者は、そのユーザー用のアカウントを作成しましたか。

A: 別のユーザーが LaCie NAS にアクセスするには、次の 2つの条件を満たすことが必要です。1) 管理者がユーザーを作成し、ユーザーにユーザー名とパスワードを付与すること。2) LaCie NAS を Ethernet でネットワークに接続し、ユーザーがドライブにアクセスできるようになっていること。

---

### 自分のアカウントにアクセスできません。ログインとパスワードを入力すると、エラーメッセージが出ます。

Q: パスワードは正しく入力されていますか。

A: User (ユーザー) ページにメール アドレスを入力すると、パスワードを回収できます。このためには、ログインページで “forgot my password (パスワード紛失)” リンクをクリックします。指示に従ってパスワードの回収を行ってください。

---

### 共有へのアクセスに遅延が見られます。

Q: 同時に複数のファイルを転送しようとしていますか。または、ダウンロード機能を使用していますか、または RAID アレイの再構築を行っていますか。

A: ファイル転送およびビットトレントの活動を含む共有へのアクセス、また、RAID アレイの再構築は、パフォーマンスを引き下げることがあります。

---

### UPnP AV メディア プレイヤーまたはアダプタで LaCie NAS に保存されたメディア ファイルを表示できません。

Q: メディア ファイルはパブリック共有に保存されていますか? マルチメディア サービスが有効になっていますか。

A: UPnP AV デバイスはパブリック共有に保存されているメディア ファイルのみを認識します。パブリック共有に保存されていないファイルには、UPnP デバイスからアクセスできません。さらに、マルチメディア サービスがグローバル レベルまたは関係した共有で有効になっていることが必要です。

---

## 14-3-2 拡張デバイスの接続のトラブルシューティング

### NAS の拡張ポートに接続したハード ドライブ、キー、または USB プリンタが認識されません。

Q: NAS は、USB タイプ B (d2/2big のみ) を介してコンピュータに接続されていますか?

A: USB または eSATA 拡張ポートに接続されたデバイス (ハード ドライブまたはプリンタ) は、NAS を USB 経由でコンピュータに接続すると自動的にアンマウントされます。ハード ドライブまたはプリンタをアクセス可能にするには、ドライブをコンピュータから切断し、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。

---

### USB 拡張ポート (タイプ A) に USB ドライブを接続しましたが、ドライブがマウントせず、LNA リストに表示されていません。

Q: ドライブのファイル システムは LaCie 製品によってサポートされていますか?

A: LaCie NAS は、次のファイル フォーマットの外付けドライブのみを識別します。MS-DOS (FAT32)、NTFS、HFS + (非ジャーナルのみ)、EXT3 または XFS。ご使用のドライブのファイルシステムがリストにない場合、ドライブを再フォーマットしてから、LaCie NAS に再接続して下さい。

Q: ドライブは MS-DOS (FAT32) でフォーマットされており、容量は 2TB より大きいですか。

A: MS-DOS 本来の制限のため、2TB より大きい容積は LaCie NAS によって認識されません。

---

### 接続された外付けハードドライブのファイルを、LaCie NAS 上の共有にコピーできません。

Q: ドライブは MS-DOS (FAT32) でフォーマットされており、ファイルサイズは 2GB より大きいですか?

A: MS-DOS 本来の制限により、2GB より大きいファイルは LaCie NAS 上の共有に転送することはできません。

---

## 14-3-3 USB 接続のトラブルシューティング (d2/2big のみ)

### USB 経由で NAS をコンピュータに接続しましたが、コンピュータで NAS が識別されません。

Q: ドライブのアイコンがデスクトップに表示されていますか。

A: LaCie NAS のアイコンがマイ コンピュータ/コンピュータ (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されているはずですが (Finder の環境設定で、外付けディスクをデスクトップに表示しないように設定した場合は、表示されません)。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。

Q: お使いのコンピュータは、このドライブを使用するためのシステム最小要件を満たしていますか。

A: 詳しくは、[1. はじめに](#) の最小システム要件を参照してください。また、使用しているコンピュータを変更してみてください。コンピュータの問題は、様々な状況として発現することがあります。コンピュータが正常に稼働しているように見える場合でも、テストする価値があります。

Q: ドライブに電源装置が接続されていますか。

A: 電源装置が正しく接続されていること ([5. ネットワークへの接続](#)を参照)、および電源装置を接続したコンセントに正常に通電していることを確認してください。

Q: USB 接続で正しいインストール方法に従いましたか。

A: [9. USB 経由でコンピュータに接続](#)を確認してください。

Q: USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。

A: 必ず LaCie が提供した USB ケーブルのみを使用してください。USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにしっかりと取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。

Q: その他のデバイス ドライブまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。

A: LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

### ドライブにファイルをコピーしようとすると、エラー メッセージが出ます。

Q: USB に接続しているときに、ドライブへのコピー中に "Error -50" というメッセージが表示されましたか。

A: d2 Network 2 を USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータにマウントされるドライブの USB 共有が、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされます。このフォーマットでは、一部の文字を含むファイル名はコピーできません。コピーされない文字には次のようなものがあります (ただし、これだけには限りません)。

? < > \ :

ファイルとフォルダで、このような文字が使われていないことを確認してください。

---

### 4 GB を超えたサイズのファイルをドライブにコピーできません。

Q: USB を介してコンピュータに接続していますか。

A: LaCie NAS を USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータにマウントされるドライブの USB 共有が、MS-DOS (FAT32) でフォーマットされます。このフォーマットでは、ファイルサイズが 4 GB に限られています。

LaCie NAS に 4GB を超えたサイズのファイルを転送するには、USB ケーブルを外し、Ethernet ケーブルを接続します。または、USBShare を HFS+ に再フォーマットすると、さらに大きいファイル サイズが可能になります ([[管理画面\(Dashboard\)](#)] - [[ドライブ情報](#)]を参照)。

---

製品の容量が、パッケージ記載の容量と異なっています。

Q:

A: ドライブを USB 経由でコンピュータに接続すると、コンピュータで見たときに USBShare に配分した合計容量の一部のみが使用できるようになります。 [\[管理画面\(Dashboard\)\]](#) - [\[ドライブ情報\]](#) を参照してください。

---

**ドライブで「カチッ」という音がします。**

Q: それはソフトな音ですか、それともハードな音ですか。

A: ドライブが動作すると、ソフトな「カチッ」という音がしますが、それは正常の場合があります。ドライブが動作している場合、この音は正常です。ドライブでは、一般に、障害発生前に問題を示すことはないため、ドライブで「カチッ」という音がしても、正常に動作しているのであれば不具合を意味するものではありません。ドライブが正常に動作しない場合、考えられる原因は 2 つあります。

- ドライブのデータが破壊されている場合。この問題は、ドライブを再フォーマットすることで解決できることがあります。
- ドライブの外部電源装置または電源ケーブルに不具合が生じている可能性があります。可能であれば、別の外部電源装置または電源ケーブルを使用してください。

ハードな「カチッ」という音は目立ち、金属と金属とが打ち当たったような音がします。このような音は、一般に、物理的な故障があることを示します。このような音が聞こえるようになる前にドライブに衝撃を与えることがなかった場合は、ソフトな「カチッ」という音であると考え、前述のトラブルシューティングを参照してください。

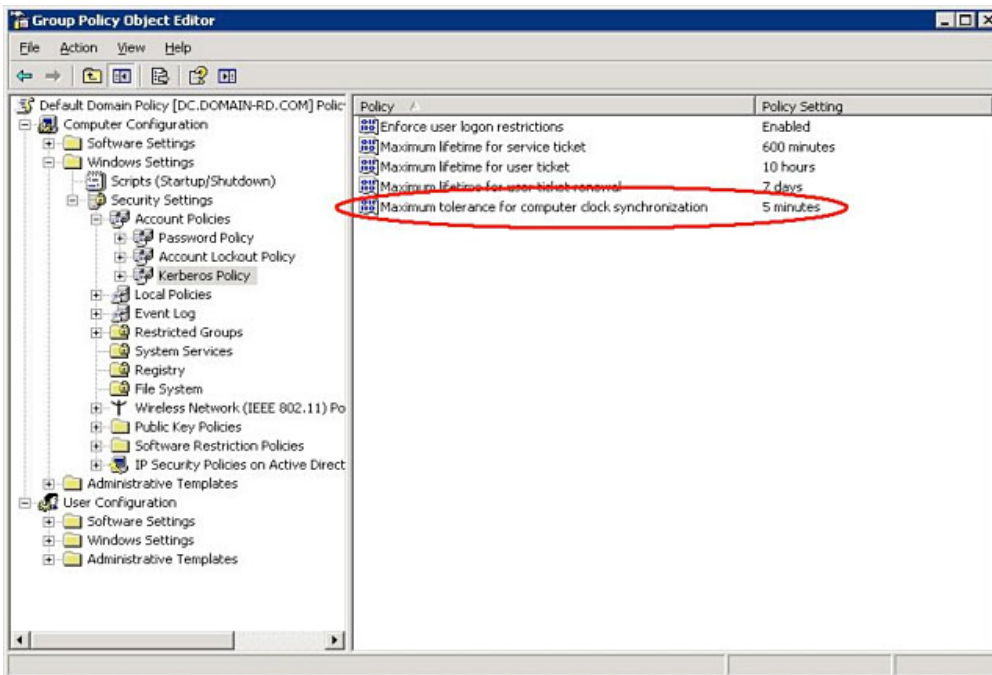
---

## 14-3-4 アクティブディレクトリ接続のトラブルシューティング

ネットワークやドメインの構成はたくさんあるため、これらのトラブルシューティングのヒントは一般的なものです。しかし、次の点をチェックすると問題を解決できる場合があります。

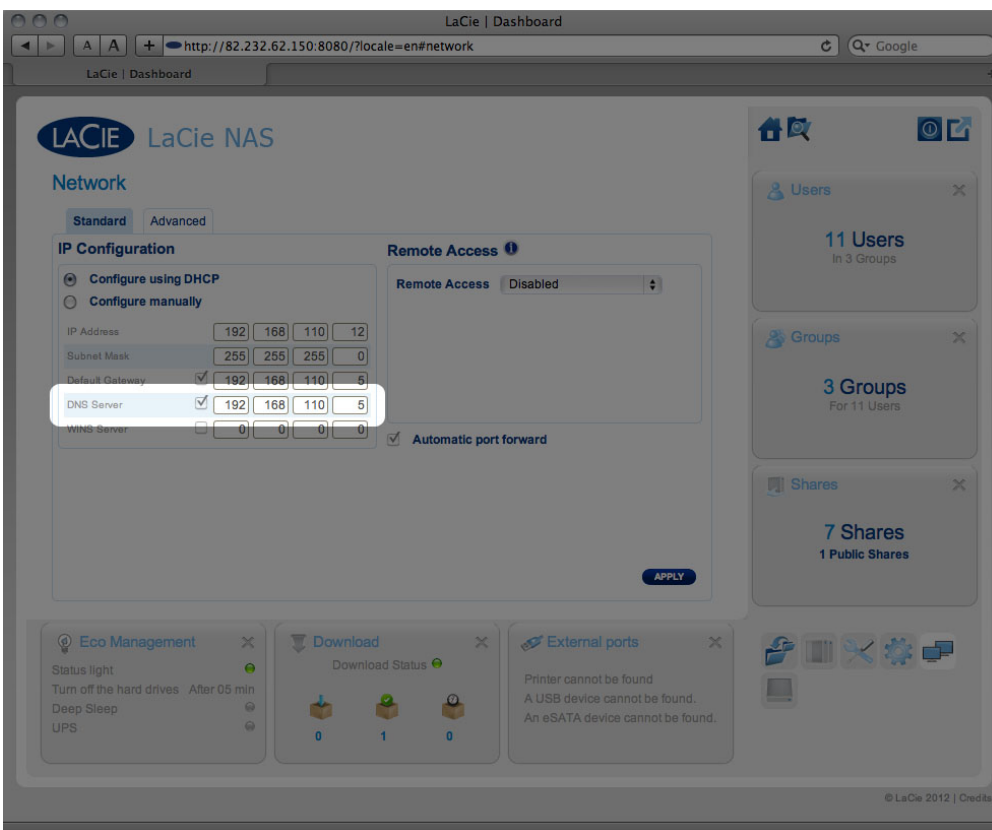
### 製品 / LAN 側

1. 最新の製品オペレーティングシステムをインストールしたことを確認します。  
<http://www.lacie.jp/download/index.html#nas> を確認してください。
2. 負荷の高いプロセスが実行されていないことを確認します。これは必須ではありませんが、有益な場合があります。たとえば、次のようなプロセスについて確認します。
  1. RAID 構築が実行されていないこと (RAID の構築が完了するまで待ちます)。
  2. 複数のダウンロードが実行されていないこと (ダウンロードを停止するか、ダウンロードが終了するまで待ちます)。
  3. マルチメディア データベースが実行されていないこと (マルチメディアを無効にします)。
  4. バックアップが実行されていないこと (バックアップを停止するか、バックアップが終了するまで待ちます)。
3. すべてのユーザーが製品から切断されていることを確認します (必須ではありませんが、問題解決に役立つ場合があります)。同時に大量のデータ転送が行われないことを確認します。
4. 製品に正しい日付、時刻と時間帯が割り当てられていることを確認します。ドメインと製品の間で 5 分を超えた時間差がある場合、Active Directory (AD) 接続が阻害されたり、問題が出たりすることがあるためです。この許容差は、Domain Controller Policy (ドメイン コントローラ ポリシー) で指定されています。このデフォルト値は、通常 5 分です。



製品の時刻は、[管理画面(Dashboard)] - [一般設定] ウィジェットの NTP Server (NTP サーバー) 機能で最も正確に設定できます。また、このページから手動で設定することも可能です。

- 製品に提供される DNS サーバー アドレスがドメイン DNS であり、インターネット DNS (インターネット サービス プロバイダが提供する場合があります) ではないことを確認します。

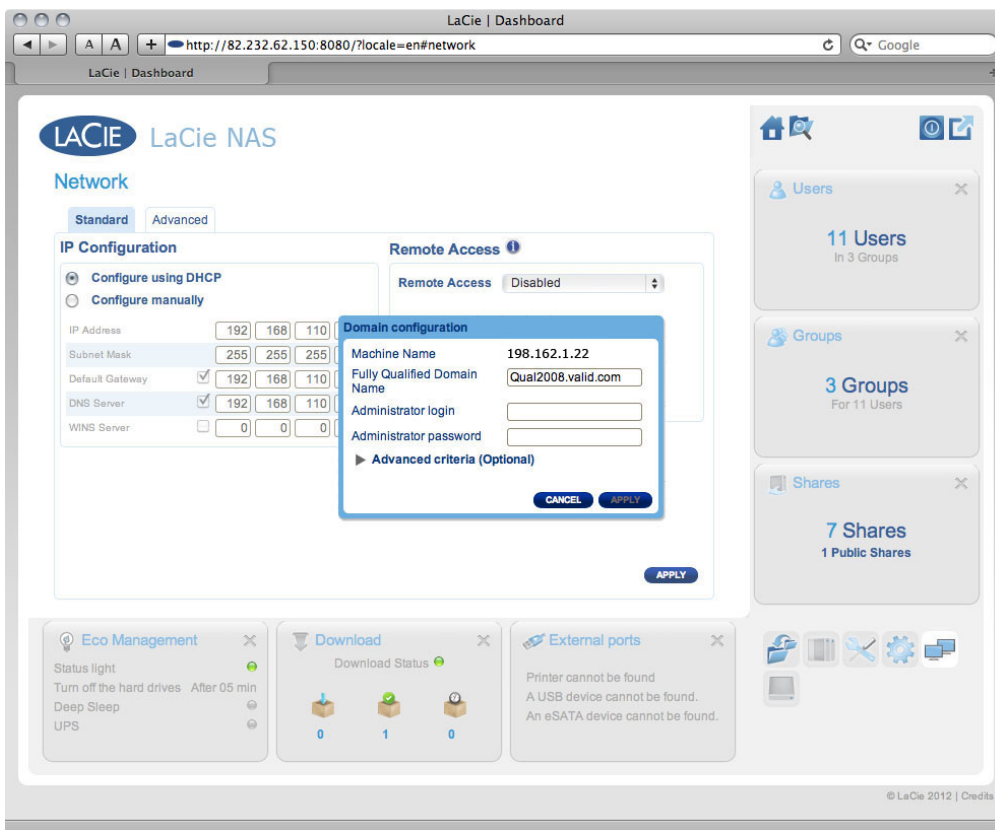


製品は、インターネットのサーバーではなくローカル ネットワーク ドメインに接続する必要があります。

ドメイン参加は、DNS 解析に基づいているため、製品に正しく接続可能な DNS サーバー IP アドレスがローカルネットワーク構成で割り当てられていることが重要です。LaCie製品と同じネットワークにある他のコンピュー

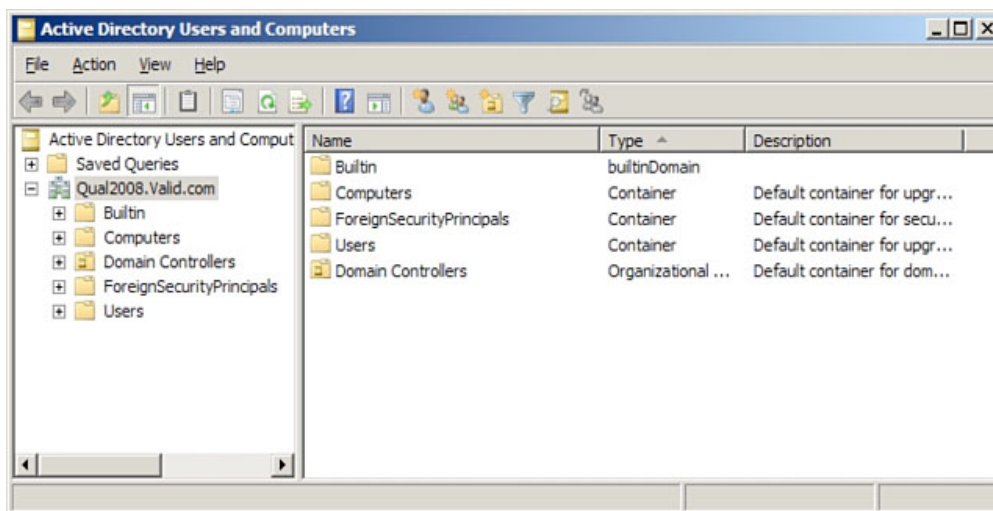
タの DNS IP を確認します。このコンピュータから、DNS サーバーに ping してみてください。

6. Dashboard: **[Domain Configuration (ドメイン設定)]** ウィンドウの設定:



1. ドメインの Full Qualified Domain Name (FQDN) を入力します。たとえば:

**directory-example.domain.com** (Primary Domain Controller (プライマリ ドメイン コントローラ) の Active Directory User および Computer Tool (コンピュータ ツール))



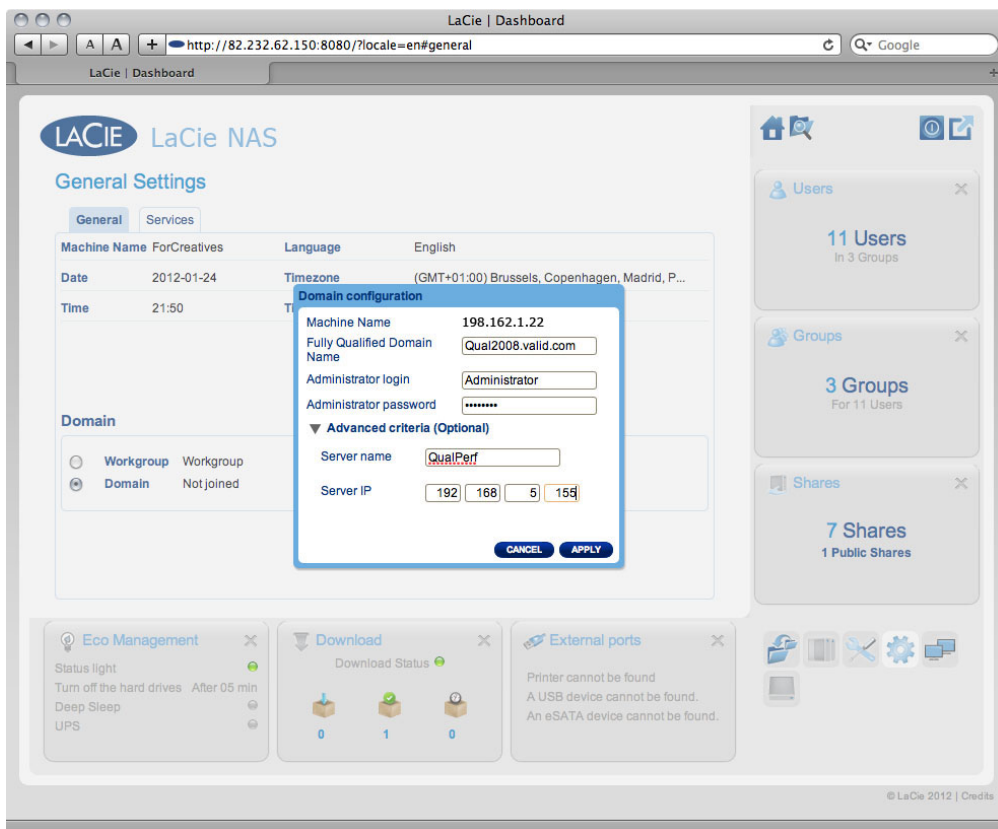
2. 管理者ログイン: AD の管理者ユーザー名を使用します。

3. 管理者パスワード: 大文字と小文字が区別されます。

7. 参加に役立てるために、Optional Advanced Criteria (オプションのアドバンスド条件) を入力できます。

1. **Server Name (サーバー名)** は、Domain Controller Host Name (ドメイン コントローラ ホスト名) です。

2. **Server IP (サーバー IP)** は Domain Controller IP (ドメイン コントローラ IP) です



上記の点および AD の設定についての次のセクションをすべて確認し、正しいドメインに参加できることを確認します。設定が間違っていると、接続が成功しない場合があります。



## Active Directory / ドメイン サイド

Active Directory / ドメイン サイドでは、設定がユーザーによって異なるため、Active Directory 管理者が次の点を確認してください。

1. 本製品を接続できるように、Kerberos Server & Time Server がドメイン DNS で登録されているかどうかを確認するよう、AD 管理者に依頼してください。Kerberos Server & Time Server は参加プロセスに参与しているため、本製品がアクセスできるようになっていることが必要です。
2. AD でマシン名オブジェクトを確認してください。正しいコンテナ (デフォルトの「コンピュータ」コンテナとは異なります) にあることを確認し、マシン名のアクセス権限 (誰がログオンできるかなど) を確認します。また、AD のオブジェクトをリセットするために、マシン名を削除することが必要な場合もあります。

本製品をドメインに参加させる前に、ドメイン管理者が AD の正しいコンテナでコンピュータ アカウントを作成することが必要な場合があります。

3. サブドメインがセットアップされている場合は、ドメインの参加に問題が出る場合があります。ドメイン参加を正しいドメイン/サブドメイン名で行ったかどうかを確認することが必要です。(この場合も、AD でマシン名オブジェクトの場所/権利を確認してください。) ユーザーが、製品へのアクセス権のない異なったサブドメインに属していますか。

注記: 適切に設定された AD に LaCie 製品が接続できない場合は、分析するために LaCie テクニカル サポートに **7-14[管理画面(Dashboard)] - [サポート]** ページから入手できるドメイン ネットワーク設定ログを提供してください。

## 15. 注意事項

注意: シールドタイプの電源コードが FCC 放出規制を満たし、付近のラジオやテレビの受信障害を防止するため、必ず製品付属の電源装置のみを使用してください。

注意: 遵守責任を有する団体による明確な承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

**重要な情報:** 本製品の使用中に生じたデータの損失、改造、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても LaCie はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の1つとして、データのコピーを2回行うことをお勧めします。例えば、外付けハードディスクに1回コピーし、内部ハードディスクや別の外付けハードディスク、またはリムーバブルストレージメディアにさらに1回コピーします。バックアップに関する詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

**重要な情報:** 1TB (テラバイト) は 1,000GB です。1GB は 1000MB です。1MB は 1,000,000 バイトです。利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常は、1 TB につき最大 10% 減少)。

## 健康および安全上の注意

- 本デバイスの保守は、有資格者のみが行うようになっています。
- デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- デバイスを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、デバイスに金属物を挿入しないでください。LaCie デバイスに同梱されたディスクドライブに、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。誤作動を起こしているように見える場合は、有資格の LaCie テクニカル サポート担当者による点検を受けてください。
- デバイスを雨のかかる場所で使用したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。LaCie ハードドライブの上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼれた場合に、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。
- コンピュータおよび LaCie デバイスの電気アースが取られていることを確認してください。

## 一般的な使用上の注意

- 電源要件は、100-240 V~、50 ~ 60 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の  $\pm 10\%$  以内に収まるようにしてください)。
- LaCie ハードドライブは、温度 5°C ~ 30°C、動作湿度 10 ~ 80% (結露なし)、保管湿度 5 ~ 90% (結露なし) の範囲内に保ち、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。この範囲外の温度・湿度に晒すと、装置

が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、LaCie ハードドライブを熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、LaCie ハードドライブが損傷する恐れがあります。

- 定格冷却能力は、高度 2000 メートルまでとなっています。
- ドライブに電源ケーブルがある場合、落雷の恐れがあるとき、または長期間使用しないときは、必ずドライブのプラグを電源コンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- 本製品に同梱されている電源装置のみを使用してください (該当する場合)。
- LaCie ハードドライブをテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- LaCie ハードドライブをコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、LaCie ハードドライブの動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。
- LaCie ハードドライブに過度の負荷をかけて使用しないでください。問題が出た場合は、このマニュアルの「トラブルシューティング」を参照してください。
- LaCie ハードドライブの使用または保管にあたっては、埃の多い場所を避けてください。デバイス内に埃が蓄積すると、損傷や故障の原因となります。
- LaCie ハードドライブの外側を清掃する場合は、ベンジン、塗料用シンナー、洗剤、その他の化学製品を使用しないでください。これらの化学製品により、ケースが変形したり褪色することがあります。柔らかい乾いた布でデバイスを拭いてください。

## 16. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

### 保証内容

- 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

### 無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。
  1. 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
  2. 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
  3. 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
  4. 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
  5. 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
  6. 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
  7. 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
  8. 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
  9. その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
  10. 本製品を日本国外でご購入された場合。

### 修理

- 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
- 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全本は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
- 故障とは、本製品が本製品の仕様に定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

## 免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

## 有効範囲

- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがあります。弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

**重要な情報:** 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください  
サポートURL  
[www.lacie.jp/support/index.html](http://www.lacie.jp/support/index.html)

## 17. 法律関係の情報

### 著作権

Copyright © 2015 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行ってはなりません。

### 変更について

本書に記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更されることがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

### 米国連邦通信委員会 (FCC) の電波障害についての声明文

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限値に適合していることを、試験により確認されています。これらの規制は、一般家庭で取り付けた場合に、有害な障害に対する適宜な保護を提供するために定められています。本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオ、テレビの受信に有害な干渉を及ぼし、その原因が本装置の電源のオン/オフによるものであると判断した場合、次に記す処置により、その干渉の是を試みることをお勧めします。

1. 受信アンテナの向き、または位置を変える。
2. 本装置と受信機の距離を離す。
3. 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本装置を接続する。
4. 販売代理店または経験豊かなラジオ / テレビ技術者に相談する。

FCC についての注意：製品の適合を管轄する団体による明示的な承認を受けずに変更または修正を加えた場合、ユーザーは本装置を操作する権利を失うことがあります。

本機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます。(1) 本機器は有害な電波障害の原因となってはならない。(2) 本機器は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

**重要な情報：FCC の被爆についての声明文：**本装置は、無管理の環境に対する FCC の被爆限度に準拠しています。本装置は、放射物と人体の間に最低 20 cm の距離をおいて設置・操作してください。

このトランスミッターを他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に置いたり、併用動作を行ってはなりません。一部特定のチャンネルおよび/または動作周波数帯を使用できるかどうかは国によって異なり、出荷先に合うように工場ではファームウェアにプログラミングされています。エンドユーザーは、ファームウェアの設定にアクセスできません。

## WEEE



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

## 商標

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本書に記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

## ライセンスおよび無料のソフトウェア

LaCie 2big Network 2 には、GPL、AFL、Apache、Apple、BSD、GNU LGPL、MIT、OpenLDAP、OpenSSL、PHP、Python および Creative Common によってライセンスを授与された、著作権のあるソフトウェアが付属しています。また、以下の LaCie ウェブサイトからソースコードがダウンロード可能な無料ソフトウェアも付属しています。www.lacie.jp/support/

© 2007-2008, Thomas BERNARD. © 2006 Allan Saddi allan@saddi.com © 2004, Jan Kneschke、インクリメンタル。© 2001-2006, Patrick K. O'Brien および協力者。© 2003-2009 Stuart Bishop stuart@stuartbishop.net. © 2006 Kirill Simonov. © 1996-2006 Julian R Seward. © 2004, 2005 Darren Tucker. All rights reserved. © 1997-2008 University of Cambridge. All rights reserved. © 2007-2008, Google Inc. All rights reserved. © 1990-2003 Sleepycat Software. All rights reserved. © 1995-2004 Jean-loup Gailly および Mark Adler. © 2004 Micah Dowty. © 1997-2006 by Secret Labs AB © 1995-2006 by Fredrik Lundh. © 1988,1990,1993,1994 by Paul Vixie. © 2007-2009 Charles du Jeu.

このライセンスのリストは随時変化する場合があります、ユーザー インタフェースの “Credits (クレジット)” という見出しの下に記載されています。

## カナダ適合規定

本クラス B デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

## 日本適合性宣言

本製品は、VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) の基準に基づく B 種の製品です。この装置をラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。マニュアルにしたがって設置してください。この文は、LaCieのCloudBoxには適用されません。

## CE 認証に関する製造業者の宣言



当社 LaCie は、本製品が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。電磁適合性指令 (2004/108/EC); 低電圧指令: 2006/95/EC